

# 令和4年 第6回 川口市教育委員会定例会

日 時 令和4年4月1日(金)

午後3時30分

場 所 ワークファンルーム会議室1・2

## 日 程

### 1 開 会

### 2 点 呼

### 3 前回会議録の承認

- (1) 第5回川口市教育委員会定例会会議録

### 4 教育長報告

- (1) 4月行事予定について — 1
- (2) 東日本大震災により市内に避難している者に対する  
教育施設使用料等を免除する期間の延長について — 7
- (3) 川口市学校運営協議会委員の委嘱を解いたことについて — 当日1
- (4) 令和3年度学校自己評価のまとめについて — 別添1
- (5) 令和3年度川口市立高等学校卒業者の進路状況について — 8
- (6) 令和3・4年度研究委嘱本発表日について — 9
- (7) 令和4年度川口市スクールソーシャルワーカーについて — 10
- (8) 令和4年度川口市立教育研究所教育相談員について — 11
- (9) 令和4年度川口市日本語指導支援員について — 13
- (10) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱を解いたことについて — 当日2

### 5 協議事項

### 6 議 事

- 議案第32号 専決処分の承認について(職員の人事について) — 当日3<sup>秘</sup>
- 議案第33号 川口市学校運営協議会委員を委嘱・任命することについて — 当日4
- 議案第34号 川口市立高等学校進路カウンセラーを委嘱することについて — 14
- 議案第35号 令和4年度川口市学校ファーム推進事業を  
委嘱する指定校について — 15
- 議案第36号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師を委嘱することについて — 当日5
- 議案第37号 川口市教育局事務専決規則の一部を改正する規則について — 別添2
- 議案第38号 川口市立中央ふれあい館処務規程の一部を改正する規程について — 別添2
- 議案第39号 川口市立生涯学習プラザ処務規程の一部を改正する規程について — 別添2
- 議案第40号 川口市立公民館設置及び管理条例施行規則の  
一部を改正する規則について — 別添2
- 議案第41号 川口市立南平文化会館管理規則の一部を改正する規則について — 別添2
- 議案第42号 川口市立アートギャラリー処務規程の  
一部を改正する規程について — 別添2

議案第43号	川口市立文化財センター処務規程の一部を改正する規程について	——別添2
議案第44号	川口市立図書館処務規程の一部を改正する規程について	——別添2
議案第45号	川口市立科学館処務規程の一部を改正する規程について	——別添2
議案第46号	川口市立体育施設処務規程の一部を改正する規程について	——別添2
議案第47号	川口市立大貫海浜学園処務規程の一部を改正する規程について	——別添2
議案第48号	川口市立水上少年自然の家設置及び 管理条例施行規則の一部を改正する規則について	——別添2
議案第49号	川口市立教育研究所設置及び 管理条例施行規則の一部を改正する規則について	——別添2
議案第50号	川口市立学校給食センター設置及び 管理条例施行規則の一部を改正する規則について	——別添2
議案第51号	教職員の人事の内申について	——当日6 <sup>秘</sup>

7 その他

8 閉会

教育長報告（1）

令和4年 4月 行事予定表

日	曜日	教育総務課	生涯学習課	文化推進室	文化財課	中央図書館	日	曜日
1	金	教育委員会定例会 (15:30 ワークファンルーム)					1	金
2	土						2	土
3	日						3	日
4	月						4	月
5	火	埼玉県都市教育長協議会会計監査及び 第1回役員会 (14:00、15:00 深谷市役所)					5	火
6	水						6	水
7	木						7	木
8	金						8	金
9	土						9	土
10	日						10	日
11	月						11	月
12	火						12	火
13	水		施設長会議 (13:30 芝公民館)				13	水
14	木						14	木
15	金	埼玉県都市教育長協議会総会 (14:00 プリランテ武蔵野)					15	金

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和4年

4月行事予定表

日	曜日	教育総務課	生涯学習課	文化推進室	文化財課	中央図書館	日	曜日
16	土			ワークショップ「あるいて描く・絵のなかをあるく」 (13:00 アートギャラリー・アトリア)			16	土
17	日			ワークショップ「あるいて描く・絵のなかをあるく」 (10:30 アートギャラリー・アトリア)			17	日
18	月	埼玉県南部教育長会総会 埼玉県南部教育長会議・教育長協議会 (14:00、15:00 彩の国すこやかプラザ)					18	月
19	火	埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会 (13:00 さいたま商工会議所会館)			旧田中家住宅の端午の節供(～5月15日) (旧田中家住宅)		19	火
20	水						20	水
21	木	教育委員会定例会 (15:30 生涯学習プラザ講座室2・3)					21	木
22	金						22	金
23	土			ワークショップ「さわる・つくる・みあげる おおきな『雲』」 (13:30 アートギャラリー・アトリア)			23	土
24	日			ワークショップ「さわる・つくる・みあげる おおきな『雲』」 (13:30 アートギャラリー・アトリア)			24	日
25	月						25	月
26	火						26	火
27	水			ワークショップ成果展示(～5月8日) (10:00 アートギャラリー・アトリア)			27	水
28	木						28	木
29	金	昭和の日					29	金
30	土						30	土

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和4年

4 月 行事予定表

日	曜日	科学館	スポーツ課	日	曜日
1	金			1	金
2	土			2	土
3	日			3	日
4	月			4	月
5	火			5	火
6	水			6	水
7	木			7	木
8	金			8	金
9	土			9	土
10	日			10	日
11	月			11	月
12	火			12	火
13	水			13	水
14	木			14	木
15	金		川口市レクリエーション協会定期総会 (19:00 フレンドィア)	15	金

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和4年

4 月 行事予定表

日	曜日	科学館	スポーツ課	日	曜日
16	土			16	土
17	日			17	日
18	月			18	月
19	火			19	火
20	水		令和4年度スポーツ施設長会議 (14:00 安行スポーツセンター)	20	水
21	木		川口市スポーツ推進委員協議会定期総会 (19:00 フレンジア)	21	木
22	金			22	金
23	土			23	土
24	日			24	日
25	月			25	月
26	火	休館日(館内整理日)	川口市スポーツ少年団代議員会 (19:00 フレンジア)	26	火
27	水			27	水
28	木			28	木
29	金			29	金
30	土			30	土

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和4年 4月 行事予定表

日	曜日	庶務課	学務課	指導課	学校保健課	市立高等学校	日	曜日
1	金		新採用・転入教職員着任紹介式 (14:00 リリア音楽ホール)	教育研究所教育相談員、日本語指導支援員、 教育研究所カウンセラー委嘱書交付式 (11:30 局2階会議室)			1	金
2	土						2	土
3	日						3	日
4	月				パートタイマー会計年度任用職員(調理員)研修会 (13:30 教育委員会室)		4	月
5	火						5	火
6	水			令和4年度進路カウンセラー委嘱書交付式 (16:30 教育委員会室)	令和4年度養護教員新任・転任者等研修会 (14:00 第一本庁舎501大会議室)		6	水
7	木						7	木
8	金		始業式(幼・小・中) 入学式(小 11:00、附属中 10:30、中 13:30)			全日制始業式(9:40 市立高等学校) 全日制入学式(14:00 市立高等学校) 定時制始業式(18:00 市立高等学校)	8	金
9	土						9	土
10	日						10	日
11	月		芝西中学校陽春分校入学式 (18:00 陽春分校)	部活指導員研修会 (15:00 教育研究所)		定時制入学式 (18:00 市立高等学校)	11	月
12	火		入園式 (10:00 舟戸幼、南平幼)		小・中学校給食開始(小学校1年生除く)		12	火
13	水		第1回市立学校長会議 (9:30 市立高等学校)				13	水
14	木				小学校1年生給食開始 川口市学校栄養士研究会総会 (14:30 第一本庁舎601大会議室)		14	木
15	金				給食主任会 (15:00 教育研究所)		15	金

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。

令和4年

4月行事予定表

日	曜日	庶務課	学務課	指導課	学校保健課	市立高等学校	日	曜日
16	土						16	土
17	日						17	日
18	月						18	月
19	火			令和4年度全国学力・学習状況調査			19	火
20	水				学校給食食品等選定委員会 (14:00 南平学校給食センター会議室)		20	水
21	木		第1回月例校長連絡会 (10:00 教育研究所)				21	木
22	金			大貫海浜学園指導者講習会 (7:30 大貫海浜学園)			22	金
23	土						23	土
24	日						24	日
25	月				令和4年度第1回川口市結核対策委員会 (13:30 第一本庁舎602・603会議室)		25	月
26	火			水上自然教室指導者講習会 (6:45 水上少年自然の家)			26	火
27	水		公立小・中学校等校長研究協議会 (埼玉会館)	第1回いじめ対応教員研修会 (15:00 芝市民ホール)	令和4年度川口市養護教員部会総会 (15:00 生涯学習プラザ)		27	水
28	木						28	木
29	金						29	金
30	土						30	土

\*新型コロナウイルス感染症の関係で、記載の予定は変更又は中止等になる可能性があります。



## 教育長報告（２）

東日本大震災により市内に避難している者に対する教育施設使用料等を免除する期間の延長について

東日本大震災で被災し市内に避難している者への支援策として、下記のとおり教育委員会が管理する施設の使用料を川口市立アートギャラリー設置及び管理条例第14条の規定、川口市立文化財センター設置及び管理条例第14条第1項第5号の規定、川口市立科学館設置及び管理条例第8条第5号の規定及び川口市立体育施設設置及び管理条例第16条の規定により免除することとするもの。

### 記

- 1 対象となる者  
東日本大震災で被災し市内に避難している者
- 2 対象となる施設
  - (1) アートギャラリー【観覧料】
  - (2) 文化財センター展示室【入場料】
  - (3) 文化財センター分館（旧田中家住宅）【入場料】
  - (4) 文化財センター分館（郷土資料館）【入場料】
  - (5) 科学館展示施設【入場料】
  - (6) 科学館プラネタリウム【観覧料】
  - (7) 体育施設（個人利用の場合に限る。）【使用料】
- 3 免除する期間  
令和4年4月1日（金）から令和5年3月31日（金）まで
- 4 免除の手続  
被災地の住所、氏名がわかる書類を提示して申請させることとするもの。
- 5 その他  
新たに市の方針が定められた場合は、その方針に従うものとする。

教育長報告（5）

令和3年度川口市立高等学校卒業者の進路状況について  
（令和4年3月23日現在）

項 目	進 路 決 定 者 数			割合 (%)	前年比
	男子	女子	計		
国公立大学	22	21	43	8.1	1.3
私立大学	151	163	314	59.4	-5.9
文部科学省所管外大学校	1	0	1	0.2	0.2
短期大学（公立・私立）	0	9	9	1.7	0.3
専門学校等	13	29	42	7.9	-2.3
就 職	7	13	20	3.8	0.8
進学・就職の準備等	6	4	10	1.9	-11.2
留学、海外の大学日本校	0	0	0	0.0	-0.2
その他	47	43	90	17.0	17.0
計（卒業者数）	247	282	529		
計（在籍数）	247	282	529		

※「就職」は、就職進学者、防衛大学等の俸給が支給される「学校」の進学者を含まず。  
 ※「その他」は、家事手伝、臨時的な職に就く者、上記項目のいずれにも該当しない者。

※参考 令和2年度川口市立高等学校の進路状況（令和3年3月23日時点）

項 目	進 路 決 定 者 数			割合 (%)
	男子	女子	計	
国公立大学	25	9	34	6.8
私立大学	147	181	328	65.3
文部科学省所管外大学校	0	0	0	0.0
短期大学（公立・私立）	0	7	7	1.4
専門学校等	11	40	51	10.2
就 職	7	8	15	3.0
進学・就職の準備等	47	19	66	13.1
留学、海外の大学日本校	1	0	1	0.2
その他	0	0	0	0.0
計（卒業者数）	238	264	502	
計（在籍数）	238	264	502	

# 教育長報告（6）

## 令和3・4年度研究委嘱本発表日について

令和3・4年度 川口市教育委員会研究委嘱校一覧(発表日順)

	学校名	研究領域	研究主題	研究発表日	研究教科領域等
1	安行東小学校	「学力向上」に関する研究	主体的に学習に取り組む安行東っ子の育成 ～数学的な見方・考え方を働かせる授業づくりを通して～	令和4年 11月1日(火)	算数
2	鳩ヶ谷中学校	「防災教育」に関する研究	身の回りの危険を予測・回避し、 自ら率先して行動できる生徒の育成 ～自助・共助に立脚した避難所開設を目指して～	令和4年 11月8日(火)	総合・特活
3	中居小学校	「体力向上」に関する研究	児童一人ひとりが生き生きと学びに向かう力の育成 ～体育科からのアプローチを中心として～	令和4年 11月10日(木)	体育
4	差間小学校	「学力向上」に関する研究	GUだよ！全員集合 きいて！おしえて！！DOしたい！！	令和4年 11月11日(金)	全教科
5	元郷小学校	「学力向上」に関する研究	主体的・対話的で深い学びの実現と創造 ～学級活動を核とした授業実践をとおして～	令和4年 11月15日(火)	国語・算数・特活
6	領家中学校	「学力向上」に関する研究	意欲的に自己を表現する生徒の育成 ～伝え合い、認め合い、高め合う生徒を目指して～	令和4年 11月16日(水)	全教科
7	飯仲小学校	「学力向上」 「体力向上」 に関する研究	よさを認め合い、夢中になって取り組む授業の創造 ～知・徳・体の調和がとれ、自ら学ぶ、 人間性豊かな児童の育成～	令和4年 11月24日(木)	体育
8	舟戸幼稚園				幼稚園教育
9	舟戸小学校	「学校間連携教育」に関する研究	「学びをつなげ 夢をはぐくみ 未来を拓く 連携教育の推進」 ～他者によりよく生きる幼児・児童・生徒の育成～	令和5年 1月25日(水)	全教科
10	南中学校				全教科
11	東本郷小学校	「学力向上」に関する研究	自分の考えを表現し、学びあうことのよさを実感できる子の育成	令和5年 1月26日(木)	算数
12	鳩ヶ谷小学校	「学力向上」に関する研究	問題解決的な学習の充実 ～各教科の見方・考え方を働かせて～	令和5年 2月1日(水)	全教科
13	南鳩ヶ谷小学校	「学力向上」に関する研究	自主的・実践的な態度の育成 ～言葉がもつよさを生かして～	令和5年 2月7日(火)	国語・特活
14	戸塚綾瀬小学校	「学力向上」に関する研究	主体的・対話的・感動的な授業の実践 ～学び合いの中で説明する力が身につく、 理解を深められる児童の育成～	令和5年 2月8日(水)	算数
15	朝日東小学校	「学力向上」 「徳力向上」 に関する研究	居場所をつくり、自らを表現しようとする児童の育成 ～魅力ある学級経営・授業展開から迫る学力の向上～	令和5年 2月9日(木)	国語・特活

小学校 11校 中学校 3校 幼稚園 1園 計15校(園)

# 教育長報告（7）

## 令和4年度川口市スクールソーシャルワーカーについて

### 1 趣旨

教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて、児童生徒が置かれた様々な環境への働き掛けや、関係機関等とのネットワークの活用などにより、問題を抱える児童生徒及び保護者等に支援を行う専門家である川口市スクールソーシャルワーカーを川口市立教育研究所に配置し、学校が関係機関等と連携して、児童生徒の問題行動等への対応が図られるようにする。

### 2 採用人数 5名

### 3 配置について

川口市立教育研究所に配置  
※学校の要請に応じて、学校へ派遣

### 4 勤務条件について

原則週2日 1日あたり6時間 年間 90日以内

### 5 業務内容

- ・問題を抱える児童等が置かれた環境への働き掛け
- ・関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整
- ・学校におけるチーム体制の構築、支援
- ・保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供
- ・教職員等への研修活動等

### 6 採用する者

氏名	配属先	再・新
小林 ひろみ	川口市立教育研究所	再
三宅 朋子	川口市立教育研究所	再
佐藤 まさ子	川口市立教育研究所	新
中村 泰恵	川口市立教育研究所	新
山田 賀代美	川口市立教育研究所	新

### 7 任期

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

## 教育長報告（8）

### 令和4年度川口市立教育研究所教育相談員について

- 1 趣旨  
市内に在住している幼児及び児童生徒の教育上の諸問題の解決を図る。
- 2 採用人数            13名
- 3 配置について  
川口市立教育研究所に配置
- 4 勤務条件について  
月～金の週5日（土・日・祝日・年末年始の休日除く）  
1日あたり6時間
- 5 業務内容
  - ・児童生徒等への教育相談に関すること。
  - ・教職員及び保護者に対する助言・援助に関すること。
  - ・児童生徒等の教育相談に係る情報収集・提供に関すること。
  - ・不登校児童生徒の適応指導教室(チャレンジスクール、わくわくスクール)における指導・助言に関すること。
  - ・外国人児童生徒等の日本語指導・助言に関すること。
  - ・公民館等での教育相談や訪問相談に関すること。
  - ・特別な支援を要する児童生徒等の相談に関すること。
  - ・児童生徒等のいじめに関する相談及び学校への指導・助言に関すること。
  - ・新任・転入した管理職に対し、学校経営・運営等の相談に関すること。
  - ・その他、川口市立教育研究所の業務及び児童生徒等の教育相談に関し、適当と認められる事項に関すること。

## 6 採用する者

氏名	配属先	再・新
池内 淳一	川口市立教育研究所	再
加藤 祐子	川口市立教育研究所	再
佐藤 俊博	川口市立教育研究所	再
小田 正美	川口市立教育研究所	再
杉田 明	川口市立教育研究所	再
高村 美恵	川口市立教育研究所	再
瀬山 真一	川口市立教育研究所	再
安部 正幸	川口市立教育研究所	再
竹本 美香	川口市立教育研究所	再
松山 友昭	川口市立教育研究所	再
清水 健治	川口市立教育研究所	新
貫井 友宣	川口市立教育研究所	新
井上 清之	川口市立教育研究所	新

## 7 任期

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

# 教育長報告（9）

## 令和4年度川口市日本語指導支援員について

### 1 趣旨

外国人児童生徒や帰国児童生徒のうち、日本語が理解できないことで学校生活に支障をきたしている児童生徒を対象に、学校生活への適応を図るため、日本語の指導や文化風習の支援を行う。市内に在住している幼児及び児童生徒の教育上の諸問題の解決を図る。

### 2 採用人数 6名

### 3 配置について

川口市立教育研究所に配置

※No.1～4は、要請に応じて学校へ派遣し、日本語指導支援

No.5～6は、教育研究所で日本語初期指導

### 4 勤務条件について

月～金の週5日（土・日・祝日・年末年始の休日除く）

1日あたり5時間30分

### 5 業務内容

- ・児童生徒等への日本語指導・助言に関すること。
- ・教職員及び保護者に対する助言・支援に関すること。
- ・その他、川口市立教育研究所の業務及び児童生徒等の日本語指導に関する教育相談及び教科等指導に関し、適当と認められる事項に関すること。

### 6 採用する者

No.	氏名	配属先	再・新
1	村上 博俊	川口市立教育研究所	再
2	福島 章雄	川口市立教育研究所	再
3	石鍋 栄	川口市立教育研究所	再
4	橋本 正一	川口市立教育研究所	新
5	澁谷 艶子	川口市立教育研究所	再
6	浅井 智子	川口市立教育研究所	新

### 7 任期

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

議案第34号

令和4年度川口市立高等学校進路カウンセラーを委嘱することについて  
川口市立高等学校進路カウンセラーに次の者を委嘱するため、川口市立高等学校進路カウンセラー設置要綱第3条の規定により議決を求める。

記

1 委嘱をする者

氏名	配属先	再・新
本橋 彰	川口市立高等学校	再
矢田部 学	川口市立高等学校	再

2 任期

令和4年4月6日から令和5年3月31日まで

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平



## 議案第35号

令和4年度川口市学校ファーム推進事業を委嘱する指定校について

このことについて、川口市学校ファーム推進事業実施要項第2項の規定により、指定校を委嘱することについて、次のとおり議決を求める。

### 記

#### 1 委嘱をする学校

舟戸小学校	戸塚小学校
東領家小学校	在家小学校
戸塚南小学校	桜町小学校
南鳩ヶ谷小学校	榛松中学校
神根中学校	在家中学校

#### 2 任期

令和4年5月18日から令和5年3月31日まで

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

# 令和3年度 学校自己評価重点目標シート綴

川口市教育局学校教育課学務課

## 令和3年度学校評価のまとめ(達成度)

### 【小学校】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	41	42	0	0	83
教育課程	30	57	0	0	87
開かれた学校づくり	34	43	0	0	77
教職員の資質向上	30	60	1	0	91
施設・設備等の管理	56	32	0	0	88

### 【小学校】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	49.4	50.6	0	0	100
教育課程	34.5	65.5	0	0	100
開かれた学校づくり	44.2	55.8	0	0	100
教職員の資質向上	33	65.9	1.1	0	100
施設・設備等の管理	63.6	36.4	0	0	100

### 基準

A	ほぼ達成(8割以上)
B	概ね達成(6割以上)
C	変化の兆し(4割以上)
D	不十分(4割未満)

### 【中学校】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	26	25	1	0	52
教育課程	21	35	0	0	56
開かれた学校づくり	20	29	4	1	54
教職員の資質向上	18	32	1	0	51
施設・設備等の管理	30	18	2	0	50

### 【中学校】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	50	48.1	1.9	0	100
教育課程	37.5	62.5	0	0	100
開かれた学校づくり	37	53.7	7.4	1.9	100
教職員の資質向上	35.3	62.7	2	0	100
施設・設備等の管理	60	36	4	0	100

### 【高等学校】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	2	0	0	0	2
教育課程	2	0	0	0	2
開かれた学校づくり	1	1	0	0	2
教職員の資質向上	0	2	0	0	2
施設・設備等の管理	0	2	0	0	2

### 【高等学校】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	100	0	0	0	100
教育課程	100	0	0	0	100
開かれた学校づくり	50	50	0	0	100
教職員の資質向上	0	100	0	0	100
施設・設備等の管理	0	100	0	0	100

### 【幼稚園】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	1	2	0	0	3
教育課程	1	2	0	0	3
開かれた学校づくり	2	1	0	0	3
教職員の資質向上	2	1	0	0	3
施設・設備等の管理	3	0	0	0	3

### 【幼稚園】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	33.3	66.7	0	0	100
教育課程	33.3	66.7	0	0	100
開かれた学校づくり	66.7	33.3	0	0	100
教職員の資質向上	66.7	33.3	0	0	100
施設・設備等の管理	100	0	0	0	100

### 【幼稚園・小学校・中学校・高等学校】<個数>

	A	B	C	D	計
組織運営	70	69	1	0	140
教育課程	54	94	0	0	148
開かれた学校づくり	57	74	4	1	136
教職員の資質向上	50	95	2	0	147
施設・設備等の管理	89	52	2	0	143

### 【幼稚園・小学校・中学校・高等学校】<割合%>

	A	B	C	D	計
組織運営	50	49.3	0.7	0	100
教育課程	36.5	63.5	0	0	100
開かれた学校づくり	41.9	54.4	3	0.7	100
教職員の資質向上	34	64.6	1.4	0	100
施設・設備等の管理	62.2	36.4	1.4	0	100

※参考(令和2年度)

	A	B	C	D	計
組織運営	42.6	53.9	3.5	0	100
教育課程	36.3	63.7	0	0	100
開かれた学校づくり	31.9	63.1	2.8	2.2	100
教職員の資質向上	40.3	59	0.7	0	100
施設・設備等の管理	58.7	41.3	0	0	100

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
本町小	組織運営	○学校教育目標の具現化に向け、最新の情報をもとに、教職員一人一人の能力を計画的・効果的・主体的に発揮できる組織づくり □ △	○コロナ禍でも、目的達成のためにICTを積極的に活用するなど、教職員一人一人が主体的に考え、実行できる組織づくりの実現 □ △	A	・引き続きICTへの積極的な取組と活用で、さらに充実した運営を進めていただきたい ・ ・	11名
	教育課程	○学校の新しい生活様式を踏まえた知・徳・体のバランスの取れた学びに向けて、実態をもとにした計画的な実践 □ △	○高学年教科担任制やICT活用により、教職員一人一人の専門性を活かした学力・体力・徳力のバランスのよい向上 □ △	B	・子供一人一人の能力を引き出すとともに、オンライン学習による学力差、不登校、いじめには配慮が必要である。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会の発足による、「信頼される学校」「地域とともにある学校」の実現 □ △	○学校運営協議会の紙面開催を含めた計3回の実施とともに、ICT活用による保護者・地域の信頼と理解の獲得 □ △	B	・地域や保護者の意見を取り入れながら、コロナ禍の学校行事が工夫改善されている ・ ・	
	教職員の資質向上	○使命感と情熱をもった教職員による「ことばを大切にこころを形に いのち輝く本町小学校」の実現 □充実した働き方・生き方を全教職員で考え、実践することで教職員事故防止 △	○教職員間の高め合い、認め合いによる授業力・指導力の向上 □コミュニケーション活性化とチーム力向上により、重大な教職員事故ゼロ達成 △	B A	・教職員同士のコミュニケーション減少、関係の希薄化はさみしい ・昔、先生は保護者や子供たちから尊敬される存在であった。今は友達感覚に近いが、いつの時代も尊敬される先生でいてほしい ・	
	施設・設備等の管理	○教職員一人一人の危機管理意識を高め、安心安全な教育環境を整備 □感染予防対策と、学校教育目標の具現化に向けた予算運用 △	○日々の安全点検や危険個所の改善など、安全第一の授業や学校生活を展開 □コロナ対応予算も活用しながら適切な予算運用を実現 △	B A	・地域力も借りて管理する方法もある ・コロナ対応も含めてしっかり管理している ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
幸町小	組織運営	○組織の一員としての自覚と行動力のある 教員の育成	○保護者による学校評価「体・徳・知の調和がとれた 教 育を行っている」は92%（昨年度は79%）で 13ポイントアップ	A	・組織運営はしっかりとした向上が見受けられる。	10名
	教育課程	○体力の向上	○新体力テスト総合評価A+B+Cが85.3%（令和元年度は79.4%）で5.9ポイントアップ	A	・挨拶や返事の指導に努めてほしい。	
		□規律ある態度の育成	□保護者による学校評価「子供たちは自分から挨拶をしている」は78%、「子供たちはくつを揃えることができる」は65%	B	・学力差が不登校やいじめにつながらないように配慮いただきたい。	
		△ICTの積極的な活用	△タブレット端末を有効に活用	A	・タブレットが有効に活用されている。	
	開かれた学校づくり	○学校・学年の様子や連絡等をホームページやメールで発信 □児童の学校生活の様子をできる限り見いただく機会の確保	○保護者による学校評価「教育情報を適切に発信している」は92% □PTA授業参観や懇談会、3ブロックに分けての運動会や音楽会、持久走大会等の行事をすべて実施済	A A	・ホームページは爽やかさを感じ、見やすく、わかりやすい。メールでの情報はありがたい。 ・運動会を3つに分けて運用できたことはよかった。	
	教職員の資質向上	○教育公務員として高い意識 □経験年数に応じた指導力	○教職員事故はゼロ □保護者による学校評価「教員はわかりやすく授業を教 えている」は93%	A B	・倫理確立委員会による意識の向上が図れたと考える。 ・自主的な努力と行動が資質向上に繋がる。	
施設・設備等の管理	○閉門、施錠を徹底し、不審者の侵入を防止 □安全面や衛生面から優先順位をつけて施設・設備を管理	○不審者侵入はゼロ □施設・設備を原因とする事故はゼロ	A A	・不審者対策、災害時に備えた訓練も行われ、施設・設備の管理はしっかりとしている。 ・旧UR跡地は、安全面に配慮した運用をお願いしたい。		

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
仲町小	組織運営	<p>○コロナ禍の教育活動における目指す学校像の具現化に向け、チームとして最大限の成果をあげる組織運営</p> <p>□各主任のリーダーシップのもと、P D C Aサイクルにより、効果的な教育活動の実現を目指す組織</p> <p>△</p>	<p>○昨年度のコロナ禍の経験を生かし、組織の力を最大限に生かしながら「児童の安心・安全」「児童の学びの確保」の取組を実現</p> <p>□各主任によるリーダーシップの発揮による充実した教育活動を実現、コロナ禍における教育活動の充実に向けた教職員の知恵の集結と検討が必要</p> <p>△</p>	B  B	<p>・コロナ禍にあっても、教育の質が低下することのないよう、組織で力を合わせて今後も子供たちの育成に取り組む必要がある。</p> <p>・</p> <p>・</p>	5名
	教育課程	<p>○児童一人一人に分かる喜びを味わわせる教育課程の見直し及び授業の質的改善による資質・能力の育成</p> <p>□ I C T の積極的な活用により学ぶ楽しさを味わえる授業の実践</p> <p>△</p>	<p>○県委嘱による食育の研究により、食に関する指導力の向上が実現、対話的な学びに視点を当てた授業研究の実施、日本語指導の充実の実現化</p> <p>□主幹教諭や情報担当教員、I C T 支援員などの指導者による校内研修の実現と教育活動の充実</p> <p>△</p>	A  A	<p>・子供の学びは、“やらされる”ものであってはならない。子供が問題を見いだして課題を設定し、主体的に考えることができるよう、授業の質の転換を図る必要がある。</p> <p>・コロナ禍において、改めて学校の意義を問い直す必要がある。オンライン授業は、小学生では集中の持続に課題がある。端末を用いた学びは新たな教育的効果も期待ができる。</p> <p>・</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○教育活動の積極的な公開及び保護者・地域との連携による学校の教育力の向上</p> <p>□学校運営協議会等による保護者や地域との課題共有と協働の実現</p> <p>△</p>	<p>○地域の方々を活用した学習活動及び安全指導の充実、学校公開や学校行事における公開の方法を工夫</p> <p>□学校運営協議会における情報共有、教育活動の充実に向けた検討を実施、学校H P の積極的な更新に課題</p> <p>△</p>	A  B	<p>・朝の登校時の見回りについて、スクールガードリーダーと併せて、今年度はP T Aによる見回り体制も充実している。テレワークの影響からか、父親の参加も増えたことがよかった。</p> <p>・放課後子ども教室の開設に向けて、人材の確保に取り組んでいく。</p> <p>・</p>	
	教職員の資質向上	<p>○児童一人一人との信頼関係の構築及び安心して通える学校づくりに組織的に取り組む教職員の育成</p> <p>□授業力の向上に向けて、主体的・組織的に取り組む教職員の育成</p> <p>△教職員同士の学び合う場の設定による指導力の向上</p>	<p>○生徒指導部会、教育相談部会を中心とした共通理解の場や研修の充実</p> <p>□教頭を中心とした積極的な働き方改革への取組と教職員の意識の向上</p> <p>△研究授業時の研修の在り方を工夫、ベテラン教員を講師とした若手教員の指導力向上に向けた研修</p>	B  B  B	<p>・教員のなり手不足が課題とされる中、働き方改革に向けて、学校行事等については本質を見極めながら精選・工夫を図る必要がある。</p> <p>・</p> <p>・</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○緑化・環境美化・環境整備の推進による潤いのある学校の実現</p> <p>□安全に教育活動を実施することを第一にした施設・設備の管理</p> <p>△</p>	<p>○日常的な清掃活動、授業・委員会活動に伴う緑化活動、P T Aによる環境整備活動、作品の掲示の工夫により、潤いのある教育環境の整備が実現</p> <p>□全教職員・保護者による定期的・臨時的な安全点検による危機管理意識の向上及び施設・設備事故の防止が実現</p> <p>△</p>	A  B	<p>・校舎の老朽化が進んでいる中、子供たちが安全に学校生活を送ることができるよう、必要に応じた環境整備を行う必要がある。</p> <p>・</p> <p>・</p>	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
上青木小	組織運営	○学校の特色や目指す姿を踏まえた目標設定、全教職員の参画による組織的・機動的な学校経営を行うことにより、学校教育目標や目指す学校像を実現する。  □不登校児童を解消する。  △	○「校長室だより」を計12回発行し、校長の教育方針を取組のゴールを示すなど、全職員に浸透させることができた。  □ステップルームを設置したり、学校と家庭をオンラインでつないだり、学習の機会を提供した。  △	B  B	・ーム上青木小の一枚岩で教育に当たることは大切なので、引き続きチームで対応されたい。  ・不登校は、コロナ禍であるが、学校で学ぶ社会性などを身に付けるために、解消を目指すことが必要だ。 ・	5名
	教育課程	○「感染予防」と「学びの保障」を両立するとともに新学習指導要領を確実に実施する。 □ △	○学校の取組を学校内で共有し、保護者にも確実に周知することで、両立を図ることができた。また、タブレットについて、高学年を中心に活用した。そして、教科担 △	B	・授業の様子を参観して、GIGA端末の導入され画期的な変化を実感することができた。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○「学校」「家庭」「地域」との連携・協働を進め、「応援しがいのある学校」をつくる。 □ △	○各行事のHPの更新をこまめに行った。また、学校運営協議会を立ち上げ、予定通りに運営することができたが、内容を深めることが次年度の課題である。 □ △	A	・授業参観を行えない状況であるので、オンライン環境を活用して、授業動画等を見られるようにするとよい。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○ワークライフバランス推進に取り組み、教職員の働き方を改善する。  □教職員事故を絶対に起こさせないとともに教職員一人一人のよさを最大限に生かし伸ばす。  △	○在校時間の個票を作成したり、業務改善提案制度を年2回実施した。 在校等時間月平均は低い水準であった。  □倫理確立委員会や職員会議において、事例を活用した指導を行い、全職員一丸で事故を起こさない体制を強化する。  △	B  A	・教師という仕事、先生はずばらしいものだというイメージアップを図ることが、働き方の改善、成り手の数と質を高めることにつながるのではないかと。子どもが楽しみと思える学校づくりを進めたい。 ・一人で仕事を抱えないで、シェアしたり、引継ぎをしっかりすることで、教職員事故をなくしてもらいたい。 ・	
	施設・設備等の管理	○事務の適正な執行を見届け、管理する。  □安全・安心を保障した教育活動を展開するため、環境整備を行い、環境維持をする。  △	○教材費の口座振替制度について、事務職員を中心に、着実に進行し、システムを確立した □毎日の校内巡視、毎月の安全点検を確実に実施し、施設の安全面の維持・改善を行った。  △	A  B	・口座振替制度は、今後もより改善していただいたい。 ・避難所が3階でエレベーター等もないと、弱者にとっては避難しにくくなる。水害でなければ、1階を利用できるようにするなど、弾力的な対応をお願いしたい。 ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
元郷小	組織運営	<p>○学校教育目標、目指す学校像を基盤とした共通理解・共通指導に基づく組織的対応の実現</p> <p>□本校校訓「至誠」の具現化を実現</p> <p>△</p>	<p>○新規取組を実践</p> <p>□各学年主任、各分掌主任等との連携により、児童や保護者等への対応の在り方の変容</p> <p>△各学年主任、各分掌主任等との連携により、児童や保護者等への対応の在り方の変容</p>	B  B	<p>○組織をどの方向に進めるか。その方向が大切。組織の幹を、太くさらに連携できる組織へ</p> <p>○先生方の取組を、保護者や地域の人が、見れば理解が深まる。コロナ禍ではあるが、学校の取組等を公開する機会を増やすことが、相互の信頼関係を深めることにつながる</p> <p>○児童が、担任以外でも安心して相談ができる窓口があると、さらに安心できるはず</p>	3 名
	教育課程	<p>○教育課程の進捗状況を随時確認するとともに、学力向上に特化した業前活動をはじめとした学力向上に資する諸活動の推進</p> <p>□「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善の推進</p> <p>△</p>	<p>○分散登校時にはGIGAタブレット端末を活用し、児童の学びの継続</p> <p>○1日3回以上の教室訪問を実施し、教育課程の確認、見届けの実施</p> <p>□1単位時間の教室訪問を2回実施した。訪問後、授業評価に係るフィードバックの実施</p>	B  B	<p>○低学年でもタブレットの使い方に慣れ親しんでいて、習得がはやい</p> <p>○学校行事等、できないではなく、どうすればできるかを考えることは、教職員も自発的になり、自尊感情が高まり、児童に還元される</p> <p>○欠席している児童が、どの学級にもいる。感染不安による欠席をしている児童のケアが心配</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○様々なツールを活用した正確で迅速な情報提供を行うことで、学校教育への理解から学校・家庭・地域の連携体制の確立</p> <p>□学校運営協議会のさらなる充実と学校運営への意見反映により、地域に根差した学校づくりを実現</p> <p>△</p>	<p>○不審者情報や校外学習時をはじめとした情報伝達的手段として、保護者緊急メールの活用</p> <p>○12月末の時点で27回更新</p> <p>□学校運営協議会年間3回実施</p>	B  B	<p>○教職員の対応から、開かれた学校という感じを受ける。とても評価できる</p> <p>○ホームページの利用者数は、どれくらいか。閲覧している人数がわかるようにしてはどうか</p> <p>○学校と町会等が、コンセンサスをとって、進めることが大切</p>	
	教職員の資質向上	<p>○教職員の日々の授業と学校課題研究との有機的連携により、個々の教職員の指導力向上の実現</p> <p>□心身ともに健康で、高い倫理観を備えた教職員集団の形成</p> <p>△</p>	<p>○委嘱研究の1年目を終え、研究推進体制の確立</p> <p>○フィードバック資料に16項目の評価と具体的な姿、記述評価欄を設け、全教職員への還元</p> <p>□全教職員を対象とした川口市メンタルヘルスカウンセラーとの面談を実施し、長期病休ゼロや教職員事故ゼロの達成</p>	B  A	<p>○全教職員のメンタルカウンセラーによる面談の実施は、とてもよい。カウンセリング後のケアの充実も、大切である</p> <p>○日めくりカレンダー作り等、いろいろな取組を行ってよい</p> <p>○教職員の心身の疲弊を、本人が自覚できていないことが大きな問題</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○定期・臨時・日々の施設・設備の安全点検を確実に実施することで、教職員の「変化に気づく」危機管理意識向上の実現</p> <p>□教育環境の整備・充実のため、計画的・効果的に予算を執行する。</p> <p>△</p>	<p>○全教職員による消毒・換気を重点的に実施し、1日3回以上の校内巡視により確認</p> <p>□修繕必要箇所の早期発見・即時対応、必要な予算執行の実施</p>	B  B	<p>○校庭の側溝の清掃を、ここ数年行っていない。大雨が降ると、水がたまってしまう場所がある。町会と連携して、清掃を行ってはどうか</p> <p>○学級閉鎖や学年閉鎖等の措置が、他校に比べ、少ないことに驚いている</p>	



学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標		年 度 評 価		
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
飯塚小	組織運営	○校内研修の充実による教師の授業力・指導力向上（2年次）  <input type="checkbox"/> △	○学校評価「先生は、学習内容を理解できるように授業を行っている」の質問で、肯定的な回答99%達成  <input type="checkbox"/> △	A	・先生方の授業には工夫があり、児童の学習意欲を高めている。  ・I C Tの益々の活用を期待している。 ・ ・ ・自分からあいさつできる児童を育てるには、家庭（保護者）の協力も不可欠である。 ・ ・今後も、各種便りやホームページで学校の様子をたくさん発信していただきたい。 ・ ・ ・若い先生には、礼節をしっかり身に付けて、児童を指導してほしい。 ・子どもたちの様子から、先生方の頑張りを実感している。 ・ ・ ・備品を大切に、有効に活用してほしい。古い建物であるが、施設設備がしっかり管理されている。 ・ ・ ・	8名
	教育課程	○友達に優しく接する児童90%以上  <input type="checkbox"/> △	○保護者との「道徳の取組」やあいさつ名人・ピカピカ名人などの表彰により、学校評価「友だちに優しく接する児童99%達成」 <input type="checkbox"/> △	A B		
	開かれた学校づくり	○家庭や地域への積極的な情報提供90%以上  <input type="checkbox"/> △	○ホームページ100回以上更新。学校評価「家庭や地域への積極的な情報提供99%達成」  <input type="checkbox"/> △	A		
	教職員の資質向上	○笑顔とまごころで児童に接する教職員95%以上  <input type="checkbox"/> △	○学校評価「笑顔とまごころで児童に接する教職員99%達成」  <input type="checkbox"/> △	A		
	施設・設備等の管理	○新教育課程対応の教材用備品の計画的な購入  <input type="checkbox"/> △	○教頭のリーダーシップにより、予算を有効に執行  <input type="checkbox"/> △	A		

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝小	組織運営	<p>○職員一人一人の持ち味を生かし経営参画意識を高め、目指す学校像の実現に向け、機動的かつ組織的な学校経営の推進</p>	<p>○校長室だより等による新型コロナウイルス感染症に関する状況、ICT教育の推進等についての情報提供</p> <p>□新型コロナウイルス感染症について教員の意識を高めた、全校教職員一致の取組</p> <p>△教頭、教務主任が中心となった、各教職員が自己の能力を活かし授業・環境の改善 △初任者教員を含め、若手教員が自己の特徴を活かした授業提供</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>・職員一人一人の指導が徹底しており、学校全体がよい環境にあり、特に問題はない。</p> <p>・コロナ禍にも関わらず、教職員一丸となって、円滑かつ積極的な運営を行っていた。</p> <p>・数多い制限の中、つつがなく計画通りにほぼ進められているのは素晴らしいと思う。</p>	10名
	教育課程	<p>○主体的・対話的で深い学びへの授業転換による授業改善と、知・徳・体の調和のとれた教育活動の推進</p> <p>□道徳教育の推進と積極的な生徒指導の確立</p> <p>△芝生の校庭を活かし、運動を楽しく進めながら体力を高める指導の工夫</p>	<p>○コロナ禍において、これまで同様の学習内容の指導ができるか懸念の中で、教職員一丸となり、互いに声をかけ合って学習の進捗を話し合ったり、生活指導について確認したりし、予定した教育課程の進行</p> <p>□各学級の児童に対して、教職員が温かく活動を見守ることによる落ち着いた学校生活の進行</p> <p>△芝生の校庭を活用した体力向上の未達成</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>・学力や体力は個々の差は止むを得ないと思うが、指導方法によって向上していくと思う。引き続き国語力の向上、そして体力の向上を目標に活動してほしい。</p> <p>・授業の進め方、家庭学習の在り方、GIGAスクール構想への推進については、学力差や体力差、または環境差が当然あるものとして、多様な対応が必要と感じている。</p> <p>・引き続き国語力の向上、そして体力の向上を目標に活動していただきたい。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○「地域・保護者に信頼される学校」を目指した、保護者、地域との連携の強化</p>	<p>○校内音楽会、大貫海浜学園、学年体育授業参観、各学年の校外学習、宿泊を通しての修学旅行の開催</p> <p>○学校運営協議会を3回開催し、授業を参観いただくなど、2年目の活動における適時、適切な運営</p> <p>△学校応援団の活動の未開催</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>・今年度、環境が困難な中、感染症を施しながらの地域・保護者との連携強化を図られたこと、また、様々な通信手段を駆使して家庭との連携を図れたことは、保護者の安心・学校への信頼につながった。</p> <p>・ホームページの充実により、学校に訪問できない保護者や地域の方々にも、校内の様子がよく伝えられている。しかし百聞は一見に如かず。見守っている人がいつも近くにいるということ、きちんと子供たちにも感じ取ってもらうために、可能な限り、交流の場をつくってもらいたい。</p> <p>・地域、保護者等との連携は困難な現状だと思うが、開きにくい社会の中で、できる限り、交流の場を作っていたらとありがたい。</p>	
教職員の資質向上	<p>○キャリア段階に応じた指導力向上</p>	<p>○各教員の授業における定期的な参観</p> <p>○研究主任を中心としたICT活用の推進</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>・教職員の皆様、それぞれに得意分野をお持ちのことと思います。その得手を活かし、不得手はフォローし合っており、お互いの良さを（できないところではなく）認め合いながら「ワンチーム」として、子どもたちと向き合っていたらと幸いです。</p> <p>・A I 等の研修を充実させ、教員の指導技能を高めてほしい。</p>		

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
		<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康を最優先に考え、働き方改革の趣旨を踏まえた風通しのよい職場づくりの推進	<input type="checkbox"/> 水曜日の「リフレッシュデー」における18:00までに帰宅の促進	B	・小さなことだが、電話をかけた際の先生方の第一声や受け応えが明るく丁寧で、以前より安心して学校に電話をかけられる。	
	施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 「安全・安心」に視点をいた安全管理の徹底（学校評価安全・美化8割）  <input type="checkbox"/> 校務支援システムの活用と効率的な予算執行及び適切な文書管理	<input type="checkbox"/> 教頭、教務主任、養護教諭、事務職員、担任等による事務管理 <input type="checkbox"/> 危険箇所等の適切な管理における、事故のない運営 <input type="checkbox"/> 教務主任等を中心とした「芝生」の適切な管理・活用  <input type="checkbox"/> 事務主任を中心とした、文書規定通りの文書管理 <input type="checkbox"/> 期限の文書等を適切に廃棄するなどの管理	B          A	・整理整頓、清掃が行き届き、管理者の心配りが感じられる。 ・校舎が古いことを前提に建て替えの要望を継続的に市に求める一方で、定期点検はしっかりと取り組んでほしい。  ・長期間にわたる改修工事が無事終了し、近隣の者として安心している。 ・コロナ禍で地域の協力が得にくい中、外回りや芝生が変わりなく管理されていたことに感謝している。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
新郷小	組織運営	○全教職員が目指す学校像の実現に向けた、個々の 職責と役割を自覚 □校務分掌で互いに切磋琢磨し合える組織運営による、 学校全体の教育力向上 △	○教職員各自の職責や役割について自覚し実行 □学年・教科等主任がそれぞれのチームの中心となって 考え活動し、学校全体の教育力・学級力が向上 △	B B	・ベテラン教員不足を皆でカバーしチームワーク行動で 対応している ・電話や学校にいった時の、教職員の対応が素晴らしい ・	5名
	教育課程	○算数の授業において加配教員を活用し、少人数指導 やTT授業を充実。 □新学習指導要領の主旨に則った教育計画の実施と 見届け・改善及び基礎基本の取組を通じた学力向上 の実現。 △	○人材不足傾向や課題のある児童に対しての個別指 導により、少人数指導やTT授業の実施が困難。 □対話的な学習は今年度も難しい場面が多かったが 感染対策をしてできる範囲で児童の基礎基本の定着 は実現。 △	B B	・コロナ禍における対話的な学習や端末を使っでの学習 と、とても大変だったと思う。人材不足等の課題もある が、学習面では更に力を入れて取り組んでほしい。 ・GIGA端末を使った授業が楽しい様子。パソコンの使 い方は、大人よりもうまいかもしれない。 ・	
	開かれた学校 づくり	○保護者・地域に必要な教育情報を積極的に広報・ 提供により地域力を学校に取り入れ、信頼される学校 実現。 □ △	○学校運営協議会 2 回実施。委員の意見を参考に 組織体制を整え、学校運営に生かす。日々の教育活 動を、保護者や地域にHPやメールをつかって広報実 現。 □ △	A	・運営協議会の人数も増え、いろいろな意見が交わさ れるようになり、今後も参考になる意見が出されればと 思う。 ・本年度から町会の委員も加わりとてもよかったと思う。 ・プライバシーの関係で難しいのかもしれないが、ホーム ページに写真を掲載したり、写真を大きくできたりする といいと思う。	
	教職員の資質 向上	○人事評価制度を有効活用①授業力及び②人間味 溢れる教職員を育成。 □ △	○一人 3 授業公開実施。教員の授業力向上。倫理 確立委員会を定期的に実施（年間 1 1 回）。教職 員事故 0。 □ △	A	・コロナ禍で、公開授業の開催も難しくなったと思う。教 職員事故 0 は次年度も継続してほしい。 ・コロナ禍で授業参観には行けていないが、児童はどの 先生の授業も楽しいと言っている。先生方の教え方が いいからだと思う。 ・	
	施設・設備等 の管理	○快適な教育環境づくりのために、組織的・計画的に 施設・設備の安全点検を日常的・定期的を実施。 □ △	○毎月の安全点検、管理職と生徒指導主任による教 室環境点検、管理職と事務職員による施設点検を実 施。水道管の破損や校舎壁面のひび割れにも迅速に 対応。 □ △	B	・大変に歴史ある学校ではあるが、年々校舎の老朽化が 進み、修繕では厳しい箇所もあると思う。新校舎への 建て替えを行ってほしい。 ・災害時に避難所となっているので、その辺りは気にな る。コロナ禍で常に換気をしているからか教室の汚れが すごい。 ・	

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
神根小	組織運営	<input type="checkbox"/> 組織を生かした主任層の育成と学校運営に対する意識の向上 <input type="checkbox"/> 目指す学校像の具現化のための全職員の共通理解・共通行動体制の確立 △	<input type="checkbox"/> コロナ禍により、制限が多かったが、可能な範囲で学校行事を実施（校外学習、運動会、修学旅行、音楽会） <input type="checkbox"/> 教職員の相連報、何事も後回しにせずすぐに行動を起こす意識を醸成 △	B  B	・コロナ禍で、学校運営も難しかったと思うが、中でも体験学習や学校行事ができたことは良い。 ・全職員の共通理解をはかるにあたって、相連報を意識して運営がなされたことはとても良い。 ・	5名
	教育課程	<input type="checkbox"/> 児童の学力向上と豊かな心の育成を育む教育活動の展開 <input type="checkbox"/> 一人一台端末を使用している指導法の習得と授業への積極的活用 △	<input type="checkbox"/> 計算力向上のため「さくちゃん計算検定」を毎月実施 学力向上のため、学力向上問題を問題を常時掲示 <input type="checkbox"/> 夏季休業中にICT研修を2回実施 児童のICT端末へ2社のソフトを導入、デジタル教科書（算数）を全学年に導入、ICT端末の積極的活用が進行中 △	B  A	・子供たちの個性を尊重し、やる気を起こさせる動機付けや、柔軟な発想豊かな子供たちに成長するよう教育してほしい。 ・ICT端末の活用と対応についてさらに知識の共存を進めてほしい(教員も含めて) ・	
	開かれた学校づくり	<input type="checkbox"/> 学校における教育活動の積極的情報発信と保護者、地域との信頼関係の向上 <input type="checkbox"/> 地域と学校が連携・共同し、信頼される学校を目指す △	<input type="checkbox"/> HPはほぼ毎日更新（閲覧数は1日約250件） 学校メール登録率100% <input type="checkbox"/> 積極的、定期的なコミュニケーションにより連携を強化 △	A  B	・学校応援団の方々には感謝している。 ・学校運営協議委員の声に耳を傾けて熱心に取り入れようとする姿勢がうかがわれた。 ・	
	教職員の資質向上	<input type="checkbox"/> 教職員の指導力向上 <input type="checkbox"/> 服務規律の厳正化 △	<input type="checkbox"/> 教室訪問はほぼ毎日実施 授業力向上のため管理職による授業参観を実施後指導（11月） <input type="checkbox"/> 「校長室だより」を随時発行（現在30号） 情報の発信と共有化 △	B  A	・児童の「本音」を見極め、引き出すことができるよう、資質向上を望む。 ・教職員向けに「校長室だより」を作成し情報発信をして、風通しの良い職場を作ろうとしている。 ・	
	施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 施設設備の計画的修繕及び管理 <input type="checkbox"/> 通学路の安全確保 コロナ感染防止に配慮した対応 △	<input type="checkbox"/> 危機管理マニュアルを見直し、新たに災害時対応（火災、震災、風水害、その他）を追加 <input type="checkbox"/> 安全点検、校内の危険個所の修繕は、計画的に実施 北川口幼稚園近辺の通学路の安全確保について申請中 コロナ対応は今後も継続して実施 △	A  A	・各地域には防災部が設置されているので、町会との間に役割分担を事前に取り決めておくのはどうか。 ・通学時の安全確保は、最も注意してほしい。 他市のような事故が起きる前に対策を至急お願いしたい。 ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価		達成度	学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況			
青木北小	組織運営	<input type="checkbox"/> コロナ禍にあっても元気な教職員集団による適切な学校運営の推進 <input type="checkbox"/> 不登校児童ゼロ、登校しぶりやいじめ案件への迅速な対応の実施と解消を実現 △	<input type="checkbox"/> 一人一役の校務分掌担当及び在校時間の45時間未満の通常化 <input type="checkbox"/> 各種委員会の定期的な開催による具体的な対応策の検討と実施 △	A B	・コロナ禍による制限下の児童のストレス等の苦痛が気にかかる。一人一人を注意深く見守って欲しい。 ・ ・	6名
	教育課程	<input type="checkbox"/> 基礎的・基本的な力の定着のための工夫された活動の実施 △	<input type="checkbox"/> O G I G A スクール端末の授業中の積極的な活用が実現 △	A	・授業の遅れにつながらないように取り組んで欲しい。 ・短時間でも子供たちの記憶に残る学校行事を開催して欲しい。 ・	
	開かれた学校づくり	<input type="checkbox"/> 孤立しかけた学校と保護者、地域の協働 △	<input type="checkbox"/> 対面や紙面による学校運営協議会の再開（年3回実施） △	A	・学校応援団の積極的な活用をして欲しい。 ・ ・	
	教職員の資質向上	<input type="checkbox"/> ライフステージや教職の経験に応じた指導力の定着 △	<input type="checkbox"/> 人事評価面談等における教員一人一人の頑張りのアピールが実現 △	B	・当たり前の徹底をもっと分かりやすく具体的な表現で表し、それを徹底すると良い。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 計画的な修繕の実行による学校全体の環境整備の推進 △	<input type="checkbox"/> 安全点検による修繕箇所への迅速な対応 △	A	・通学路点検について、危険個所が本校に無いのか心配である。 ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員	
		年 度 目 標	年 度 評 価				
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度			
頷家小	組織運営	<p>○「繋がる」をキーワードに、学校課題の解決に向け、教職員の総力を結集し、児童一人一人を伸ばし、育める魅力ある学校づくりの実現</p> <p>□一人一人の教職員がそれぞれの持ち場で力を発揮</p> <p>△</p>	<p>○学校の課題解決に向け教職員がそれぞれの持ち場で力を発揮し、“一人”を大切にした指導で、魅力ある学校づくりを実現</p> <p>□学校教育目標達成に向けて組織的に取り組んでいる」100%達成、学校生活アンケート「学校は楽しいですか」95%達成</p> <p>△</p>	B	<p>・多くの先生方の異動という中、教育の質を落とさないようにとの意識をもち、組織的に取り組まれたことは素晴らしい</p> <p>・教師のみならず、個人目標と組織目標を明確化する必要がある。教師は教え導く仕事であるので、使命感が重要</p> <p>・</p>	7名	
	教育課程	<p>○ICTを積極的に取り入れ、わかった、できたを実感できる授業、個に応じた指導の充実</p> <p>□校内研修（国語）を軸に、一人一人の授業力向上、児童の学力の向上</p> <p>△</p>	<p>○一人1台配付されたタブレット端末における授業や家庭学習において積極的な活用</p> <p>□、年2回の研究授業・2月の本発表を中心とした指導力向上への取組</p> <p>△</p>	B			<p>・学力・体力・徳力への目標値達成への取り組みの難しさを感じる。平均値の向上と同時に高低のばらつきをなくすためのフォローアップは特に難しい</p> <p>・ICTを活用することで興味を持って主体的に学習に取り組めたと思う。先生方の前向きな努力の成果だと思ふ。</p> <p>・</p>
	開かれた学校づくり	<p>○学校・家庭・地域のつながりを確かなものとした開かれた学校・信頼される学校づくり</p> <p>□保護者・地域の願いや期待に応えていける学校</p> <p>△</p>	<p>○保護者への学校公開の場を確保し、教育活動のご理解をい得られるようHPでも教育活動の様子を随時発信（月平均1.7万アクセス）。</p> <p>□学校運営協議会で承認を得た児童の下校見守りを、地域の方の協力を得て実現（登下校での事故ゼロ）。図書ボランティア等、学校応援団の拡充。</p> <p>△</p>	B			<p>・学校だより等を通して学校の様子を町会の人にも理解していただけるようにしているが、頷家小から元気をもらうことが多くと感じている。</p> <p>・コロナ禍で学校と地域の繋がりが薄くなったような感じがする。新たな形で繋がりを考えていきたい。</p> <p>・学校・家庭・地域の3者をつなぐトライアングルの辺を「思いやりの心」でつなぐ。児童の健やかな成長のためにも、行事・イベント等で関係を強化したい。</p>
	教職員の資質向上	<p>○保護者・地域からの意見に耳を傾け、迅速で丁寧な対応の徹底</p> <p>□教職員事故防止に向け、危機意識を高くもった倫理観の向上</p> <p>△経験の浅い教員の指導力の向上</p>	<p>○生徒指導主任を中心とした早期の組織的対応</p> <p>□教頭を中心とした倫理確立委員から随時教育情報や研修に取り組むことで、教職員事故ゼロを達成</p> <p>△あるベテラン教員が授業に入れるシステムを設定したことによる若手教員の指導力向上。</p>	B A B			<p>・どんな職場でも活性化とレベルアップのための人材のローテーションが必須事項と考える。持ち場・立場での実践活動を通してのさらなる資質の向上を期待する。</p> <p>・普段接する管理職の迅速で丁寧な対応から学校全体の資質の良さを感じる。</p> <p>・働き方改革が前提となり、教育委員会を含めて教師の仕事内容の見直しが急務である。本来、教師と児童の時間を確保し、さらに多くの時間を児童のために費やすべき。</p>
	施設・設備等の管理	<p>○毎月の定期点検及び日常の巡回点検、職員等の報告により、施設設備の適時適切な改修・改善</p> <p>□共同で使用する箇所の3密を防ぐ環境づくり</p> <p>△</p>	<p>○教頭・校務員・事務を中心に迅速に改修・修繕。</p> <p>□昇降口に消毒、特別教室にパーテーションの設置、各教室にCO2センサーを購入する等、感染症対策の徹底</p> <p>△</p>	A B			<p>・感染対策にしても可能な限りの対応はしていただいていると感じる。校内の感染が拡大していない状況からもよい対応をしていただいていると考える。</p> <p>・校舎内はいつもきれいに清掃されており、早急に改善を必要とする箇所はないように感じる。</p> <p>・学校は児童の学習の場として最低限の安全な環境を図る必要がある。</p>

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
舟戸小	組織運営	○学校の核となる若手教員を育成する。  □「チーム舟戸小」の帰属意識をもち、教職員一丸となって課題解決に向かう。 △	○学年主任2名は30代前半（それぞれ研修主任、体育主任を兼務）、生徒指導主任は30歳の教諭に命課した。 □校長通信を発行し、学校内外の問題を提起して積極的な参画意識を涵養した。 △	A  A	・ ・校長通信の発行は、よい考えである。 ・	5名
	教育課程	○質の高い授業を効果的に実践する。  □ △	○学年間で授業進度を確認しつつ日々の授業の充実に取り組んだ。各授業を観察して、指導内容を直接確認した。 □ △	A	・タブレットの活用やオンライン授業の取組はよい。 ・コロナ禍の感染防止対策で規制が多い中、それなりの成果を出せたのではないかな。 ・	
	開かれた学校づくり	○ホームページや学校だよりによる情報発信をつうじて、保護者・地域住民と連携する。  □ △	○ホームページの更新をつうじて学校の取組を公開し続けることができた。  □ △	A	・コロナ禍の中、学校へ出向く機会が少なくなったことは残念であった。次年度は学校行事等にぜひ参加したい。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○教育公務員としての自覚のもと、確かな指導力を備えた、子供や保護者から信頼される教職員を育成する。 □ △	○校長通信を発信し、教職員への啓発を行った。継続して授業観察を行って指導方法の改善のため指導助言した。 □ △	A	・若手先生を経験豊かなベテラン先生が指導するなど、指導力向上のための具体的な取組を期待したい。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○きれいな学校、安心・安全な学校づくりを実現させる。 □ △	○学校予算を計画的に執行し、「きれい・安心・安全」という視点で迅速に修繕・整備を行うことができた。 □ △	A	・危機管理意識を常に保ち、大規模災害に備え安全対策の徹底を願う。 ・ ・	



学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員	
		年度目標	年度評価				
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度			
十二月田小	組織運営	<input checked="" type="checkbox"/> 明確な目標設定と組織としての協働体制の活性化 <input type="checkbox"/> 効率的な諸会議運営等、業務改善 <input checked="" type="checkbox"/> 各主任の学校運営参画意識の高揚	<input checked="" type="checkbox"/> 組織的な教育活動の推進がおおむね実現できた。 <input type="checkbox"/> 校長・教頭・主幹教諭が一体となり、円滑に学校運営できた。 <input checked="" type="checkbox"/> 各学年主任・分掌主任の経営参画意識が高揚した。	A B A	・感染症対策を講じ、取組に工夫が見られた。 ・校長のリーダーシップの下、教職員の一体感がある。 ・どの教員も熱心に教育活動を行っている。 ・学力・体力の向上を図られたことはよい。 ・どの教室も熱心な授業が展開されている。 ・管理職のリーダーシップにより進めていってほしい。	6名	
	教育課程	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症対策下の教育課程の確実なる実施 <input type="checkbox"/> 一人一人を伸ばす授業の質的向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教員の学級経営力・生徒指導力の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 状況に応じた教育活動の工夫を行い、実施できた。 <input type="checkbox"/> 実践的研究を進め、学力・体力ともに県や市の数値を上回る値を得られた。 <input checked="" type="checkbox"/> 実践的研究と事後の指導助言、協議会の実施により、教員一人一人の学級経営力・指導力が向上した。	A A B			
	開かれた学校づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者・地域の思いや願いを教育計画に生かす <input type="checkbox"/> 学校よさ、取組の重点・現状の積極的発信	<input checked="" type="checkbox"/> 学校評価における連携に関する項目の数値が向上した。 <input type="checkbox"/> 積極的発信により、保護者・地域の理解が高まった。	B B			・学校応援団や地域の人材を多く活用したことは評価できる。今後も続けてほしい。 ・より連携を強化する方策を行ってほしい。
	教職員の資質向上	<input checked="" type="checkbox"/> 学び合い、高め合いのできる職場環境づくり <input type="checkbox"/> 規律と温かい人間関係を基盤にした学級経営力、指導力の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 教育公務員としての自覚と誇りの醸成	<input checked="" type="checkbox"/> 風通しのよい職場環境づくりに努め、子供たちを伸ばすとともに、事故0、病休者(精神)0を維持できた。 <input type="checkbox"/> 学習規律の確保ができ、コミュニケーションを通して、児童との望ましい人間関係を構築できた学級が多い。 <input checked="" type="checkbox"/> 倫理確立研修、衛生推進委員会を機能させ、事故0を維持できた。	B A A			・事故がないことはよい。今後も維持してほしい。 ・大型TVも活用し、落ち着いた中で授業が行われていた。 ・衛生推進の全体研修会の回数を増やす。
	施設・設備等の管理	<input checked="" type="checkbox"/> 事故防止の徹底 <input type="checkbox"/> 施設・設備等の状態の可視化 <input checked="" type="checkbox"/> 施設・設備の有効活用	<input checked="" type="checkbox"/> 安心・安全で活気と潤いのある教育環境づくりができた。 <input type="checkbox"/> 故障、不具合の程度を把握し、全教職員に可視化できるようにした。 <input checked="" type="checkbox"/> 掲示計画を見直し、有機的に活用できるようになった。	A B A			・複数の目で安全点検し、今度もより安心・安全な学校づくりを行ってほしい。 ・学校内外がきれいに保たれている。 ・子供たちの作品が、たくさん掲示されていてよい。

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
飯仲小	組織運営	○指示・伝達の浸透、学年力と分掌機能の向上  □会議・分掌事務の効率化  △	○指示・伝達は概ね浸透。学年・分掌で能動的な取り組みを実施、組織対応力を発揮。 □先を見通した提案、I C T 活用による事務の効率化が確実に進行。  △	B  B	・子どもの健全育成のため、日頃からの取組に感謝。  ・より実感を伴う改善を期待。  ・	11名
	教育課程	○学習活動におけるタブレット活用の位置づけと、新たな方法による行事の実施 □児童の自己肯定感の高揚、規範意識と学びに向かう力の育成  △	○I C T の活用が定着。I C T の活用を含め、方法を工夫することで計画した行事の実施を実現。 □読書活動と規範づくりが浸透。児童に前向きな言動が増加。全校の規範意識と落ち着きの向上。  △	A  B	・I C T 活用における保護者の協力のレベルアップとフォローが大切。 ・スタンダードは具体的にどのようなものか知りたい。  ・	
	開かれた学校づくり	○情報発信の充実 「見える教育活動」の展開  □  △	○新ホームページの開設、毎日の更新を実現。情報発信に係る保護者評価95%達成。  □  △	A	・情報発信がよくできており、学校の様子や状況が分かる。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○校内研修の充実による教員の授業力・指導力の向上 □教職員の倫理観と危機意識の高揚、適切な言動がとれる教職員の育成  △	○指導に係る学年間の共通理解。協働によるより良い授業づくりや生徒指導を実現。 □研修をとおり倫理観と危機意識が向上。協働による事故防止。  △	B  B	・負担が大きい状況において、教職員は創意工夫して授業に臨んでいる。 ・危機意識を持ち続けることが大切。  ・	
	施設・設備等の管理	○安全を第一とした見える修繕の実施  □美しく機能的な学びの環境づくり  △	○安全点検に基づき、不具合や危険に迅速に対応。計画した修繕を全て実施。 □備品所在の明確化と廃棄、計画的な掲示更新を実施。花を絶やさず潤いある環境づくりを継続。  △	A  A	・今後も安全で美しい学習環境づくりに取り組むことを期待する。 ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
並木小	組織運営	○部会長や主任を中心としたボトムアップ型運営の確立  <input type="checkbox"/> △	○組織改革は順調に進んでいる。ミドルリーダーの育成を視点に新たな組織運営に加え、各主任の役割・責任の所在や支援体制などが浸透してきた。 コロナ禍における難しい学校経営において、臨機応変に適切な対応を重ねることで組織力も向上してきた。  <input type="checkbox"/> △	A	・校長の学校経営方針が職員に十分浸透している。  ・	5名
	教育課程	○組織的な学力・体力向上策の推進  <input type="checkbox"/> △	○学年単位で教職員が協働協力して取り組むことができた。成果をあげることができた。  <input type="checkbox"/> △	B  B	・オンライン授業等丁寧に対応することができた。ますます重要になってくるはずである。さらに研究を進めていただきたい。 ・日本語指導により一層力を注いでいただきたい。 ・	
	開かれた学校づくり	○コロナ禍での活動の再構築と関係機関との信頼関係の醸成  <input type="checkbox"/> △	○情報共有システム（コドモン）の導入においては、大きな成果を感じている。よりよい運用をさらに模索していく。 大きな行事や交流は滞っているが必要な情報交換や交流は進める事ができた。  <input type="checkbox"/> △	A	・通知や文書のデータ送信は良い取組である。必要な情報が整理され素晴らしい。  ・	
	教職員の資質向上	○校内研修体制の確立による指導力と同僚性の向上  <input type="checkbox"/> □の継続  △	○3部会の研修体制が軌道に乗ってきた。部会長を中心としたグループ研修についても参画意識が高まっている。成果と課題を明確にし、校内研究の骨格をさらに丁寧に作る必要がある。 □職員同士で、助け合う雰囲気醸成されている。チームワークよく共通課題に取り組むよう支援することができた。  △	B  B	・働き方改革についてさらに進め、より子供たちのために努力できる教員を育成していただきたい。 ・	
	施設・設備等の管理	○施設・会計・文書等の管理体制の充実  <input type="checkbox"/> △	○予算の運用はコストパフォーマンスを考慮し最善の予算運用につなげることができた。 □大型遊具の撤去など、施設設備の老朽化対策に係る予算管理等、適切に行うことができた。  △	A  A	・学校がよりよいものとなるよう市教育委員会へ今後も働きかけを継続していただきたい。 ・遊具の撤去等残念だが、安全が第一である。、来年度のプール大改修に向けて丁寧に取り組んでいただきたい。 ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
安行小	組織運営	<p>○不登校の解消及び不登校の未然防止実現</p> <p>□子どもの良さを認め褒め伸ばすことで、自己肯定感を高める教育活動を実現</p>	<p>○くすのきルームの活用等ニーズに合わせた対応で、令和元年度12名→昨年度9名→今年度5名まで減少</p> <p>□ライフスキル川口の「秘密の友達」方式で認め合った光る所を学校公開日に全員分掲示し、家庭とも個々の良さを共有</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>・コロナ対応を最重点として、絶えず保護者・地域の人達に気を配り、児童の安全育成に努力する先生方に敬服。コロナ禍でも様々な試みで良い方向に動いている。</p> <p>・くすのきルームの試みはとても良い。クラスには行かれないが、くすのきルームなら、と考えられる環境を作ったことは評価できる。</p> <p>・児童個々の良い点を認め、それを伸ばす教育に力点を置かれていることは良いと思う。</p>	8名
	教育課程	<p>○子ども同士の学び合い教え合いを重視し、どの子ども分かる授業、できた喜びが味わえる授業を展開することで、個々に応じた学力向上を達成</p>	<p>○スクールタクト導入による思考の可視化、「発表の仕方、聞き方」の全校統一指導で学び合いを促進し、学力が着実に向上。南部事務所から指導主事を招聘した学力調査分析研修会等、外部の力も生かして学力</p>	B	<p>・1年やなかよし学級まで、楽しそうな絵も使い、授業の進め方等、よく考えられている。</p> <p>・学力差、能力の個人差は当然ある。朝の15分モジュールタイムの取組で救われる児童もいると思う。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○積極的情報発信により安行小が家庭・地域の活力源となり、保護者・地域に愛される学校、共に地域の子どもを育める学校づくりを実現</p>	<p>○「安行原の蛇づくり」について、ICTも生かして地域とつながる探求的な学びで埼玉新聞で紹介されたり、閲覧板用「敬老の日」の児童メッセージを作成したりと、学校が地域の元気の源となる取組を実施。登下校時の安全見守りに、新たに地域の交通安全協会の協力獲得。</p>	A	<p>・学校、家庭、社会教育三位一体、心をつなげた児童育成が重要。公益優先、社会のために真に役に立つ人材の育成を。</p> <p>・地域の協力も積極的に受け入れ、良い形である。図書環境支援ボランティアも上手く動き出すことを願っている。</p> <p>・学校運営協議会資料が充実しており、学校の様子がよく分かった。朝会の校長講話も具体的で分かり易く、学校への思いが伝わってきた。これも開かれた学校の姿。</p>	
	教職員の資質向上	<p>○「ワンチーム安行小」として、心身ともに健康で、やる気と笑顔あふれる教職員の育成を実現。</p>	<p>○学力を伸ばした教員の良い取組を学校全体で共有し、活用。教職員学校評価で「事故を起こさせない風通しの良い職場作り」の達成率が全22項目中1番高く、事故根絶への意識高揚継続中。</p>	A	<p>・安行小はみんな仲良く、ワンチームである。</p> <p>・教職員数が多く、教室での指導方法も個性があり、大画面やネット等、様々な有効活用されている。まれに大声で叱る姿には少し心が痛む。</p> <p>・管理職指導のもと、教員の教育指導力強化、学力向上に尽力しており、安心。教師が自分自身、品性向上に努力精進し、先生としてのプライドを持ってほしい。</p>	

令和3年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
	施設・設備等の管理	○施設・設備の適切管理、及び会計関係を含めた諸帳簿の整備、管理の徹底、並びに効果的な予算運用により、安心・安全な教育環境づくりを実現	○学年教材費口座引落とし及び業者へのネット振込による支払いを初めて行い、原則現金を扱わず、目つ未納ゼロで実施できたことは、金銭に係る事故の防止及び負担軽減の観点からも大きな成果。机上パーティションの全校分購入等コロナ予算を有効活用。	B	・老朽化した校舎の改善のため、絶えず尽力され、日々の努力に頭が下がる。  ・体育館の雨漏りの修繕工事に着工できて良かった。古い校舎なので建て替えて体育館も3階建て等にできればよいが、予算が難しいか。 ・児童が安全に学べるよう、地域みんなで力を合わせ、努力していきたい。市に働きかけることができれば手伝う。	

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
原町小	組織運営	○「すべての子供の学びを保障する」という目標を共通認識、すべての教育活動をその目標実現のために機能  □  △	○すべての教育活動は目標を実現させることにあるという教職員の共通認識の向上  □  △	A	・校長の優れたリーダーシップのもと職員がチームとして学校運営を邁進している。  ・コロナ禍の不安の中、行事を実施する判断は大変だと思えます。校長の決断・先生方の努力は並々ならぬものである。 ・	1 2 名
	教育課程	○「学び合い」による教育活動を推進し、一人残らず子供の学ぶ権利を保障し、学びを高める授業を实践  □ △	○本校児童の実態を把握し、全教職員での組織的な教育活動の改善  □ △	A	・「学び合い」という教育活動に正面から向き合い、研究発表を成功させた。高い指導力を存分に発揮されたと認識している。 ・授業によって先生を交換して行くと効果的である。 ・コロナ禍で学びの様子を見る機会が減少したが子供たちの学習意欲は伝わってくる。また、全ての子供たちに目を配ろうとする先生方の姿勢に感心させられた。	
	開かれた学校づくり	○「目指す学校像」実現に向けて、学校・保護者・地域が連携した学校づくりを実現  □ △	○学校支援（サポーター）やボランティア活動の参加者の増加、保護者・地域との連携の推進  □ △	A	・保護者からの信頼も高く、地域の原町小として親しまれ愛されている。これからも地域との連携がますます深まることが期待される。 ・消毒ボランティア等、保護者や地域に募集をかけると学校・家庭・地域の絆がより深まる。 ・学校の教育活動に保護者や地域を巻き込み先生方の負担を減らす必要がある。	
	教職員の資質向上	○教職員の服務に関する意識の向上と「すべての子供の学びを保障する」ことのできる教職員の育成  □ △	○教職員は相互に協力し合い、同僚性の尊重、規律遵守 教員同士授業を互いに見合い、研究協議を行うことでの指導力向上  □ △	B	・職員が生き生きと子供たちと接し安心して教育活動を任せることができる、よい雰囲気が感じられる。  ・多種多様な業務の中、先生方の健康を維持しながら教育活動を進めていく必要がある。 ・先生方の子供に与える影響は大きい。日々、自己研鑽が必要である。	
	施設・設備等の管理	○安心・安全な施設設備の管理と美しく潤いのある学校環境づくり  □施設の老朽化に伴う適切な安全点検と児童の安全面や衛生面を第一に考えた修理・修繕 △	○校舎は老朽化してはいるが清掃が行き届き、子供の作品等により潤いのある学校環境の維持  □地域の方や保護者による消毒ボランティアの実施による衛生面の配慮 △	B  B	・施設は古いものが多いが、清潔感がある。危険箇所については迅速に対応している。  ・学級の人数増加や学級数の増加に伴う学習道具の置き場や教室の確保が課題である。 ・花壇の花が咲いていることが多く、見る人を楽しませている。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
前川小	組織運営	○コロナ禍における新しい生活様式を意識した会議の もち方や運営方法の工夫  □ △	○全体での会議や研修をオンラインで実施したり、少人 数での会議を推奨することで会議時間の短縮を実現  □ △	A	・コロナ禍で大変の部分も多いが、オンラインの取り組み はよい。  ・ ・	5名
	教育課程	○教科主任を中心に年間指導計画の見直し及び効 果的なICTの活用  □ △	○9月のオンライン授業の実践、児童のICTスキルの 高まりと同時に教職員の情報活用能力が高まった  □ △	A	・ICTを積極的に活用している様子がよくかった。子 供たちの学びの速さに驚いている。  ・ ・	
	開かれた学校 づくり	○様々な場での学校と保護者・地域の双方向の情報 伝達や情報交流を実施  □ △	○毎日のHPの更新と分散型授業参観・ミニ運動会の 保護者参観の実施。オンライン授業参観の実施。  □ △	A	・地域学習でかかわることができた。今後も学習支援に 積極的にかかわりたい。  ・ ・	
	教職員の資質 向上	○主観教諭が計画し、若手を中心となって相互に学び あう研修会の定期的な実施  □ △	○校内研修での教科横断的な学びの実践、若手教 員研修の実施  □ △	B	・子供たちの学力向上につながるような工夫がよかった。  ・ ・	
	施設・設備等 の管理	○地域と連携した防災計画と避難訓練の実施  □ △	○地域との連携が十分にできなかったため、例年通りの 計画  □ △	B	・地域の防災訓練は人数を限定して行っていく方向で 調整  ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
戸塚小	組織運営	○主任層を中心とした業務の遂行と、組織を支える人材育成の実現 □ △	○各学年正副主任のリーダーシップによる人材育成を基盤に、指導体制の確立を実現 □ △	B	・今後も教職員一人一人が高い学校運営参画意識をもって実践を行い、組織力を高めていくことを望む。 ・ ・	6名
	教育課程	○教員の授業力向上を柱とした教育課程における量と質の確保 □ △	○校内課題研究をもとにした教員一人一人の授業力向上により、教育課程を質・量ともに確保 □ △	B	・対話的な学習の良さと学習用端末等を駆使したICTの効果的な活用をコラボさせ、子供たちの深い学びに一層近づけて欲しい。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○「チーム戸塚小学校」の組織力向上 □ △	○教職員・保護者共に、教育活動への高い参画意識の実現 □ △	B	・教育活動の成果を保護者、地域と共有することで教育活動に対する理解を得ることが一層望まれる。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○教職員一人一人の資質・能力（教職員事故防止を含む）の向上 □ △	○自己評価シートを活用した人材育成の実現と意図的・計画的な研修の実践 □ △	B	・自己評価シート等を有効活用し、教職員一人一人にやりがいを感じさせることで資質能力を向上させることを望む。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○児童が安全安心に、様々な力を伸ばすことのできる教育環境の整備と充実 □ △	○日々の教室訪問、複数の目での校内外巡視により、子供にも大人にも安心安全な教育環境づくりの実現 □ △	A	・子供たちの情操に働きかける教育に相応しい潤いのある環境作りに努めて欲しい。 ・ ・	



学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
青木中央 小	組織運営	○教職員の学校運営参画意識の高揚、優れた指導技術の継承  □  △	○健康教育を柱に、コロナ禍においても学びを止めず、オンライン授業をはじめICTを効果的に活用つつ優れた指導技術を継承  □  △	B	・校長の学校経営方針のもと、教職員がよく理解し、共通指導にあたっている状況がよくわかる。  ・学校行事や教育課程の実施にコロナ禍においても学びを止めず、児童の健康第一に、創意工夫しながら学校運営に取り組んでいる。 ・	6名
	教育課程	○感染症対策を講じた上で、児童一人ひとりのよさを伸ばす、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進  □  △	○学力向上については、学力学習状況調査(4～6年)において、全国及び県平均値より上位 □体力向上については「すくすくカード」による健康づくりの取組に加え、体力チャレンジアップ週間を設定し、体育活動の充実と体力の維持・向上  △	A	・GIGAスクール構想で導入されたタブレットを中心にICT活用が効果的になされている。 ・コロナ感染症対策に万全を期しながらも修学旅行や運動会等の学校行事を再開し、学びの確保、学力・体力の維持向上が図られた。 ・	
	開かれた学校づくり	○感染症対策を講じた上で、地域資源・地域人材の活用により、相互理解を深め、地域に根ざし、地域の信頼に応える学校づくりの推進  □  △	○学校運営協議会を発足し、コロナ禍でのタブレット端末を効果的に活用した授業など、新たな発想で、創意・工夫しながら教育活動を展開 □3校合同研修会をオンラインで開催し、出前授業や児童会生徒会を中心とした交流など小中連携の行事等を再開  △	B	・新たに発足した学校運営協議会において、相互に協働の精神で会の運営にあたり、新しい発想で、創意・工夫しながら教育活動を展開している。 ・小中連携については、3校の行事を中心とした緊密な連携が継続できた。 ・	
	教職員の資質向上	○児童一人ひとりを確実に伸ばす指導の充実、実践力の質的向上と学び合う教員集団の育成  □  △	○経験年数に応じた授業力の向上を目指し、一人一授業研究を全教職員が実施  □  △	B	・若手教職員が増える中、指導技術の継承と授業力の向上は喫緊の課題として、今後も効果的な研修に励んで頂きたい。 ・働き方改革の視点からも、時に十分休養させ、全ての教育活動の基盤となる教職員の健康づくりを鋭意進めて欲しい。 ・	
	施設・設備等の管理	○健康安全面を保つ施設の環境整備とICTの積極的な活用を進めるための潤いのある教育環境の構築  □  △	○感染症防止を最優先課題として、ICT環境の整備とともに、潤いのある学習環境づくりのために学校予算を効果的に執行  □  △	A	・掲示教育の効果は高い。児童棟の階段スペースの有効活用など、児童の学習意欲の喚起にさらに継続して取り組んで欲しい。 ・学校ファームの有効活用など学習環境整備が行き届き、潤いのある学びの場が保たれている。 ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
元郷南小	組織運営	○「チーム元南」として仕事のしやすい体制と雰囲気 の構築  □ △	○ボトムアップでの業務改善の実施や、紙と電子掲 示板による情報共有と組織的対応・記録化を実現  □ △	A	・目的意識をもち、協力して努力している。様々な情 報、報告が管理職まで届いている体制を維持してほし い。 ・ ・	5名
	教育課程	○知・徳・体の調和のとれた教育活動の推進  □ △	○ほぼ計画通りに教育課程を実施でき、児童学校評 価86.6%を達成（自己有用感は66.5%達 成）  □ △	B	・タブレットとそれ以外のものを、うまく使い分けできよう にほしい。 ・ ・	
	開かれた学校 づくり	○保護者・地域から一層信頼される学校づくり  □ △	○コロナ禍ながら音楽会以外の行事や授業参観、保 護者会を分散等の工夫により実施  □ △	A	・町会の活動自体が中止になるなか、最大限に取り組 んでいると思う。 ・ ・	
	教職員の資質 向上	○主体的な研修意欲の高揚と倫理観・専門性の高い 教職員の育成  □ワークライフバランスを意識した働き方改革の推進  △	○講師を招聘しての校内研修は計画通り実施 ○不祥事防止研修の工夫・充実による倫理観の高揚  □カエル会議を中心とした働き方改革を推進し、時間 外勤務は月平均で44時間33分を達成  △	B  A	・コロナ禍での先生方のモチベーションの維持・向上がポ イントになってくる。 ・時間外での仕事が削減されて、児童との関わり方がさ らに充実したものになるとよい。 ・	
	施設・設備等 の管理	○「安心・安全」を最優先とする教職員の危機管理・ 事故防止の意識高揚と確実な安全点検の実施 □効果的な予算運用と諸表簿、会計事務の適正な 管理の徹底  △	○全教職員による毎月の安全点検を確実に実施し、 施設事故ゼロを実現 □コロナ対策や備品の購入等の予算運用と諸表簿、 会計事務を適正に管理  △	A  A	・定期点検を欠かさず実施されたことは素晴らしい。引 き続きの点検作業をお願いする。 ・昇降口外階段の錆等、修繕計画を早期に立て、内 外装設備の維持管理に努めて欲しい。 ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝西小	組織運営	○経験 5 年までの若手の育成と 3 年後核となるミドルリーダーの育成  □ △	○経験 5 年までの若手が学校運営を支える活動をするなど着実に力をつけている。  □ △	A	・若手教員が仕事内容を聞いたり、仕事を頼んだりできる職場づくりが大切。  ・ ・	5 名
	教育課程	○学習状況調査において、本校の学力の伸びを県平均の伸びを上回る □新体力テストで A ～ B の児童を 8 割以上にする。  △年間を通して学習計画の確実な実施	○県学調の平均点は、4, 5, 6 年とも県平均を上回っている □新体力テストの A ～ B の児童の割合は 7 割  △年間計画を見直しながら実践	A B B	・生活指導が学力向上に結び付いている。  ・体力向上は、日常の取組が重要なので、家庭、地域と一体となった取り組みが必要。 ・タブレットの効果的な活用に期待。	
	開かれた学校づくり	○定期的な情報発信  □地域との連携活動の推進 △地域の中学校との連携活動の充実	○H P で情報発信。  □コロナ禍で地域との連携活動が実施できず。 △ J プラン教員による連携活動を実施	A B B	・適切に情報を発信している。  ・地域、家庭、学校が話し合う機会が減っている。 ・お互いの教育活動を見直すことが大切。	
	教職員の資質向上	○キャリアに応じた教師の資質向上  □会議の精選と工夫  △	○新学習指導要領に則った授業展開を実施。  □負担軽減と会議の効率化、協働した作業実施が不十分。  △	B B	・教育施設職員を講師に招聘した研修をしてはどうか。  ・組織的で効率的な運営が大切。  ・	
	施設・設備等の管理	○清掃指導の徹底。全職員による清掃指導の徹底  □定期的な安全点検と迅速な修繕  △諸表簿管理のための複数チェック体制の強化	○清掃指導の徹底ができた。  □点検の確実な実施と適切な修繕ができた。  △学校事故のゼロ。	A B A	・いつもきれいに整った環境になっている。  ・老朽化に伴い、危険箇所、修繕箇所が増えているので、行政に要望し、長期的な施設改修を行うことが必要。 ・引き続き気を引き締めて行ってほしい。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝南小	組織運営	○職員一人一人の持ち味を十二分に生かした学校経営、児童一人一人に寄り添った学校経営  □ △	○校務分掌の偏りと時程は見直しが必要。報連相の漏れや初期対応の遅れが課題。関係諸機関との連携は良好。  □ △	B	・校長の方針を折に触れて職員に伝え、職員が校長と同じ気持ちになれるように。「面倒見主義」で職員の負担が増えないように。外国籍児童への関わりは良好。相談しやすい環境を。 ・ ・	6名
	教育課程	○教職員の授業力・学級経営力の向上、児童一人一人の学力・体力の向上  □ △	○県学テ：5年以外は県平均を下回る。体カテ：A + B + Cの割合が県平均を下回る。タブレットの活用（カリキュラム、使用規定、教員間の差）と体力向上が課題。  □ △	B	・体力向上の取組を。タブレットは①カリキュラムの作成（職員間の差をなくす）②体への負担を考慮③入力と紙に書くことのバランス。習熟度別に期待、差別意識が生まれないように。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○学校と家庭・地域が一体となって子供を育成する環境の実現  □ △	○H Pは担当が折に触れてU P。学習ボランティアは読み聞かせや図書ボランティアなどに限られた。芝中との連携は部活紹介（動画）と体験授業を実施。  □ △	B	・行事はよくやってくれた。持続可能なボランティアのシステムを。ミシン指導等、実施可能なものがまだある。コロナ禍で地域との連携が薄れる今こそ、学校の様子を発信すべき。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○職員一人一人の危機管理意識を高め事故ゼロを維持 □働き方改革の推進、職員にとって働きやすい環境の実現  △	○鍵や答案の紛失、書類の提出漏れがあった。防げた事故。 □校務分掌や勤務時間、会議のもち方など見直しと意識改革が必要。環境を整え、職員の後方支援を行い、負担感を減らす努力をした。  △	B  B	・ ・探す・聞く時間の削減にはラベリング等が必要になるが、逆に職員の負担が増えないように。午後半休制度により職員がリフレッシュできて授業の充実に繋がると良い。 ・	
	施設・設備等の管理	○計画的な修繕の実施と安全な教育環境の維持  □ △	○施設事故ゼロ。外壁工事終了。不具合箇所の早期発見・早期修繕に努めたが、配管・便器の古さに苦慮、苦情も多数。引き続き担当課と相談しながら進める。  □ △	B	・危難所になり得る施設であるよう整備を。トイレ改善の取組は有難い。引き続き。修繕ボランティアは子供たちの安全のために保護者が参加しやすい活動。盛んになると良い。 ・ ・	

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
神根東小	組織運営	<p>○経営方針に基づいた教育活動のための校務分掌組織を充実させる。</p> <p>□</p> <p>△</p>	<p>○月ごとの学校経営方針を発行して、学校経営の周知に努めた。</p> <p>□</p> <p>△</p>	B	<p>・教職員減であっても、例年通りの教育活動を実践してほしい。</p> <p>・毎年入れ替わる教員の組織運営を図りながら、神根東小の魅力が大いに出せるような組織運営を図ってほしい。</p> <p>・</p>	8名
	教育課程	<p>○授業時数の確保と学習内容の確実な定着</p> <p>□家庭学習を有効活用した確かな学力の定着と向上を図る。</p> <p>△ICT（GIGAスクール構想）を活用した学力向上を図る。</p>	<p>○授業時数は確保の見込み。質的管理においても各種学力調査結果より、概ね良好であった。</p> <p>□「家庭学習の手引き」を配布し、家庭学習の定着を図ることができた。</p> <p>△「神根東小授業スタイル」にタブレット端末活用事例を盛り込み作成中である。</p>	A A B	<p>・心の教育、道徳教育の推進をお願いしたい。（親、子共に）</p> <p>・タブレット端末の活用はよく指導されている。</p> <p>・オンライン授業等コロナ対応下での日々の指導に感謝している。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○学校運営協議会の計画的に開催し、機能させる。</p> <p>□「開かれた学校づくりは、開かれた学年・学級づくりから」として、学年・学級通信の充実を図るとともに、リニューアルしたHPの更新回数を倍増する。</p> <p>△</p>	<p>○委員の皆様へ学校運営協議会に関する資料を配布し、学校経営に理解を得ることができた。</p> <p>□毎週1回の学級通信を発行したが、信頼向上のための更なる情報発信が必要である。</p> <p>△</p>	A A	<p>・神根東小の魅力をもっとアピールしてほしい。</p> <p>・保護者の満足度が向上したことはよいことである。</p> <p>・</p>	
	教職員の資質向上	<p>○学校課題研究の取組をととして、教職員の指導力を向上させる。</p> <p>□サービスの厳正を図り、教職員事故防止の徹底を行う。</p> <p>△</p>	<p>○タブレット端末活用に関する子供の満足度が95.1%に達したことから、十分成果の得られた研究であった。</p> <p>□倫理確立委員会主催の研修会は年間13回実施でき、教育公務員としての自覚を促すことができた。</p> <p>△</p>	A A	<p>・会計事故防止の手立てとしてスマホ決済できるようにしてどうか。</p> <p>・保護者対応に苦慮しているというが、保護者対応の研修会を実施してどうか。</p> <p>・さらなる教員の指導力を向上させてほしい。</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止に係る衛生管理と、安全管理を確実に進める。</p> <p>□教育効果を高める備品の購入、修理修繕を行う。</p> <p>△</p>	<p>○新型コロナに対応した衛生管理・指導と、教科指導の共通理解・共通指導ができた。</p> <p>□安全点検の実施と毎日の管理職の校内巡回により、要修理箇所の速やかな対応が図れた。</p> <p>△</p>	A A	<p>・保護者の車の敷地内乗り入れにマナーがない。学校でしっかり保護者を指導してほしい。</p> <p>・防犯カメラが設置されていることを保護者、地域が理解していないように感じる。もっと周知してほしい。</p> <p>・教員にはもっと登校指導に出てほしい。保護者任せにするのではなく、積極的に行ってほしい。</p>	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
朝日東小	組織運営	○教職員一人一人が学校経営の方針や重点を具現化する当事者として職務遂行に邁進する組織をつくる。  <input type="checkbox"/> △	○ボトムアップの徹底により、あらゆる活動に対して当事者意識を持ち、同僚性を高めながら学校運営への参画を果たした。  <input type="checkbox"/> △	A	・来校の度に教職員の明るく活気ある雰囲気を感じ、校長の説明通りの組織になっていると感じる。  ・ ・	9名
	教育課程	○国語と特別活動を研究領域にして、非認知能力の育成をベースにした授業研究を行い、学力向上を果たす。  <input type="checkbox"/> △	○当初予定した授業研究会や校長の授業観察が第6波で滞った。学力はこれまでの積み重ねで向上している。  <input type="checkbox"/> △	B	・感染症防止から研究が思うように進まなかったのは残念であるが、めげることなく子供たちによりよい授業をしてほしい。  ・ ・	
	開かれた学校づくり	○「町の学校」づくりを推進し、学校・家庭・地域の絆を堅持していく。  <input type="checkbox"/> △	○社会福祉協議会や放課後子供教室との連携はできた。学校だよりやHPも好評。ただし、コロナ禍以前と比べ、活動量に満足ができない。  <input type="checkbox"/> △	B	・次年度は関係者が集い、何ができるかを協議する場を設けて町ぐるみで子供たちを育みたい。  ・ ・	
	教職員の資質向上	○上司や同僚の支援を受け、OJTにより若手を育成する。  <input type="checkbox"/> △	○ストレスチェックからも同僚や上司からの支援があるという点のスコアが高かった。具体的な支援をするべく勤める職場において若手のスキルもイズムも向上した。  <input type="checkbox"/> △	A	・若手に限らず、地域の目は厳しいことを肝に銘じて、不祥事事件や事故の0を堅持してほしい。  ・ ・	
	施設・設備等の管理	○安全を最優先にした安全点検と予算執行を行う。  <input type="checkbox"/> △	○教頭と事務主幹が核となり、突発的な修繕に対しても安全確保を最優先として予算執行が実現できた。  <input type="checkbox"/> △	A	・地域として備蓄は昨年度以上に充実し、模擬訓練もできた。学校が避難所になったときは児童の教育活動再開を最優先にしてほしい。  ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝富士小	組織運営	○目指す学校像に向けた組織的な協働による、学校力の向上  □児童一人一人との絆を大切に、効果的指導の組織的展開の実現 △	○校務分掌の機能的な運用と効果的な分析  □組織を大切にボトムアップのマネジメント組織構築 △	B  B	・授業参観すると、どの学年の児童も生き生きと学習に取り組めており、よい雰囲気の中で教育活動が行われている。 ・遅刻してくる児童が減ってきたので継続してほしい。 ・	7名
	教育課程	○年間指導計画の見直しによる指導内容実施の確保  □コロナ禍での行事計画の作成と実施 △	○定期的な教室訪問による授業の確認と、各教科等の時数の管理  □感染症予防策を講じた行事の実施 △	B  A	・外国籍の児童が占める割合が多い学校であるが、学習するべき内容がしっかりと身につくように引き続き指導をお願いしたい。 ・コロナ禍ではあるが、工夫して行事を行っている。 ・	
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会等の積極的な運営と情報の発信  □ △	○年間活動計画への地域活用の位置づけ  □ △	B	・環境教育として児童が様々な野菜を育てている。グリーンサポーターが高齢化しており、地域へ募集している。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○校内研修を充実させ、教職員による切磋琢磨しながらの授業改善による学力の向上。  □ △	○委嘱研修をととした実践的指導力の向上  □ △	A	・I C Tの活用やプログラミング教育の実践を一層積極的に進めてほしい。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○緑と花にあふれた潤いのある教育環境の整備  □適正な予算執行と予算の効果的な活用 △	○毎月の安全点検と管理職による日常点検による即時修繕  □修繕費等の予算の適切な執行 △	B  B	・地域の環境美化、児童の安全・安心への対策等、一層進めてほしい。 ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
前川東小	組織運営	○教職員一人一人の学校運営参画意識の育成 □次年度への引継ぎを意識した、資料やデータの管理徹底 △	○各分掌主任が部員をまとめ、年間計画に則し積極的校務参加の実現 □校務支援システムとタブレット端末の運用を混乱することなく活用 △	A A	・職員一人一人の意識改革に取り組み成果が上がった ・転入職員から他校の良い点を引き出し、従来の運営にこだわらず、刷新を望む ・新任及び転入教職員の指導を徹底し、早期の体制の確立を望む	10名
	教育課程	○基礎的、基本的な学習内容の確実な定着 □各学校行事の抜本的な見直し △	○緊急事態宣言に伴う一斉オンライン授業や臨時休業に対応しタブレット端末を活用し学びを止めず教育活動を実施 □開催方法を工夫して行事の充実を図り、過度な負担を生まない行事の実施 △	B B	・教科担任制、タブレット端末導入等教育システムの変動が激しいが児童の視点を忘れずに進めることを望む ・オンライン授業等苦勞が絶えないが、児童との対応に隙間をつくらぬ工夫を望む ・	
	開かれた学校づくり	○児童の愛校心や地域を大切に思う気持ちの醸成 □保護者や地域との連携の強化 △	○学習や体験を通じて地域を大切に思う気持ちや愛校心を高める教育活動の継続的実施 □学校運営協議会での協議やP T A 活動を通じて地域全体での学校運営意識高揚を実現 △	B B	・コロナ禍で学校と地域の関りが少なくなる中、意識の高揚を図っていることを評価する ・地域の非常時の拠点としての役割にも留意願う ・P T A の在り方はターニングポイントにきていると感じる	
	教職員の資質向上	○教職員個々のキャリア段階に応じた指導力の育成 □ワークライフバランスを意識した働き方改革の推進 △	○校内での授業研究を通じて、学年全体で指導案作成し授業参観、協議により授業力向上 □年休取得はほぼ目標を達成 在校時間の縮減については継続対応 △	B B	・様々な研修会があるが、若手教員が伸び伸び業務に携われるよう押しつけの指導ではなく組織全体指導としての対応を望む ・引き続き在校時間の縮減、教職員個々の指導力の向上に期待する ・すべての教職員が互いに切磋琢磨し、更なる活躍を望む	
	施設・設備等の管理	○教職員の危機管理、事故防止意識の高揚と確実な安全点検の実施 □優先順位を見極めた予算運用と予算執行状況の定期的な確認 △	○避難訓練の機会を捉え危機管理意識の高揚を実現 安全点検結果にに基づき迅速に対応 □優先順位を見極めた予算執行の実施 △	A A	・色々な工夫やアイデアによって学校の安全を確認し、安全かつ安心して学べるよう施設管理に期待する ・老朽化による劣化がひどくなる前に、適宜改善を図ることを望む ・	



学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
柳崎小	組織運営	○新しい生活様式のもと、組織力を生かした学校運営を実施する。  □ △	○飛沫感染防止シートを設置したり、コロナ関係の予算を効果的に活用。主任を中心として課題を共有化し、全職員で取り組むことができた。  △	B	・校長を中心とした学校経営がなされていることがよくわかった。 ・ ・	8名
	教育課程	○知・徳・体の調和のとれた教育活動を行う。  □ △	○休校となった場合にもオンライン学習を活用して、教育課程を確実に実施することができた。  □ △	A	・オンライン学習で臨時休業をカバーできたことは、先生方の並々ならぬ努力の結果と受け止めている。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○中学校区の学校の連携を進め、学力向上に努める。 □学校運営協議会を実施し、地域との連携を図る。  △	○芝東中学校区で行っていた算数・数学検定を在家中学校区にも広めることができた。 □予定通り行うことができた。  △	A A	・今後も小中連携を行い、学力向上に努めてほしい。 ・コロナ禍を考えると保護者・地域との連携は安全面を考えると本当に難しいと思う。 ・	
	教職員の資質向上	○全教職員の指導力を向上させる。  □教職員事故 0  △	○一人一授業や校内研究を通して教職員の指導力の向上を図ることができた。 □倫理確立委員会や教職員事故防止研修を年15回行い、教職員事故は0であった。  △	B A	・保護者、児童からの評価が相当によい評価を受けているように思います。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○安心・安全な学校づくり  □ △	○複数の目で施設の点検を行い施設設備の事故は0であった。  □ △	A	・50年以上経過している学校なので、施設設備事故0は、日々の点検の賜物と感じる ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝樋ノ爪 小	組織運営	○想像力を働かせた主体的な学校運営の実現	○校務分掌、協力体制の見直しによる効率的な学校運営の実施。 ○教職員の創意工夫による柔軟で適切な教育活動の実施。	A	・校務分掌等の見直しにより協力体制が向上した。 ・働き方改革が少しずつ成し遂げられている。 ・小規模校の利点を生かして児童に真摯に向き合っている。 ・いじめ防止対策の保護者への周知の工夫が必要。	10名
	教育課程	○コロナ禍における感染防止と学力向上	○タブレット端末を効果的に活用した授業の実施。 ○感染防止を徹底した学びの保障の実現。 ○感染防止対策を徹底した学校行事の実施。	A	・タブレットの活用が進み今後が楽しみである。 ・感染防止に取り組みながら多くの学校行事が実施できた。 ・いじめ防止対応の保護者への周知の工夫が必要。	
	開かれた学校づくり	○地域に信頼される学校づくり	○毎日のホームページによる発信を保護者が高く評価。 ○感染状況に応じた柔軟な授業参観・懇談会の実施。 ○学校応援団等の支援による効果的な教育活動の実施。	A	・ホームページで学校の様子がよく公開されている。 ・ホームページの対応をPTAと協力することも1つのアイデア。 ・地域とのつながりを深める活動も引き続き取り組んで欲しい。	
	教職員の資質向上	○教員の授業力の向上（特にICT関係）  □高い倫理観をもった教職員集団づくり	○教室訪問・授業観察を行い教員への指導を実施。  ○校内研修による教員のICT指導力の向上。 □教職員事故防止への高い意識の継続。	A  A	・教職員の児童への指導は保護者からの評価も高い。 ・いじめの早期発見のために教職員の児童とのコミュニケーションをより深めて欲しい。	
	施設・設備等の管理	○感染防止に万全を期す安心・安全な学校づくり  □スムーズな避難所開設	○空き教室の活用や施設修繕による感染対策の実施。  □避難所本部長等との避難所開設マニュアルの確認。	A  A	・施設・設備等の管理が効果的、計画的に行われている。 ・教室棟のトイレが古く臭いが気になる。悪臭対策もしているようだがリフォームはできないのか。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標		年 度 評 価		
		重点目標	重点目標の達成状況			
新郷南小	組織運営	○教職員の評価領域Ⅲの達成度 b 以上を100%を実現する。  □ △	○学校経営方針に基づき、当初面談で職員一人一人が自ら特性を生かせる目標を設定し、中間面談で課された職責を十分認識し職務に取り組む進行管理を行った。  □ △	A	・適材適所の人事配置を行い、教職員がのびのびと働くことができる職場環境を充実させてほしい。 ・目標をゆとりをもって達成が出来たら良い。 ・校長はリーダーシップを発揮している。 ・コロナ禍で良い対応をしていた。 ・校長のもとで教員が張り切る力が湧いてくるのではない	10名
	教育課程	○年度末に独自調査を行い、埼玉県学力状況調査において県平均値と同程度とする。  □ △	○学習方略等着実に育成が図られた。実際の学力に結び付くよう研究を継続・深化させるため検証を行う。今後、指導体制の工夫について研究を進める。  □ △	B	・読書の大切さ、読解力向上に取り組んでほしい。 ・校内外で挨拶ができる児童に育ててほしい。 ・教科担任制やタブレット学習、指導方法の変化の中で、教育課程が概ねスムーズに行われた。 ・新しいシステム導入や取組の素早さに感嘆した。強力	
	開かれた学校づくり	○イベントの開催を実現し、家庭・地域からの参加を実現する。  □ △	○運営方法を工夫するなどしてほぼ計画通りに学校運営協議会を開催した。開かれた教育課程の実現など感染状況により、議論を深めるまで至らなかった。  □ △	B	・校内図工展（新キャンアート展）を広く町内会・老人会・子供会・保育園などに見学させるとよいと思う。 ・新型コロナウイルスはまだ2, 3年続くと思われるので、感染状況から臨機応変に対応していけばよいと思うが、学校行事や50周年行事を開催できてよかった。	
	教職員の資質向上	○勤務時間を超える在校等時間を月平均45時間以下とする。  □ △	○職員全体として職務能率が図られ、一人一人が自らの職務や職務時間をマネジメントを行った。今後、年度末に諸調査を実施し成果と課題を明らかにする。  □ △	B	・教職員の協力体制と指導を頑張ってもらいたい。 ・昨今の情勢から教職員の言動には配慮が必要だと思う。 ・全体を見て児童の実態に応じた指導ができるとよい。 ・家庭との連携をさらに密にすることが今後重	
	施設・設備等の管理	○教職員からの購入希望を80%を実現する。  □施設修繕の実施を100%行う。  △	○年度当初及び学期ごとの予算会議等を行い計画的な執行を行った。  □今年度から長期休業中の重点安全点検を実施し、より確実な施設の保守を行った。  △	B B	・近年施設が充実して満足している。 ・各教室のカーテンをきれいにしてほしい。 ・コロナ禍で行事縮小のため、経費削減できるのではないかと。 ・必要不可欠なものは予算を取り執行していくことが大	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
上青木南 小	組織運営	○個々の教職員の力、組織の力の向上  □不登校児童数の減少	○コロナ対策・形態変更等を講じての行事の実施  □不登校児童数の減少、連携した対応の必要性	A B	・コロナ禍での児童の心と体の成長を促す学校づくりを評価 ・登校渋り傾向の児童への個に応じた指導の一層の推進	10名
	教育課程	○コロナ禍における学力・徳力・体力の向上	○日課時程をずらしてのコロナ対策・体力向上策の推進	B	・コロナ禍での学力差が生じないような学習指導の工夫要望	
	開かれた学校づくり	○信頼され、誇れる学校の推進	○挨拶レベルアップの充実（高学年を中核としたあいさつ運動の取組）	B	・朝のあいさつ運動での児童の姿を高く評価	
	教職員の資質向上	○ライフステージに応じた教職員の力の向上  □働き方改革の推進、教職員事故ゼロの継続	○県・市委嘱研究を通じた教師の指導力の向上、児童の体力向上 □教職員の誇りと使命感の醸成	B A	・県・市委嘱研究による体力向上について評価 ・教育公務員としての倫理意識、働き方改革の一層の推進	
	施設・設備等の管理	○施設事故・会計事故防止  □健康・安全を踏まえた環境整備	○複数の目での安全確認、現金取扱業務の縮小  □コロナ防止・災害防止等に特化した予算執行	B A	・口座振替導入に伴う家庭・教職員の負担軽減 ・本校児童用の災害備蓄品の整備の有効性	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
根岸小	組織運営	<input type="checkbox"/> 明確な目標設定と共通理解による共通行動・協働体制の強化 <input type="checkbox"/> 教職員の参画意識の高揚と、効率的な会議の運用 △	<input type="checkbox"/> 日々の授業・学校行事等における組織的な教育活動の展開と、新型コロナへの柔軟的対応 <input type="checkbox"/> 主任を中心とした組織運営の強化及び改善による教職員の学校運営参画への意識化 △	A B	・コロナ禍の中、その状況を足台にして強靱な組織運営を目指している。 ・コロナ感染症による業務負荷が増している。地域を巻き込み、働き方改革を進めて欲しい。	7名
	教育課程	<input type="checkbox"/> 学習意欲を高め、知・徳・体をバランスよくはぐくむ教育課程の工夫・改善  <input type="checkbox"/> ねらいと評価を明確にした授業の工夫・改善  △教員の学級経営力・生徒指導力の向上	<input type="checkbox"/> タブレットPCの活用による児童の学習意欲向上  <input type="checkbox"/> 委嘱研究発表及び一人一授業を通じた授業のねらいや方向性の明確化  △QUテストの結果を活かした児童理解と学級経営	B B B	・IT化の急速な到来に対し、デジタルに傾倒しすぎることなくアナログのよいところと合わせて活用している。IT化のマイナス面について、引き続き指導いただきたい。 ・児童の雰囲気がよく、児童の思いやりが垣間見えて指導が行き届いている。子供たちが教室の器に身を委ねていることに安心感を感じる。 ・タブレットの有効活用を望んでいる。	
	開かれた学校づくり	<input type="checkbox"/> 家庭・地域との連携深化及び家庭・地域の教育力を位置づけた年間計画の作成と実践 <input type="checkbox"/> 学校HPを活用した学校教育活動の発信と、家庭・地域の声を生かした教育活動の推進 △	<input type="checkbox"/> 外部指導者の活用、想根会と連携した環境学習や環境整備、スクールガードによる登下校の見守り活動等地域と連携した教育活動の実践 <input type="checkbox"/> 授業参観、運動会、校内音楽会の実施の工夫、HP等の工夫により、教育活動を広く家庭・地域に周知。保護者学校評価でのA+B評価の平均90.5%を達成 △	B A	・コロナ禍で開催された音楽会に感銘を受けた。また、運動会の運営など、今後のニュースタンダードにも注目している。 ・学校HPは、子供たちが作ったページなどがあれば注目を集めるのではないか。 ・50周年を機に地域のパイプを太くし、複雑な課題への対応に利用してほしい。	
	教職員の資質向上	<input type="checkbox"/> 人事評価制度を活用し、教職員一人一人の能力や適性にに応じた指導助言による魅力ある教職員の育成 <input type="checkbox"/> 「教職員事故ゼロ」の実現 △	<input type="checkbox"/> 教職員の主体的な学び合いや協働による、授業実践を通じた授業力の向上 <input type="checkbox"/> 不祥事防止プログラム等を活用した研修等による教職員の意識の高揚と「教職員事故ゼロ」の継続 △	B A	・根岸小の先生方は清心で温かく、それが子供たちからの信頼と指導力の醸成に大きく寄与していると感じている。 ・このコロナ禍にあって、先生方が十分な休養がとれているのかが少し気かりである。 ・この2年間は地域の人達とコミュニケーションをとる機会がなかったので、経験の浅い先生たちがベテランになった時が心配である。	
	施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 複数の目による確認・見届けによる事故防止体制の確立と周知徹底 <input type="checkbox"/> 定期的な点検と修繕  △設備・備品の整理・管理の徹底と有効活用	<input type="checkbox"/> 望ましい環境づくりの推進。 <input type="checkbox"/> 安全点検と計画的修繕による教育環境の整備  △自然環境を生かした学習の推進と花壇の植栽等環境整備の充実	A A B	・地域や保護者にいるさまざまなスペシャリストに声をかけ、学校をよりよくしてもらう取組が進めば過ごしやすい環境が少しずつできると考える。 ・根岸小の先生方が多面的でさまざまな取組をされていることを知れたことは大変有意義でうれしいことであった。 ・学習や特色ある学校づくりを進めていく上で、根岸小の立地や環境を生かして欲しい。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝中央小	組織運営	○学年によって指導に差が生じないようにするための共通理解・共通行動 □一人ひとりの教職員が前向きになるような雰囲気醸成 △	○学年によって指導に差が生じないように努めたが、徹底出来ないこともあり □教職員は前向きに取り組んだが、児童や保護者との関係づくりで反省すべきことも少々あり △	B B	・保護者からの意見や情報に対して、迅速かつ真摯に対応していた。今後も連携した運営に期待している。 ・校長先生から若手の先生まで、本当によく子どもたちのことを考え、一生懸命取り組んでいると思う。 ・	11名
	教育課程	○「学力向上」の取組を強化  □「わかった」「できた」「使えた」と児童が実感する体験の積み上げ  △	○余時数を活用し、国語や算数に重点を置き、T T や少人数指導を行い、成果が表れてきた  □見通しと振り返りを大切に授業を展開し、成功体験を積み上げてきた  △	A B	・学力が顕著に向上していることが分かる。今後も先生方同士、信頼を築き、自信をもって子供たちの経験値を積み上げてほしい。 ・教科に合わせ、少人数指導やチームティーチングなどを行っていることで、学力向上の部分でとても良く成果が表れている。 ・	
	開かれた学校づくり	○学校の教育活動に対する理解を得る取組の強化  □保護者や地域の方々の考えを学校の教育活動に反映  △	○日々の教育活動の成果を見ていただく機会の減少  □学級懇談会と学校運営協議会は2学期までに2回実施（学校関係者評価は紙面のやり取りで実施）  △	B B	・地域と学校を結ぶ「学校だより」について更なる努力をお願いしたい。例えば児童の下校時刻の正確な表示や活動状況の更なる紹介記事の掲載。 ・コロナ禍の中、出来る限り学校行事等を行おうという姿勢にはとても感謝し、改めて子供たちの成長には行事は大切だと感じた。 ・	
	教職員の資質向上	○教職員の使命の自覚と教師力の向上  □コロナ禍における主体的・対話的で深い学びとなる指導の探求 △	○授業力の磨き合いを通して教師力の向上  □新生活様式に基づく環境でのICTを活用した学びの実践 △	B B	・経験年数に応じた使命の自覚は必要だが、過信することなく、新しい視点で世の中の流れにのってほしいと思う。 ・現在変化し続ける状況の中、新しい情報のもと、先生方の資質向上を望む。 ・	
	施設・設備等の管理	○修理・修繕箇所や危険箇所の有無に対する危機管理意識の高揚  □新型コロナウイルス感染症などを踏まえた衛生環境の整備 △	○日々の安全点検や毎月の安全点検を通して、修理・修繕箇所や危険箇所の把握と迅速な対応  □パーテーションの修繕、清掃やトイレの自動水栓化など可能な範囲での取組 △	A A	・限られた予算の中での感染防止の取組に頭が下がる思いである。来年度も積極的な取組をよろしく願いたい。 ・今後も感染症対策等を考えながらの学校運営をよろしく願いたい。 ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
新郷東小	組織運営	<p>○職員一人一人の持ち味を活かし経営参画意識を高め、機動的かつ組織的な学校経営の推進</p> <p>□3大プロジェクトの実現（①フッ化物洗口②ミライシード導入③図書館のバーコード化）</p> <p>△感染状況を的確にとらえたリスクマネジメント</p>	<p>○経営方針に個々の願いや持ち味を反映させ、各業務の担当者を明確化し参画意識を高めた。（経営参画意識職員アンケート96.3%）</p> <p>□3大プロジェクトの実現。B e n e s s eコーポレーションとの連携事業の達成。学校歯科医・P T A・学校運営協議会と連携したフッ化物洗口の達成。図書館のバーコード化の実現</p> <p>△学校医やP T A，学校運営協議会と連携し、校内で感染拡大した場合の措置を共通理解・共通行動ができるようリスクマネジメントの実現</p>	A	<p>・校長の経営方針のもと前年度よりも一段と学校運営が積極的に行われ、様々な面で成果が上がっている。</p> <p>・3大プロジェクトの実現は、大いに評価する。校長先生を中心に先生方が一致団結している。</p> <p>・コロナ禍でのリスクマネジメントができており、それを校内だけではなく保護者と共有しているところを多に評価する。</p> <p>・スマイルノートの積み上げ、ケブレの習慣化、児童が自ら考え行動する姿勢のはぐみは大いに評価する。学力格差が広がらないための配慮をお願いしたい。</p> <p>・</p> <p>・</p>	7名
	教育課程	<p>○知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進</p> <p>□</p> <p>△</p>	<p>○諸調査のデータに基づいた方略シートによるマクロとミクロの取組を実施。家庭学習ケブレの実施。新体力テスト80%達成。</p> <p>□</p> <p>△</p>	A		
	開かれた学校づくり	<p>○「地域・保護者と共にある学校づくり」をめざし、保護者・地域との連携強化</p> <p>□コドモンの導入（健康観察の電子化、連絡帳の電子化、保護者向けお手紙の電子化、緊急連絡の電子化）</p> <p>△</p>	<p>○感染対策の上、学校応援団や声楽・ピアノ、パラリンピック選手の講話など本物体験を実施（学校評価：97%）</p> <p>□コドモンと連携した、学校と保護者間の情報のI C T化（学校評価：97%）</p> <p>△</p>	A		
	教職員の資質向上	<p>○学び合う機会を大切に、キャリア段階に応じた指導力の向上</p> <p>□働き方改革の趣旨を活かした業務の在り方を意識し心身の健康を考えながら風通しのよい職場づくりを推進</p> <p>△</p>	<p>○諸調査に基づき学習方略と非認知能力の可視化を行った。職員間の学び合う関係性の醸成。</p> <p>□元気に休んで、元気に働こうキャンペーンを3回実施、ミライシードの導入（印刷物の軽減）、コドモンの導入（100%）等業務改善による働き方改革を推進できた。</p> <p>△</p>	B		
	施設・設備等の管理	<p>○「安全・安心」に視点をいた安全管理の徹底</p> <p>□</p> <p>△</p>	<p>○11日を「新郷東安全の日」とし防犯や交通安全、不審者対応に係るミニ講座を実施。緊急時の対応一覧を配布し保護者にも周知。校舎の老朽化が進み、壁からの雨漏りは対処しているが根本的解決には至らない。（96%）</p> <p>△</p>	B		

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
朝日西小	組織運営	○最新の情報を把握しながら不測の事態にも対応できる組織的な教職員体制の構築  □ △	○校長室だよりを随時発行し不測の事態に対応する方向性を職員に周知徹底、分掌主任を中心とした組織的な協働体制を構築  □ △	A	・コロナ禍の状況においても 職員の共通理解のもと組織としてまとまって学校を運営、し緊張感をもって対応していただけたと思う。 ・ ・	4名
	教育課程	○状況に応じた教育計画の精選・修正ならびに児童の発達段階や実態を考慮した適切な教育課程の編成・実施、評価・改善  □ △	○プログラミング教育やキャリア教育の実施・国語科を中心とした「学び合い」の授業実践による学力の向上。GIGA端末の活用したオンライン授業やハイブリッド授業の実施  □ △	B	・キャリア教育や様々な特別事業（福祉教育・ミュージカル公演等）は生の声を聞く・見る・体験する良い機会である。オンラインやハイブリッド授業は職員の努力で実践。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○学校の教育活動を積極的に情報発信と学校・家庭・地域が連携した取組  □ △	○こまめなメール配信とHP更新で積極的に情報を発信、学校運営協議会や他の外部組織との連携と働きかけについては課題  □ △	B	・学校からのメールや学校だより、HPの充実等の発信によって学校の様子がよくわかった。地域の立場から、次年度は何かできるか模索して推進していきたい。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○全職員による学校づくりの推進と一人一人が自信と責任、やりがいを持った教育活動への参画  □ △	○市教委委嘱研究による全職員一人一授業公開と授業研究会を実施や管理職の教室訪問を通して授業を検証することにより指導力を向上  □ △	A	・単学級が多い中で全職員で話し合い研修し、授業に生かす研究がされている。オンラインの配信も定着している様子、先生方の日々の授業の工夫等が感じられる。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○学校事故0を目指す施設・設備の安全管理の徹底  □ △	○学校事故0の達成、日常の点検に加えた外部による安全点検の実施、学級会計業務の事務職一本化の定着  □ △	A	・学校事故0は日頃の安全に対する意識が高かったものだと思う。老朽化が進んでおり、危険箇所の優先順位をつけ修繕を行ってほしい。 ・ ・	



学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
慈林小	組織運営	○新型コロナウイルス感染予防対策を踏まえ、非常事態にも柔軟に対応できる学校組織体制を確立し、目指す学校像を実現 □ △	○コロナ禍であっても学校経営方針に基づいた取組の推進、及び各校務分掌主任を中心に目指す学校像を意識した教育活動の充実が実現 □ △	B	・コロナ禍であっても、学校経営方針に基づいた取組ができたことは素晴らしい評価できる。この先も、目指す学校像の実現に向け一層の努力を求める。 ・ ・	9名
	教育課程	○感染予防を踏まえた指導計画及び指導体制、評価方法の工夫を図り、学力向上・体力向上に資する具体的な取組を推進 □ △	○感染状況に応じて、適宜教育課程を見直し、安心・安全の中で学力向上・体力向上の取組を推進 □ △	A	・コロナ禍であっても定められた学習内容の完全履修がなされ、保護者から不安視する声があがらないよう完全履修を求める。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会及び学校応援団の活動の充実を図り、保護者・地域との協働による開かれた学校づくりを推進（学校運営協議会1年目） □ △	○感染状況をみながら、学期に1回の会議を開催、及び委員の皆様へ学校の取組を知っていただく機会の設定 □ △	B	・コロナ禍であっても、開かれた学校づくりは十分に可能。以前の学校経営と比較し、何をどう変えていけばよいのか、新たな取組は何か熟考し実践に移してほしい。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○教職経験に応じた指導力の向上と「チーム慈林小」を合言葉に組織の一員としての意識の向上 □ △	○「チーム慈林小」の一員として、チームワークを大切にされた校務や実践の推進、及び組織の一員としての自覚と責任感の高い教職員集団を育成 □ △	B	・お互いに切磋琢磨し協力し合って、慈林小を盛り上げていただきたい。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○施設設備の安全管理に万全を期す。  □感染症予防を第一とし、日常的な清掃活動を充実、及びきれいで清潔な教育環境づくりの推進 △	○施設設備の安全点検、及び計画的な修繕工事により子供たちが安心して生活できる安全な学校づくりの実現 □全校で「黙働清掃」の取組の定着、古くても清掃が行き届き清潔な学び舎づくりの実現 △	A  A	・引き続き教育委員会との連携のもと、教職員・児童・保護者が安全で安心できる施設・設備の維持を求める。 ・黙働清掃は児童の集中力を高め、考える力を養い、達成感が得られる素晴らしい活動と考える。 ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
差間小	組織運営	○運営委員会と学年主任を中心とした学校経営の推進（学力向上・いじめ未然防止・不登校児童減少）  □  △	○学年主任が中心となり、いじめ問題や不登校、生徒指導上の問題に早期に対応 学年から管理職への報告や相談により、問題の共有が改善  □  △	A	・差間小は落ち着いた学校であると評価されている。 ・いじめ問題や不登校児童に対し、すぐに対応している。  ・学年主任を中心とした組織対応により不登校が解消しつつある。  ・I C T 活用が得意な若手が年長の教員を支えている点は「時代の新しい風」と見てよい。	13名
	教育課程	○学力向上の推進、授業満足度90%の達成 全児童のGIGA端末活用推進 学校課題研究の推進  □  △	○児童・保護者の授業満足度84%、昨年度比5ポイントアップを達成 ・オンライン授業全学年で実施、活用が日常化 ・校内授業研究会 年6回実施  □  △	B	・6年生の孫がタブレット端末を使いこなし、感心している。  ・教室を回って、すべての学年で発達段階に応じてタブレットを活用していることに驚いた。 ・オンライン授業は授業時数にならないことを知り驚いた。緊急時なのでカウントしてよいと思う。	
	開かれた学校づくり	○コミュニティ・スクール元年。学校運営協議会年3回開催  □  △	○学校運営協議会年3回実施 学校の成果と課題についての論議が活発化  □  △	B	・学校運営協議会において、今後学校経営についてより建設的な意見交流ができるとよい。 ・学校の諸問題について説明を聞くことができ有意義であった。 ・感染状況を見ながら、空き教室を地域の方の講座などに開放して下さっていることがありがたい。	
	教職員の資質向上	○教員の指導力（授業力）の向上  □生徒指導上の課題に対応する資質の伸長  △	○感染症に配慮した中での、授業の工夫改善が進化  □管理職への報告・連絡・相談による情報共有が徹底 いじめ問題の早期発見・対応が徹底  △	B A	・特に若い教員が児童に真剣に向き合っていることが感じられた。・教員が各自一教科に絞って研修し専門性を高められるとよい。 ・いじめ問題や不登校の早期発見・対策ができています。校内を見ても、いじめ問題についてよく取り組んでいる感じが感じられます。 ・教職員が皆高い使命感をお持ちですが、自身の心身のケアが心配です。	
	施設・設備等の管理	○水道設備と給食調理施設・設備の点検の確実な実施による施設事故ゼロの実現 □美化・緑化活動の充実  △	○漏水の原因を確認。修理を実施 調理設備の定期的な点検を実施 □地域人材の協力による学校ファームの有効活用継続 児童の収穫体験が実現  △	A B	・学校は災害時の避難所でもあるため、インフラ関連、設備更新は計画的に進めていただきたい。 ・学校ファームがよく活用されている。子供たちの好き嫌いをなくすためにも、学校ファームで野菜などを育てることは大切である。 ・学校の周りにいつも花が咲いていて特に校務員さんに感謝します。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
東本郷小	組織運営	○教職員個々のよさを発揮できる組織環境の整備  <input type="checkbox"/> △	○学校課題の共有、改善に向けた教育活動の計画立案実践を実現  <input type="checkbox"/> △	B	・コロナ禍で職員が協力し合い、一丸となって学校運営に取り組めたことはすばらしい。 ・ ・	4名
	教育課程	○教育活動の質の向上と社会に開かれた教育課程の編成の実現  <input type="checkbox"/> △	○地域人材を活用した体験活動を可能な限り取り入れた教育活動の充実  <input type="checkbox"/> △	B	・タブレットを活用したオンライン授業などで学習指導を停滞させることなく実施できたことは評価できる。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○学校からの積極的な情報発信  <input type="checkbox"/> △	○学校HPの更新やたよりの発行の他、個人面談・教育相談の実施  <input type="checkbox"/> △	B	・地域連携がコロナ禍で難しい中、体験学習を取り入れることができたことは評価できる。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○学び合い、高め合える教職員集団の形成  <input type="checkbox"/> △	○学校課題研究を中心に、全教職員が互いに支え合う雰囲気醸成と経験の浅い教員の指導力の向上の実現  <input type="checkbox"/> △	B  B	・今後一層の職員相互の温かい人的交流や切磋琢磨により、内発的な向上が進むことを期待したい。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○安全で潤いのある校内環境づくりの推進  <input type="checkbox"/> △	○安全と迅速性を考慮した予算運用と修繕の実現  <input type="checkbox"/> △	B	・IT機器の導入活用によって学習指導の効率化が図られているので、その活用の充実を期待したい。 ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
東領家小	組織運営	○学校教育目標の実現のための人材育成とチーム力の向上 □コロナ禍の中、感染状況を常に把握し、児童の安全確保を第一に進める教育活動の推進 △	○少ない人数の中で、自己の役割とキャリアに応じた指導力を最大限に発揮した学校運営ができた。 □コロナ禍において、感染状況に応じた教育活動を進め、予定していた行事をすべて実施することができた。 △	A A	・コロナ禍の中、先生方にはきめ細やかな指導していただき感謝している。 ・先生方の健康管理に気を付けて欲しい。 ・	6名
	教育課程	○「主体的・対話的で深い学び」の視点から学力向上を目指す授業実践の推進 □ICT機器を活用した質的な向上 △	○活動に制限がかかり話し合い等の主体的な活動が十分にできなかった。 □コロナ禍の中、タブレットP Cの授業での積極的な活用や学習保障のためのオンライン授業の経験値が積めた。 △	B B	・学力向上のための方策として、まずは体力向上にも力をいれることも重要である。 ・歯の治療率なども学力向上に影響があると思う。やはり家庭の教育力を向上させるための取り組みが必要である。 ・	
	開かれた学校づくり	○情報公開と説明責任を積極的におこなう学校の推進 □学校運営協議会の基本方針の作成と運営協議会を活用した教育活動の改善 △	○昨年度に続き、学校公開による情報発信は実施できなかったが、感染状況に応じて地域の人材を活用した教育活動ができた。 □組織立ち上げの初年度であることやコロナ禍で十分な活動や運用ができなかった。 △	B B	・コロナの感染状況でしかたないところもあるが、できる限り地域も協力したい。 ・コロナ禍の中、学校に行くのは難しい状況なので、工夫して学校の情報を地域へ知らせたい。 ・	
	教職員の資質向上	○若手教師の指導力の向上とミドルリーダーの育成 □I C T 機器を活用した授業力の向上 △	○ベテラン教師と中堅教師、若手教師との日々のコミュニケーションや研究授業を通して指導力の向上に繋げることができた。 □オンライン授業の実践を経験することにより、教師のI C T 機器を使った教育活動の推進ができた。 △	A B	・オンライン授業等先生方には頭が下がる。時代の流れで大変だが頑張って欲しい。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○施設・設備事故ゼロの実現と安心・安全な教育環境の維持 □老朽化による校舎内の修繕。 △	○今年度も施設・設備に関する学校事故ゼロを維持できた。 □体育館や校舎内の雨漏りについては計画的な修繕により改善された。プールの修繕は継続中である。 △	A A	・コロナや熱中症等子供たちの健康に配慮しながら教育活動を進めなければならないので大変だと思う。早く体育館にもエアコン等の空調システムを取り付けて欲しい。 ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
安行東小	組織運営	○校長・教頭・主幹教諭・各主任のライン確立 □人事評価制度の活用 △	○校務支援システムの有効活用 □共通の数値化により客観的に自己評価 △	A B .	・陽性者が出た時の学校の迅速な対応がよかった。 ・ ・ ・タブレット活用をしてもらいよかった。 ・ ・ ・保護者緊急メールやHPはコロナ関係の発信が多く なった ・ ・ ・ICTを活用した効果的な授業改善の推進 ・当事者意識の浸透をしっかりとできること ・ ・児童数増加のため教室不足と老朽化対応への学習 環境整備をお願いしたい。 ・ ・	5名
	教育課程	○地域の環境や施設人材の活用 □校内研修の推進 △	○感染拡大防止をしながらの教育課程の編成・実施 □3密回避のため対面での研修中止。オンライン実 施。 △	A B .		
	開かれた学校 づくり	○学校運営協議会の定期的な開催 □幼・小・中の連携の充実 △	○行事の中止、縮小により開催が4回しかできなかった □行事の中止、縮小により開催不可 △	B B .		
	教職員の資質 向上	○自分の働き方のスタイル確立 □キャリアを考えた計画的な研修 △	○交通遮断休暇等、感染拡大防止 □倫理確立委員会の定例開催 △	B B .		
	施設・設備等 の管理	○計画的な予算執行 □危機管理意識の向上 △	○計画的な予算執行 □定期・臨時の点検の迅速かつ正確な実施 △	A A .		

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
在家小	組織運営	○組織としての連携の密により、共通理解・共通行動を徹底  <input type="checkbox"/> △	○校務支援システムを有効活用、毎日、最新の情報を共有 ○起案に明確な役割分担を提示。内容変更等、校務支援シスを随時更新、全職員が閲覧して確認 <input type="checkbox"/> △	A	・コロナ禍で求められるまとまりがあり、大変良い ・共通理解は徹底されている ・次年度も継続を望む . .	5名
	教育課程	○学校課題研究の推進による、児童の学力の向上 <input type="checkbox"/> 保護者へ家庭学習の取組へのさらなる協力要請  △	○国語科での研究推進の結果、学力調査において学力の伸びを確認 <input type="checkbox"/> 各種たより・個別の声がけでを実施。家庭学習の奨励を推進するも未だ不十分  △	A  B	・研究成果を他教科にも反映し、学力向上を達成する . ・難しい問題だが、継続は必須 ・各家庭、保護者の努力が必要 ・保護者の意識に差があり、学校に任せていても限界を感じる	
	開かれた学校づくり	○コロナ禍での学校応援団活動および地域教育施設等との連携の充実 <input type="checkbox"/> 学校運営協議会の機能的な運用  △	○感染対策徹底での来校、I C T（オンライン）の導入など、学校応援団・外部講師との連携を実現 <input type="checkbox"/> 毎学期一回開催、情報提供・意見交換等充実  △	B  B	・地域への発表機会が少なく残念 ・手探りでの実施ではあるが十分な結果である ・学校運営協議会の有名無実化は、学校の負担になることを懸念する .	
	教職員の資質向上	○キャリア段階に応じた研修、および教員相互による指導力向上研修の充実 <input type="checkbox"/> 勤務時間を意識した、業務遂行  △	○研修への適切な参加により、指導力等資質が向上 ○指導力伝承研修の定期開催には改善が必要 <input type="checkbox"/> 計画的な休暇取得や、業務時間を意識できる取組の実施により、平均在勤時間が減少  △	B  A	・よくできている ・良い教員の育成には研修や交流は大切だが、もっと教職員が頑張れる環境の創造が必要 ・勤務時間の改善は必須 ・ワークライフバランスを考えた取組の継続をする .	
	施設・設備等の管理	○安全安心のために適切な修繕・改修の実施により、施設・設備の維持管理を徹底 <input type="checkbox"/> △	○安全点検を適切に実施、施設設備での事故ゼロ ○大規模改修、樹木の伐採等、懸案事項が改善 <input type="checkbox"/> △	A	・計画的、継続的に改修し、維持、管理を徹底 ・P T Aとの連携による維持管理も一考 .	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
戸塚東小	組織運営	○稼働しやすく、効率的な校務分掌組織の検証と改善 □職員一人一人の学校運営参画意識の醸成 △感染症対策の徹底	○職員評価により、校務分掌が効率的であることが評価されている。 □各分掌がよく連携し、学校運営に関与できていた。 △その時の社会の状況により、安心できる感染症対策を実施し、保護者からも評価された。	A A A	・評価については妥当と考える。	7名
	教育課程	○創意工夫した教育活動により学力向上を目指す。 □ △	○調査満足度は高かったが、学習状況調査の結果は下降してしまった。 □ △	B	・評価については妥当と考える。 ・低学年でもオンラインができるのは素晴らしい。 ・学校が楽しいと言っている児童が多いのに安心した。	
	開かれた学校づくり	○丁寧な情報発信を行う。 □ △	○丁寧な情報発信により、保護者からは9割以上の満足度を得た。 □ △	A	・評価については妥当と考える。 ・悲惨な交通事故を防ぐために、町会もさらに協力していきたい。 ・	
	教職員の資質向上	○指導法研修を取り入れ、指導力の向上を目指す。 □倫理確立委員会の充実により、事故ゼロをめざす。 △働き甲斐のある笑顔あふれる職場をつくる。	○コロナの関係で指導者を招聘しての研修は実施ができなかった。個別にブロックで授業研究等を行った。 □リレー型研修や学級会研修などにより、事故ゼロが実現できた。 △職員満足度が9割を超え、たいへん高かった。	B A A	・評価については妥当と考える。 ・仕事のバランスをよくして、負担を軽減してほしい。 ・勤務環境をますますよくしてほしい。	
	施設・設備等の管理	○複数のチェック体制により事故ゼロを目指す。 □ △	○事故ゼロを継続することができた。 □ △	A	・評価については妥当と考える。 ・樹木がだいぶ伸びてきているので、植え替えを検討していく時期に来ている。 ・	

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
戸塚北小	組織運営	○組織を機能的に動かし活性化させ、学校運営参画意識と相互協働体制を強化する。  □ △	○ミドルリーダーがよく育っている。学年を越えて組織的な動きを意識して動いている。  □ △	A	・先生が大変な時代であるが、若手教員の育成は重要である。課題研究も含めて、参観させていただきたい。 ・ ・	5名
	教育課程	○「書くこと」の課題解決のために、カリキュラムマネジメントを作成し、授業実践を重ね、学力向上につなげる。  □「やりぬく力」を育成する。（戸北っこのあいうえおの実現）  △	○教科担当と学年組織の縦横を使い、話し合わせて作成を完了している。継続して授業実践を重ねている。  □生徒指導部会・特別活動部会を通じ、児童会が中心となって動ける組織づくりは完成した。  △	B  B	・書くことで考えがまとまる。ぜひ進めてほしい。書くことは概念を育てることでもある。  ・あいさつすばらしい。通りすがりの人によくあいさつしている。地域全体、町全体で取り組んでいかないと厳しい面もある。 ・	
	開かれた学校づくり	○共に地域の子供として育てるために、実のある学校運営協議会を実施する。  □教育活動の積極的な発信 ・I C Tに関わる授業内容 ・特別支援教育の理解と推進  △	○学校運営協議会では課題と目標についてデータを提示し連携を深めた。コロナ禍における教育活動を見学していただき、好評を得られた。  □昨年度末HPアクセス11万回が今年度、現時点で13万回となった。  △	A  A	・今回も含めて学校行事を工夫して行っていて大変すばらしい。感動した。ぜひみなさんに伝えてほしい。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○戸北小職員のプライド宣言を実行する。  □ △	○専門分野の向上は、視点を明確にして動き出している教員が増えた。 不適切な指導については、実践的な学びとなっている。  □ △	C	・ざっくばらんに学校の課題を言っていたら大変ありがたい。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○安全・安心を確立し、心のあるあたたかい教育環境を実現する。  □ △	○感染予防の徹底から、工夫を凝らした教育活動を実施することができた。施設設備に関わる事故はゼロであった。  □ △	B	・小さな接触事故はいくつかある。その大半が伝右川側道である。現在30*制限道路にはなっているが危険は多い。朝の時間、片側だけでもスクールゾーンなどにできないだろうか。 ・ ・	



学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
木曾呂小	組織運営	○教職員の共通理解に基づいた共通行動、共通指導  □ △	○共通指導事項の見直し・改善、人事評価制度に係る面談等を通じた教職員の共通理解を踏まえた共通行動、共通指導を実施  □ △	B	・時代のニーズに合った指導の共通理解が図られていることは良い。  ・家庭との連携も必要なので、保護者への周知も必要だと考える。 ・人事評価制度に基づく教職員の育成を、今後も継続してほしい。	6名
	教育課程	○P D C Aサイクルに基づいた教育計画の編成 □基礎・基本の定着と、「主体的・対話的で深い学び」を効果的に取り入れた授業の展開 △	○感染拡大防止対策の継続、P D C Aサイクルに基づいた教育活動の編成・実施 □「主体的・対話的で深い学び」を意図した話し合い活動の実施により、児童の意欲が向上 △	B B	・基礎・基本をしっかりと身に付けさせ、その上で、児童を認め、励ますことで、学習意欲を高めてほしい。 ・ツールの活用等、授業（学習活動）の工夫が成されている。今後も継続してほしい。 ・自己有用感が高まっていることが良い。今後も継続してほしい。	
	開かれた学校づくり	○教育活動の積極的な情報発信  □学校運営協議会の円滑な実施 △	○学校だよりやホームページによる情報発信に加え、G I G A端末を活用した情報配信の実施  □計画的な学校運営協議会の実施による意見聴取の充実 △	B A	・情報発信の工夫が成されていて良い。コロナ禍等で学校になかなか来られない保護者、地域の方々のため、情報発信をさらに深めてほしい。 ・学校応援団個々の負担が増していると考えられる。人員確保の工夫をしてほしい。 ・	
	教職員の資質向上	○日々の指導に生かせる研修（実践研究）の実施による教員の授業力・教師力の向上 □教育公務員として必要な資質・能力の向上につながる当事者意識の醸成 △	○日常的な教室訪問・授業観察による継続した指導・助言の実施、委嘱研究本発表のオンライン開催 □計画的な倫理確立委員会の実施による不祥事根絶に向けた教職員の意識の醸成 △	B B	・（研究委嘱本発表の授業動画を見て）学校課題の改善に向けて取り組んでいる姿勢が窺える。 ・指導技術が継承されるよう、管理職がしっかりとバックアップしてほしい。 ・	
	施設・設備等の管理	○安全点検による危険個所の早期発見と早期改善  □個人情報管理や適切な予算執行による事故防止 △	○計画的、日常的な安全点検の実施により、早期発見・早期改善の結果、施設・設備に係る事故は0 □校内規程を随時見直し・改善、適切な予算執行により、会計事故0 △	A A	・事故「0」であることが良い。  ・早期対応ができてることが良い。  ・特徴ある施設を有効に活用できる指導スキルを学んでほしい。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
戸塚綾瀬 小	組織運営	○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を目指した組織による知恵を出し合う教育活動の推進 □学年・分掌主任の学校経営参画意識を高揚、1人1改革 △	○安全・安心第一を考えた組織的な対応、工夫した学校行事・教育活動の実施 □主任を中心に組織的、早期な取組と解決、1人1改革90%以上達成 △	B A	・コロナ禍でも教職員が協力し、できる範囲で学校運営をしている。 ・教職員の学校経営参画意識が高い。 ・	5名
	教育課程	○状況に合った教育課程の編成、時間の使い方・指導内容順の工夫 □全教職員の指導過程の基本を定着 △	○感染状況に合わせた教育課程の見直し、行事の内容精選・指導順変更実施 □全教員が1回以上の公開授業を実施、学力の検証を受け課題に対する取組実施 △	A B	・教師と児童のコミュニケーションをとり、よくできている。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○学校情報を積極的に発信、「保護者・地域に信頼される学校」「スポーツ、防災簿拠点となる学校」づくり □ △	○学校だより毎月発行、ホームページブログの新設、コミュニティスクールの開始 □ △	B	・様々な制限がある中、工夫していた。できなかったことは仕方ない。 ・学校行事に地域の人が参観に行けないことは残念であった。 ・子ども達が地域の活動に参加してくれていて、良い。	
	教職員の資質向上	○キャリアステージに応じた指導力の向上、児童・保護者から信頼、尊敬される教師の育成 □ △	○算数科研究授業実施、実践力の向上、キャリアに応じた研修への参加、児童からの評価95%達成、保護者からの評価90%達成 □ △	A	・教師が子ども達に信頼されている。若手の教師が育てられている。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○適正かつ計画的な予算の有効活用 □潤いある安全な教育環境づくりの推進 △	○安全を優先した計画的な予算執行 □掲示スタイルの統一、樹木学校ファームの整備、毎日の安全点検、管理職等による早期修繕 △	A B	・必要な内容の予算執行ができています。 ・25年目となり、今後施設設備の老朽化が加速すると思われるので、適切な管理を望む。 ・	

令和3年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標		年 度 評 価		
		重点目標	重点目標の達成状況			
戸塚南小	組織運営	○ 全職員の学校運営参画意識の向上 □ △	○ 学校教育目標の具現化に向けた職員の意識の向上 □ △	A	・職員が一丸となり、教育活動を推進する。 . .	5名
	教育課程	○ 知徳体の調和のとれた児童の育成 □ △	○ 学び合いを意識した学習スタイルの構築 □ △	B	・感染状況を踏まえ、できることから取り組んでほしい。 . .	
	開かれた学校づくり	○ 関係機関、保護者、地域との連携深化 □ △	○ 地域、PTAとの今後の方向性の確認 □ △	B	・ホームページの有効活用 . .	
	教職員の資質向上	○ ミドルリーダー、若手の育成 □ △	○ 若手教育育成研修等の実施 □ △	B	・児童が安心して登校できる学校づくり . .	
	施設・設備等の管理	○ 児童の安全を第一にした施設設備の有効活用 □ △	○ 全職員による児童目線に立った日常的な施設管理の実施 □ △	B	・計画的な補修をして欲しい . .	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
鳩ヶ谷小	組織運営	<p>○学校目標「よく考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」の具現化を基に、「生きる力」を身につけた児童を育成する。</p> <p>○児童・保護者との信頼関係を築く。</p> <p>△</p>	<p>○各教科の「見方・考え方を働かせて」を軸に深い学びを誘い、全ての児童が学ぶ楽しさを味わえる授業力の向上のため、個々の教職員の良さを生かす。</p> <p>□児童の特性と家庭環境の把握と理解に努め、専門家の意見を取り入れる。</p> <p>△</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A</li> <li>・若い教員が多いが、よくがんばっている。</li> <li>・不登校0すばらしい。</li> <li>・A</li> <li>・「見方・考え方」により教科指導の土台を築いている。</li> </ul>	9名
	教育課程	<p>○新学習指導要領実施による児童の主体的な学習指導の方法を確立する。創立150周年組織委員会を立ち上げ、保護者や地域人材の協力を仰ぎながら、地域愛、母校愛を育む教育を、教育課程全般を通して行っていく。</p> <p>□</p> <p>△</p>	<p>○コロナ禍での共通理解、認識について、教職員が不安く対応でき、学校運営への参画意識の向上をさらに目指したい。授業時数の確保のため、「モジュール」を取り入れるなど柔軟に計画的を改善、精選した。</p> <p>□</p> <p>△</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A</li> <li>・アンケート調査の結果を見ても児童が主体的、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・鳩ヶ谷図書館で「おはなし会」あるが、本校児童の参加が少ない。</li> <li>・コロナ禍でも工夫されて楽しい学校生活の取組されている。</li> <li>・子供の学力と同時に心の状況もきめ細かく。</li> </ul>	
	開かれた学校づくり	<p>○学校運営協議会を立ち上げ、コミュニティ・スクールとし、地域の人材とともに連携・協同して、学校目標の実現にむけた学校経営を行っていく。</p> <p>□</p> <p>△</p>	<p>○開校150周年行事を生かしながら、母校・地域の伝統を重んじ、母校愛を高めるとともに、地域との結びつきを今まで以上に塚めることができた。○HHPからの情報公開や情報発信をはじめ、Teamsを使用した保護者との連携、高学年児童との児童と担任との交流を行った。</p> <p>△</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A</li> <li>・150種年に向けて、地域や保護者と共に取り組んだ。</li> <li>・学校HP更新を毎日目指すとのことで、楽しみ。</li> <li>・学校からの発信に敬意。</li> </ul>	
	教職員の資質向上	<p>○個々の教職員の目標や長所、課題を踏まえた前向きな研究の充実を図るとともに、ICTを活用した実効的な授業改善を図る。</p> <p>□機を逃さず教育公務員としての自覚を促し、誇りをもって仕事に臨むプロ集団を育成し不祥事防止に努める。</p> <p>△</p>	<p>○校内研修を中心に各教職員の課題意識に沿った、課題解決研修を行うことができた。</p> <p>□教職員事故を自分事として考え、ボトムアップできる意識の醸成を図ることができた</p> <p>△</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A</li> <li>先生方の時間外勤務や休日出勤は大変だと思う。教員が足りないという話も聞き、心配である。</li> <li>・コロナ禍での交流は難しい。</li> <li>・先生方の休暇等にも尽力ください。</li> <li>・教員集団の力が大きい。校長の力が発揮されている。</li> </ul>	

令和3年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
	施設・設備等の管理	<p>○学校事故ゼロの徹底。 学校施設、安全管理、会計事故、教職員事故のない安心・安全な学校体制を構築し、信頼ある学校、信頼される教職員を目指す。</p> <p>□ △</p>	<p>○学校施設管理について複数のチェックや危険個所の早期発見・早期対応を行った。学級会計を廃止し、学年会計に統合しスリム化を行った。PTAによる監査も確実に行い、会計事故なく管理することができた。</p> <p>△</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A</li> <li>・ 学校の中を見学、よく整理・清掃されている。</li> <li>・ 早期発見、早期対応の学校姿勢がよい。</li> <li>・ プール改修、鳩の壁画など明るく美しくなり、素晴らしい。</li> <li>・ 教職員の管理がよくわかり取り組んでいる。</li> </ul>	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
中居小	組織運営	<input type="checkbox"/> ミドルリーダーの育成及びより一層の組織力の構築 <input type="checkbox"/> 効率的な会議・部会運営及び次年度を見据えた校務分掌業務の推進 △	<input type="checkbox"/> リーダーシップを発揮する素地である「気づく目」「感じる心」の育成及び報告・連絡・相談の徹底の実現 <input type="checkbox"/> 教員が見通しのもてる計画の立案・配付及び効率的な会議運営の達成 △	B B	・学校教育目標に対して共通認識・実践され、浸透している ・コロナ禍の厳しい中で創意工夫しながら学校行事を行い、学校運営がすばらしい ・若手教員が多いという実態がある中、チャレンジできる環境づくりを行っていただき、若手の育成につなげていただきたい	8名
	教育課程	<input type="checkbox"/> 日々「わかる・できる・楽しい」授業の実践を通して学力・体力の向上 <input type="checkbox"/> 家庭や関係機関との連携を通じた登校しづり児童の解消及び不登校児童の欠席日数の減少 △	<input type="checkbox"/> 管理職による教室訪問及び指導助言、指導主事招聘による研究授業の実施等を通して、「わかる・できる・楽しい」授業の実践の実現 <input type="checkbox"/> 家庭や関係機関、特別支援学級設置校の利点を生かした対応により、登校しづり児童への組織的な対応の実現 △	B B	・授業参観等を通して、児童の生き生きとした顔や行動を見ていると、学校・家庭との連携が図られていると感じます ・オンライン授業を実施していますが、五感の低下や体力の低下が懸念されます。何か解決策があれば幸いです ・お互いを認め合う多様性を重視する社会に向かっていますが、自分をいかに表現する機会をつくれるかを意識した教育課程に取り組んでいただきたい	
	開かれた学校づくり	<input type="checkbox"/> 学校応援団の活動の充実及び学習環境の整備 <input type="checkbox"/> ホームページ等にて日々の教育活動や子供のよさ等の積極的な情報発信 △	<input type="checkbox"/> 図書ボランティアとの連携により学校図書館の環境整備及び「中居っ子アートギャラリー」の新設等を通じた学習環境整備の実現 <input type="checkbox"/> ホームページをedumapに変更し、積極的にブログを更新し、日々の教育活動の積極的な情報発信の達成 △	B A	・Edumapに変更したことにより、学校から保護者へ情報発信・コミュニケーションが活性化し、教育機関向けプラットフォームを早期に導入した効果は大きいと思われる ・毎月の学校だよりから地域と学校が最近身近に感じられるようになりました。情報発信面では、積極的に取り組む姿勢が感じられます ・情報発信の認知活動や一定のアクセス数、ダウンロード数における分析を行い、より保護者・地域の皆様に届ける工夫をしていただくと価値が上がります	
教職員の資質向上	<input type="checkbox"/> 教職員一人一人の資質・能力・経験や個々の長所を生かした人材育成 <input type="checkbox"/> 教育公務員としての高い倫理観の醸成及び信頼される教職員の育成 △	<input type="checkbox"/> 校内研修を充実させ、体育の研究授業を通して、学級経営力・授業力の向上の達成 <input type="checkbox"/> 夏季休業中を利用し、ボトムアップによる倫理確立委員会を実施し、不祥事防止に対する教職員の意識を高め、教職員の不祥事事故0の実現 △	B B	・若手、中堅関係なく、日々の授業力向上に努めていただきたいと思います ・学校内ですれ違う先生方は皆率先して挨拶してください。子供たちはその姿を見て成長していきます。授業力ももちろんですが、人間力を高めるような活動も大切だと考えます ・若い先生が多い中で管理職の先生方の指導がうまくいっていると思います。子供は先生の一挙手一投足を見えています。教員としての立ち振る舞いについて継続的にご指導ください		

令和3年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
	施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 〇整理整頓の徹底及び児童の次の学びにつながる、学びの足跡が見える教室掲示、校舎内掲示の充実 <input type="checkbox"/> □目に見える変化を生む迅速かつ適切な修繕を通じた安心・安全な生活環境づくり  △	<input type="checkbox"/> 〇各教室において次の学びにつながる掲示や学びの足跡が見える掲示の実現 <input type="checkbox"/> □管理職・事務職員・校務員等の日常的な見回り・点検等の実施を通して、安心・安全な生活環境の実現  △	B  A	・教室や廊下等に学習の成果、学んできたことが掲示され、よく見える化されている ・施設設備の老朽化はあるが、よく整理整頓されており、掃除も行き届き、清潔感がある  ・修繕箇所を把握されており、限られた予算の中で計画的に修繕が進められている。今後も早期発見・改善に努めていただきたい	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
辻小	組織運営	○学校教育目標具現化に向けた主体的な学校組織づくり	○教職員との面談や日常的なコミュニケーション、教室訪問を通じて目標や方策についての達成状況確認  ○全教職員で行う生徒指導委員会により、いじめの早期発見、解決	B	・いじめについて、問題の発生に際し、検証すると事前に何らかの兆しがあったことが多く認められる。見落とすこと内容努めてほしい。  ・コロナ禍にあっても多くの理解と協力があったことがうかがえる。引き続きの努力と対応をお願いしたい。 ・	11名
	教育課程	○基礎的・基本的な学習内容の定着と体力向上  □児童が心穏やかに過ごせる学校づくり	○校内研修の充実に伴う児童の体力向上及びICTの積極的な活用による授業力の向上 ○ICTの積極的な活用による基礎・基本の定着  □全学級でのいじめに関する内容項目の実施と互いに認め合う学級づくりの推進	B  B	・体力向上がみられたということで安心した。  ・人と触れ合えない中でコミュニケーションの問題やそれらがいじめにつながらないように学級経営に力を入れていただきたい。 ・	
	開かれた学校づくり	○「信頼される学校」「地域とともにある学校」づくり	○学校運営協議会での活発な意見交換による共通理解 ○学校だよりやHP等による様々な情報発信	B	・目標となっている課題に積極的に取り組んでいただきたい。  ・コロナ関係で、各種の行事に参加することができず残念であった。 ・毎朝あいさつしているが、全体的に返事が少なく残念に思う。気持ちよくあいさつできるよう家庭でも声掛けをお願いしたい。	
	教職員の資質向上	○教育公務員としての使命感と情熱をもち、認め合い高め合える学校づくり □ △	○教員相互のコミュニケーションの充実 ○教職員との有効な面談時間の確保 □ △	B	・若手の先生方が多いという中で、そのよい点を伸ばし、改善すべきは地域も含めて見守っていきたい。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○新型コロナウイルス感染防止及び施設設備の定期的・日常的な点検の実施 □会計事故ゼロを目指した正確な経理・文書処理 △	○関係各所からの情報収集及び安心・安全な教育活動充実のための積極的な修繕 □複数の目による確認による適切な文書処理及び管理 △	A  A	・修繕等は予算の問題があるので、優先順位をきちんとして実行していただければと思う。 ・ ・	



学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
里小	組織運営	<p>○運営委員会をはじめとする校務分掌組織のスリム化・活性化</p> <p><input type="checkbox"/>学校教育目標達成に向けた教職員の共通理解・共通指導</p> <p>△</p>	<p>○費用対効果考えた学校行事、会議等の取組を主任層に考えさせ、実践させることにより、効果的な教育活動を展開することができた。</p> <p><input type="checkbox"/><input type="checkbox"/>情報教育主任を中心にタブレット端末の活用、HPの更新をすることができた</p> <p>△</p>	B A	<p>・コロナ禍により、これまでの経験則で学校経営、運営ができない中、よくやっている。</p> <p>・タブレットやICT機器を十分に活用し、児童の学びを保障してほしい。</p>	7名
	教育課程	<p>○確かな学力の定着</p> <p><input type="checkbox"/>道徳教育・人権教育の充実</p> <p>△コロナ禍により低下した体力の向上</p>	<p>○県学力学習状況調査結果を分析し、学力向上プログラムを作成・実践した結果、教員の授業力が向上した。また、児童の学力に向上が見られた。</p> <p><input type="checkbox"/>校長が道徳科授業を実践(各学年3~4授業)し、教師の授業力向上とともに児童の豊かな心を育成した。</p> <p>△コロナ禍でも運動量を確保するために、『密』を避けつつ、指導計画を工夫改善したり、外遊びを推奨したりした。</p>	A A B	<p>・学力も徳力も校長を中心に教職員が努力している姿が伺える。児童がそれに応える様子が伝わった。</p> <p>・体力向上に関しては、持久力、握力、柔軟性が課題と聞いた。コロナ禍で制限がある中、体力向上は難しい。今後、この委員会での熟議の議題としたい。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○保護者・地域との連携推進</p> <p><input type="checkbox"/>学校応援団の充実と活用</p> <p>△小中・小小・保幼小の連携充実</p>	<p>○コロナ禍により、校庭芝生養生等地域との交流活動ができなかった。</p> <p>○毎日1~2回程度、HPを更新し、学校の様子を伝えるようにした。</p> <p><input type="checkbox"/>図書ボランティアの方々には図書整理や掲示物の作成、ワテマンドによる読み聞かせ等をしていただいた。またPTA、地域ボランティアによる登下校の見守りをしていただいた。</p> <p>△月1回の小中連携教務会議により、行事等の企画運営、確認を行った。コロナ禍により、中止となる行事が多かった。</p>	B B B	<p>・コロナ禍で来校することが難しい中、図書ボランティアによる掲示物作成、図書整理、オンライン読み聞かせなど学校応援団の活動を継続させているのが素晴らしい。</p> <p>・図書ボランティア以外の学校応援団の活用が少ないのが残念である。</p> <p>・丁寧にあいさつしてくれる児童がほとんどだが、あいさつを返してくれない児童もいるのが事実である。大人が率先してあいさつをし、見本を示すべきである。</p>	
	教職員の資質向上	<p>○管理職による授業参観と指導助言</p> <p>○中堅・ベテラン教諭の活用と校内研修の充実</p> <p><input type="checkbox"/>倫理確立委員会等による服務規程の指導と徹底</p> <p>△</p>	<p>○学力向上(研修)推進委員長を中心に、教員が一人一授業を公開することで、教員の授業力を向上させた。また、OJT研修を推奨し、実践を積み重ねながら研修する体制を整えた。</p> <p><input type="checkbox"/>倫理確立委員会を中心に、教職員事故防止に関する研修を実施した。教育公務員の自覚と責任を持たせることができた。</p> <p>△</p>	B B	<p>・社会人として当たり前のことができるような研修を充実してほしい。</p> <p>・コロナ禍で研修を実施するのが難しかったのではないかな。</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○効果的・計画的な施設設備の修繕</p> <p><input type="checkbox"/>落ちついたきれいな学校環境づくり</p> <p>△</p>	<p>○毎月の安全点検を確実に実施することで、大きな事故になる前に各所修繕することができた。</p> <p><input type="checkbox"/>全学年で黙働清掃に取り組んでいる。定着しつつあり、児童は集中して清掃している。</p> <p>△</p>	B A	<p>・教室の空間が密にならないように、ソーシャルディスタンスを保つ机・椅子の配置が素晴らしい。</p> <p>・老朽化による改修を早急に行うよう教育委員会に強く要望してほしい。</p>	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価		学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価		
		重点目標	重点目標の達成状況		
桜町小	組織運営	<p>○個々の特性を見極めた分掌の配置で、各教職員の連携による組織力の向上</p> <p>□適切な役割分担のもと、各教職員の職務の遂行で学校運営への参画意識の強化</p>	<p>○コロナ禍であるが、教職員の創意工夫した学校行事の実施で教育活動の充実で計画的な負担軽減</p> <p>□生徒指導委員会による積極的な生徒指導で組織的な見守りの継続と早期対応</p>	<p>B</p> <p>・コロナ禍のもと児童不登校がないのは大変良いことであり、指導が充実・理解されていることと考慮する。</p> <p>A</p> <p>・先生方の業務活動について検討されている中、働き方改革でも先生方の負担軽減で若手教師の育成の継続を願いたい。 直接見えてこない領域だが、先生方が学校内外問わず、生き生きと過ごされる様、応援している。 ・校長・管理者はご苦労とは思いますが、先生方は（特に若い先生）小規模校で大いに積極的に活躍し児童に接して貰う機会としていただきたい。</p>	7名
	教育課程	<p>○ユニバーサルデザインを踏まえた授業づくりで、を基礎学力の定着と学力の向上</p> <p>□</p>	<p>○教職員の積極的なICT機器を活用で、学力についての高い水準を維持</p> <p>□体育授業の指導法改善と校内の体力向上に関わる道具作りと教職員の創意工夫で体育的活動の充実</p>	<p>B</p> <p>・コロナ禍でオンライン授業が行われている中、学力は向上が見られている。一方体力面で課題があるとのこと。バランス感覚をもって充実して戴きたい。「KODOMO FIRST」の理念にとっても賛同する。</p> <p>A</p> <p>・オンライン授業、タブレットでの宿題提出など、子ども達は新しい方式を楽しく取り込んでいる様子である。従来の対面方式と平行してさらに活用して行ってほしい。 ・「学力はよいが体力向上については大きな課題」について、児童の体力向上を図る等、種々検討されていますが、子供達の遊び心とチャレンジ力を引き出し、通年で「〇〇大会、桜小〇〇チャンピオン」をやられたらよい。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○学校運営協議会による学校経営・運営の推進と、学校応援団、自治会長、民生委員との緊密な連携で地域の教育力の活用</p> <p>□</p>	<p>○第1回は協議会の設置の意義と役割分担、第2回は学校教育の様子への参観と意見交換、第3回は感染状況の悪化により紙面での開催</p> <p>□HP及び学校メールをリアルタイムに活用し、コロナ禍における連絡事項や情報の適時適切に発信</p>	<p>A</p> <p>・コロナ禍で集まりにくいと思いますが、理解を深めていきたいと思います。</p> <p>A</p> <p>・学校よりは毎月充実していて、学校の様子がよくわかる。HPも必要な情報が載っていてよい。細かいところだが、例えば「～だより」の掲載順などの整備がなされたら、より見やすく学校の印象もよくなるのでは。 ・学校よりは学校と保護者を結ぶ重要なツールになっていると思う。校長の考え、方向指針、行事予定、トピックス等、適切な内容を毎月発信されている。</p>	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
	教職員の資質 向上	<input type="checkbox"/> 互いに授業を見合える環境の整備で学び合える教職員集団の構築と授業力の向上  <input type="checkbox"/> 健康教育を基盤とする体力向上への2年次の校内研究の推進	<input type="checkbox"/> 初任者への示範授業、授業参観および日常の教室訪問を通し、教職員の授業を観ている。落ち着いた教室環境で児童も学習し、理解力を上げている。  <input type="checkbox"/> 年間3回市教委から指導者を招聘し、体育科の研究授業の実践で指導法の研究の推進	B  B	・コロナ禍は大きな影響・制限があり、健康に気をつけるだけでも大変だったと思います。  ・子ども達の先生方への態度、向き合い方から、年間を通じての先生方の取組を感じる。 ・体育科の研究授業を実施されたとのこと。今後の体育授業での実践に活かされますよう願う。	
	施設・設備等 の管理	<input type="checkbox"/> 老朽化や雨水による被害を最小限にとどめる計画的な修繕・整備  <input type="checkbox"/> 児童の安心・安全な学び舎としての彩りと心潤う教育環境を目指した整備	<input type="checkbox"/> 学校施設の不備による事故は無し。開校51年で施設設備の老朽化が目立つ。  <input type="checkbox"/> 学校の緑化環境については行政の支援を受け、樹木の剪定で校地内の整備推進	B  A	・北校舎の裏が昨年からすっきりして明るくなった。防犯上にも良いと思います。開校51年経過で諸設備の老朽化があるとのこと。安心・安全な環境を確保して戴きたい。  ・学校内の樹木の剪定がいつ行われたのか。広く、明るく感じた。 ・全体を通して「学校自己評価」に賛同する。次年度は、草取りPTA活動を年2回に増やし、さらに協力できたらと思っている。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
南鳩ヶ谷小	組織運営	○校務分掌組織の活性化と教職員の学校経営参画意思の醸成	○各部長・主任が核となり学校運営に大きく貢献（教職員の参画意識86%）OJTでの人材育成の実施	A	・管理職を中心に学校運営がしっかりできている。 ・タブレットの活用は、教職員の努力の成果。 ・校長の児童、保護者、地域に対する配慮が感じられる。 ・タブレットの効果的な活用、オンライン授業の実施等、児童に教育の機会が確保されている。 ・感染対策をしっかりと児童が安全に活動している。 ・子供たちの体力低下が心配。体力づくりに尽力願いたい。 ・感染対策を講じ、可能な範囲で家庭・地域とコミュニケーションを取っている。 ・HP、学校だより、臨時学校だよりを通して、より開かれた学校づくりをしている。 行事の中止・縮小の中、いかに地域と連携して子供たちの安全な育成ができるかが課題。 ・教育公務員としての自覚の再確認は重要。管理職の細やかな配慮が感じられる。 ・先生方が児童に何が出来るかを一生懸命考え、実践している。 ・若い教職員が多い中、教職員の意識改革、育成が必要。 ・老朽化は否めないが、整理・整頓がされている。 ・優先順位をつけて一つ一つ改善してほしい。 ・トイレ、プールろ過機等、課題はある。子供の過ごす環境向上を願う。	
		□安全と健康を最優先し、目指す学校像の具現化への取り組みと情報発信 △	□HPの更新が定着（保護者アンケート90%） △	B		
	教育課程	○コロナ禍による教育課程の見直しと確実な実践	○地域資源、外部人材等の積極的な活用	B		
		□徳力、体力の向上 △	□医療従事者への感謝と応援メッセージ作成。コーディネーショントレーニングを取り入れた体力向上。 △	B		
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会の立ち上げと「信頼される学校」の実現 □学校だより、HP、保護者アンケート等による双方向の情報交換	○学校運営協議会による学校・家庭・地域の連携強化 □学校へのさらなる理解と保護者の思いの把握 △	B B		
教職員の資質向上	○教育公務員としての意識の高揚 □全教職員で「児童一人一人を大切に作る学校」の実現 △	○計画的かつ必要に応じた研修や各種取組を実施。教職員の資質向上の面で課題 □多様な校内研修の実施により、実践的指導力の向上 △	B B			
施設・設備等の管理	○定期的・日常的な安全点検の実施と即時対応 □感染防止の視点に立った環境整備 △	○毎月の安全点検と全教職員による日常点検と即時修繕 □臨機応変かつ継続的な感染対策の徹底 △	B B			

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
東中	組織運営	○落ち着きがあり市内に誇れる学校の構築 □半数以上の教職員の異動のなかでの教育の質の向上 △	○転入職員と力を合わせ、落ち着いた学校生活を維持 □授業がわかりやすいと思える生徒の割合90%以上 △	B A	・今年1年で生徒の成長を感じた。先生方のご尽力に感謝する。 ・学年が上がるにつれてよくなっていく。 ・学力向上は課題だが、この地区は複雑な家庭も多い。家庭の状況も理解して取り組んでほしい。 ・ペーパーレスを、ゴドモンを活用して推進してほしい。 ・コロナ禍が落ち着きを見て民生委員連絡協議会をもってもらえれば不登校対策に協力できる。 ・ ・行事や学校公開等、保護者が学校に来る機会が増えれば、きっと学校を理解してくれる。 ・小中連携は続けてほしい。 ・ ・数学は基礎基本を徹底が必要。習熟度別学習を取り入れたらどうか。 ・何のために学ぶのか、誰のために学ぶのかははっきりさせる。 ・集中力が大切である。 ・環境整備が整っている。 ・新郷地区全体で防災意識を高めていくことを、川口市の危機管理部と相談している。ぜひ、協力してほしい。 ・	10名
	教育課程	○各教科におけるタブレットの効果的な活用 □不登校生徒の減少 △	○各教科でタブレットの効果的な活用を研究し、校内研修で共通理解 □生徒や保護者に寄り添う教育相談体制の構築 △	A B		
	開かれた学校づくり	○ホームページやすぐメールの積極的な活用 □新郷地区小中学校の連携強化 △	○ホームページの毎日更新を基盤として情報発信 □小中連絡を取り合い同一步調で教育活動を実践 △	B B		
	教職員の資質向上	○専門性を高める授業力の向上 □保護者・地域から信頼される教職員の育成 △	○各教科部会で研究を重ね、効果的な授業の実践 □教育公務員としての意識の向上 △	B B		
	施設・設備等の管理	○定期的な安全点検の実施と即時対応 □災害時における避難場所としての機能の充実 △	○日々の安全点検による即時修繕 □避難所解説マニュアルの見直し △	B B		

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
西中	組織運営	<input type="checkbox"/> チームワークある教師集団の育成 <input type="checkbox"/> 働き方改革の推進 △	<input type="checkbox"/> 自己評価シート等の面談から目標の明確化、学校運営への参画意識を高めた。 <input type="checkbox"/> 年休取得の推進や在校時間の短縮を随時呼びかけ、在校時間の減少につなげた。 △	A A	・先生方がゆとりをもって生徒と向き合うことができるようにしてもらいたい。 ・働き方改革は今後も続けていただきたい。 ・	5名
	教育課程	<input type="checkbox"/> 新学習指導要領の趣旨を捉えた授業実践および学力向上 <input type="checkbox"/> ICTを活用した個別最適な学びの実践 △	<input type="checkbox"/> 全国や県学力調査を分析し、新たな学力向上プランを作成した。 <input type="checkbox"/> ICTの活用研修を計画的に実践し、G I G A 端末の適切な運用とG I G A 端末の有効的な活用が図られた。 △	B A	・今後も生徒たちの学力の向上をお願いしたい。 ・分散登校や感染不安な生徒に対して、G I G A 端末や有効活用された。今後も研究を進めてもらいたい。 ・	
	開かれた学校づくり	<input type="checkbox"/> 学校を積極的に発信する各種ツールの有効活用 <input type="checkbox"/> コロナ禍における工夫された学校公開の推進 △	<input type="checkbox"/> それぞれの性質に応じたツールを活用することで、保護者や地域に発信することができた。 <input type="checkbox"/> コロナ禍の制限等により、2年ごとに行う地域ふれあい祭りが中止となり、他の開催も現実的には厳しい状況であった。 △	A C	・引き続き、開かれた学校づくりの推進をお願いしたい。 ・次回の地域ふれあい祭りの開催に期待したい。 ・	
	教職員の資質向上	<input type="checkbox"/> 校内研修の充実および指導者の要請 <input type="checkbox"/> 教職員事故ゼロを維持 △	<input type="checkbox"/> 校内研修は計画通り実施できたが、指導者については分散登校やまん延防止等により思うように要請できなかった。 <input type="checkbox"/> 倫理確立委員会を活性化させるとともに、教職員事故を自分事と捉えさせ、事故をゼロとした。 △	B A	・先生方には無理なく力を付けていただきたい。 ・教職員事故の事故の根絶をお願いしたい。 ・	
	施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 施設に関する学校事故をゼロを維持 <input type="checkbox"/> 配当予算の計画的および適正な執行 △	<input type="checkbox"/> 定期、日常、臨時の安全点検を行うことにより、計画的に修繕し、施設による事故をゼロとした。 <input type="checkbox"/> 配当予算を計画的、適切に執行し、金銭事故をゼロとした。 △	A A	・老朽化している箇所は安全のためにも積極的に修繕してほしい。 ・今後も有効的な予算の執行をお願いしたい。 ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
南中	組織運営	○幼小中学校間連携の継続 □若手教員の指導力の向上 △学校運営への参画意識の向上	○合同研修会を通してほぼ達成できた □初任者指導教員による計画的指導 △他人事ととらえている教職員が見受けられる	B A A	・先生方の熱心な指導に感謝する。 ・新型コロナの対応ご苦勞様でした。 ・学校行事ができて良かった。 ・臨時休校による授業の遅れはないのか ・オンライン授業は進んでいるのか。 ・学校だより、P T A 広報誌がとてもよくできている。 ・学校公開が中止となり残念であった。 ・体育祭、合唱コンクールが実施出来て良かった。 ・南中から教職員の不祥事は出さないでほしい。 ・先生の中で仕事量に偏りはないか。 ・町会、レク協会でもグラウンドを使用するのでマナーは守らせたい。 ・不都合があればいつでも連絡いただきたい	5名
	教育課程	○学力の向上 □授業時間の確保 △不登校生徒の減少	○計画的に補習学習をすすめ、効果があった □教科の授業時数に偏りが出た △不登校生徒の多様化により増えてしまった。	A B B		
	開かれた学校 づくり	○学校応援団の充実 □学校関連携教育の充実 △教職員の地域行事への参加	○団員数の確保と活動内容の精選 □合同研修会を通してほぼ達成できた △地域の行事はすべて中止となった。	B B B		
	教職員の資質 向上	○若手教員の育成 □教育公務員としての自覚を高める △	○全教職員協力の下、指導に当たることができた □倫理確立委員会がリードし、積極的研修を実施した △	A A		
	施設・設備等 の管理	○漏水の管理 □安全第一、危険箇所の確認と修繕 △	○市教委と連絡を密にして修繕に当たることができた。 □故障箇所は発見しだい、即時修繕を行った △花火・たき火が原因による消防の出動が2度あった。	A A B		

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
北中	組織運営	<p>○校務分掌の相互連携を充実させ縦横断的組織の機能向上。</p> <p>□若手教員の自立と組織の活性化</p> <p>△学校評価の項目の継続的改善。</p>	<p>○校務分掌スリム化により課題に即時対応できる実行力のある学校組織が構築された。</p> <p>□コロナ禍に対応した具体的対策を適宜適切に提示することにより教職員の学校経営への参画意識及び協働意識の醸成が図られた。</p> <p>△評価項目の改善を行い、実態に即した学校評価が実施できた。</p>	A B A	<p>・教員が組織として教育課題の解決に取り組んでいる姿勢が良い。</p> <p>・規律と潤いのある学校生活が構築されている。</p> <p>・教職員の漸進的な負担軽減策を継続して、より生徒と一緒に活動する時間の確保に努めて欲し</p>	4名
	教育課程	<p>○「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</p> <p>□新しい学力観にたった教育指導計画を充実させ、確実に学力・体力・徳力を向上させる。</p> <p>△小学校との連携強化を図るカリキュラムマネジメントを実施する。</p>	<p>○教育計画の短期的なP D C Aを繰り返して教育課程再編成を逐次実施し、計画通り授業時数を確保し教育活動を確実に実践した。</p> <p>□教職員の共通理解の基での新しい学力観にたった教科横断的授業改善に着手し、学力・体力・徳力向上に向けた指導が実践された。</p> <p>△中・長期なスパンでの継続可能な教育活動の初期段階が実施できた。</p>	A B B	<p>・引き続き学校からの働きかけにより、家庭学習の必要性を家庭に訴えてほしい。</p> <p>・継続して小中連携した教育活動を推進し段階的にできることから確実に実施して学力向上等に繋げてほしい。</p> <p>・教育指導計画の柔軟な対応により確実に教育活動が実施されている</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○コロナ禍に応じた学校から地域への連携を継続させる教育活動の推進。</p> <p>□「学校・家庭・地域」の連携を軸とした、北中の文化を継承する地域に根ざした教育活動の推進。</p> <p>△</p>	<p>○感染拡大防止対策に向けた学校方針・対策を積極的に保護者・地域に発信するとともに手作りマスク配布等コロナ禍に応じた地域連携を積極的に推進し連帯感が強まった</p> <p>□コロナ禍に応じた新しい小学校及び地域との連携の形を模索し準備が推進された</p> <p>△</p>	B A	<p>・コロナ禍に応じた地域と連携した教育活動が充実され、生徒の顔が見える学校づくりが成果を上げている。</p> <p>・ホームページや臨時学校便り等適宜情報発信がされ、学校の教育活動が適時わかりやすく知ることができた。</p> <p>・</p>	
	教職員の資質向上	<p>○「自ら課題を発見し、主体的・対話的に学ぶことができる授業改善」を研究主題とした生徒の実態に応じた効果的な授業改善の推進。</p> <p>□教職員事故ゼロを目指した日々の教育活動の実践。</p> <p>△</p>	<p>○O I G Aスクール構想、教科横断的授業改善への共通理解が深まり漸進的な実践を通し教職員の意識改革が推進され若手教職員を筆頭に指導力・資質が向上した。</p> <p>□教職員事故ゼロを目指した課題別研修を適宜適切に実施でき教育公務員としての意識が醸成された。</p> <p>△</p>	B A	<p>・生徒に寄り添う実態に応じた教育活動が随所にみられ、教職員相互の支援体制の充実が伺える。是非継続してほしい。</p> <p>・目先の結果を追うだけでなく、生涯学習の礎となるような授業改善を推進して欲しい。</p> <p>・</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○ユニバーサルデザインに配慮した人にやさしい教育環境の整備を推進して安全管理を徹底する。</p> <p>□学校施設を有効活用しての幅広い教育活動を実践する。</p> <p>△</p>	<p>○コロナ禍に応じた教育環境整備計画をたて生徒に優しい教育環境づくりが推進し、効果的に施設活用した教育活動が実践された。</p> <p>□新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた施設・設備の安全管理を徹底し生徒の安心安全な学校生活が推進された。</p> <p>△</p>	B A	<p>・ユニバーサルデザインを意識した学校内外の改修や特別教室の整備など、生徒に優しい教育環境に発展している。特に、校内掲示及び図書館の整備は目を見張る充実ぶりである。</p> <p>・学校の新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた施設・設備の安全管理の徹底が伺えた。継続充実を図ってほしい。</p> <p>・</p>	



学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
青木中	組織運営	○青木中の教育活動の核となる道徳教育の推進 □各分掌組織の連携を密にし、「ハートフル青中」の取組の一層の推進 △	○コロナ対応は安心安全に配慮し、伝統を継承しながら学校行事等の実施 □教職員はお互いに声をかけながらチームで対応し、それぞれの経験年数に応じた分掌の仕事の遂行 △	A A	・コロナ禍でもできるように、教育活動を見直し、工夫して取り組む学校の対応に感謝する。 ・青木中生徒が大人に対して、正しい言葉遣いができるように、家庭と連携して教育力を高めて欲しい。 ・	6名
	教育課程	○対話があり、深く・広く考える力を育てる授業を進め、全ての生徒の学力向上を推進 □P Cタブレットの更なる活用 △	○わかる、できる、伸びるを実感する授業の実現による1年から3年へ学年が上がるにつれた学力の高まり □P Cタブレットの活用を含めた教材研究の充実、家庭学習の充実、補習の実施 △	B B	・小学校との連携を強化して青木中の教育力を更に高めて欲しい。 ・生徒の学ぶ意欲を高め、学習習慣を定着させる。 ・	
	開かれた学校づくり	○本年度学校運営協議会の設置により、コミュニティスクールのスタート □学校HPや保護者メールの活用を進め、地域目線で学校からの情報発信の充実 △	○コロナ禍、無観客で行事を実施するなど地域と直接的な交流は十分できなかったが、学校運営協議会を年3回実施 □学校HP・保護者メールを活用した積極的な情報発信 △	A A	・学校評価をもとに新たな対応をしていることが評価できる。今後も引き続き、生徒や保護者の話を聞きながら丁寧に進めて欲しい。 ・オンライン授業はすぐに質問ができなかったり、声が聞きづらかったり弊害もあるようだ。研究を進め、従来の対面授業と併せてバランスよく取り組んで欲しい。 ・	
	教職員の資質向上	○管理職のリーダーシップのもと、ベテラン教員の指導力を若手教員へ継承させ、学校全体の指導力の上 □ △	○学校運営参画意識を高め、教員の意欲や特徴に応じて仕事を割り当て経験を積ませること □ △	B	・生徒のために長時間働いている先生方がいることは大変ありがたいが、心身の健康面が心配。今後も青木中の働き方改革をしっかりと進めていただきたい。 ・ ・	
	施設・設備等の管理	○司書教諭、学校図書館司書を中心に生徒が足を運びたい図書館運営 □校務PCの活用の推進、ペーパーレス化の促進、費用対効果のある予算執行 △	○コロナ禍における図書館司書と進めた図書館の活動 □体育館のエアコン工事を終え、次年度トイレ改修。費用対効果の検証結果を有効に活用 △	A A	・現状通り、今後も計画的に修繕等を進めて欲しい。 ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝中	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当事者意識の醸成</li> <li>○ミドルリーダーの育成</li> <li>○地域で子どもを育てる意識の醸成</li> </ul>	<p>○「すべては子どもたちの笑顔のために」各分掌における自分の役割を自覚をさせるとともに当事者意識を持たせると同時に、ミドルリーダーの育成を図る</p> <p>○地域で子どもを育てる意識を教職員に醸成し、定期的なレクリエーションや諸会議の開催など、PTA、地域、教職員間のコミュニケーションを活性化させ、コミュニティ・スクール設置に向けた準備を推進する。</p>	B  B  B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミドルリーダーの育成計画と達成状況を示してほしい。</li> <li>・当事者意識の醸成に関する具体的な方策を示してほしい。</li> <li>・PTA、同窓会、後援会とのコミュニケーションを密に、健全な組織経営を望む。</li> </ul>	6名
	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的、対話的で深い学びの視点による授業改善</li> <li>○タブレットPC等のICTを効果的に活用した授業展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業において見通しと振り返りの時間を確保し、各教科の「見方/考え方」をもとに生徒自身を考えさせ、協働させる場面を設定することで深い学びにつなげる。</li> <li>○GIGAスクール構想に伴うタブレットPCをはじめ、ICTを効果的に活用した授業を展開し、わかる授業の一助とする。</li> </ul>	B  B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Student Firstの教育で学力向上に邁進してほしい。</li> <li>・オンライン授業において、魅力ある授業ができるよう研修の充実を図ること。</li> <li>・生徒の個性を最大限に伸ばす教材の工夫をしてほしい。</li> </ul>	
	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動の積極的な発信</li> <li>○地域の力の活用（学校）</li> <li>○生徒の力の活用（地域）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本校の教育活動をHPや学校だよりを通じて適宜情報発信する。地域のHPとの情報連携、共有を図る。</li> <li>○学校行事に地域の力を積極的に取り入れ、教育活動の理解と協力をいただく場面を設定する。</li> <li>○地域の行事に生徒を積極的に参加させ、生徒の力を地域への還元する場面を設定する。</li> </ul>	B  B  B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地域と連携してオープンな芝中となるよう努めてほしい。</li> <li>・地域の力を取り込むことで、生徒が地域に貢献しようとする意識の醸成を図ってほしい。</li> <li>・生徒の地域での活躍の場を計画的に設定してほしい。（地域とのコミュニケーション）</li> </ul>	
	教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○服務規律の確立</li> <li>○専門性の向上</li> <li>○個に応じたスキルアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○倫理確立委員会を月2回実施し、教職員へ服務規律の指導を行い、服務の適正化と教職員事故防止の徹底を図る。</li> <li>○校内研修において、互いに授業を見合い、指導法の工夫、改善に努める。</li> <li>○自己評価シートと面談を通じて「個別の指導計画」を作成・活用し、授業観察や面談を適宜実施し、評価をフィードバックすること繰り返しながら教職員の育成を図る。</li> </ul>	B  B  B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芝中生の評判は教職員の努力の証。引き続き教職員の資質向上に期待します。</li> <li>・画一的ではない個性豊かな教員の育成に期待します。</li> <li>・日々努力されていることが伺えます。今後も教職員事故の防止の徹底に努めてほしい。</li> </ul>	
	施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的な点検による事故防止</li> <li>○地域の防災拠点としての機能向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内掲示物の充実を図るとともに、月1回の安全点検の確実な実施と管理職による1日2回以上の校内巡回で施設設備の不具合箇所の早期発見、早期対応で事故を防止する。</li> <li>○地域防災会議を開催し、必要事項の確認等、共通理解を図るとともに、防災拠点として必要な設備等について協議し、関係部局に提案等を行う。</li> </ul>	B  B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の安全確保のため、継続した安全点検、環境整備に努めてほしい。開校80周年に向け、老朽化した箇所の改修工事等を計画的に行ってほしい。</li> <li>・防災拠点として、地域との連携を密にして施設、設備の維持管理を徹底してほしい。</li> <li>・数年前に比べトイレがとてきれいになりました。</li> </ul>	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
元郷中	組織運営	○全教職員が働きがいを感じ、自己の職務を全うする一年にする。  □ △	○校長評価では働きがいのある職場に努めていたかの項目で100%であった。コロナ禍ではあるが、ベテラン、若手共に意欲的な姿勢であった。  □ △	A	・若手教員がよく頑張っている。教職員の情報共有も迅速な対応だった。今後もコミュニケーションを大切に進めてほしい。 ・ ・	6名
	教育課程	○学力向上重点支援校として課題を克服する。授業改善を全教科で取り組む。  □ △	○「授業のねらいとまとめ」の明確化は、校外指導者からも高評価を頂いた。学期末に実施したアクションリサーチの調査では、授業改善の成果が見られた。  □ △	A	・英語科の5ラウンドについては理解したが、他の教科の取り組みもしっかり行ってほしい ・ ・	
	開かれた学校づくり	○「できることから始めよう」の考えを持ち、生徒たちが地域の中で生活し、守られていることに気づかせる。 □学校と家庭の新しいチームワークの方法を提案実践する。 △	○町会集会では、生徒アンケートを実施し、一町会30分間の対面式集会を実施し、好評であった。 □PTA役員との懇談会の実施により、横の繋がりの希薄さや教育活動の維持の大切さがわかった。 △	B B	・町会集会の企画はよかった。ボランティアをやりたいという生徒が多かった。今後手伝ってもらいたい。 ・PTA役員の方は満足している。こういう機会を今後も企画してほしい。 ・	
	教職員の資質向上	○学年を超えた協力体制を取れるようにする。  □自己の立場に応じた職務遂行についてしっかり振り返りを行い、満足度を高める。 △	○職員室が明るくなった、学年の垣根がなくなってきた。などの評価が増えてきた。しかし、その逆の捉えをする教職員もまだおり、日常を大切にしたい。 □校長評価や学校評価でしっかり振り返りを行うことで、次年度の課題が明確になってきた。 △	B B	・学校に連絡できる保護者とできない保護者がいる。先生方には親身になって対応してもらいたい。 ・先生方の自主的なパトロールが素晴らしい。安心を形にしていると感じた。 ・	
	施設・設備等の管理	○安全の保障された教育環境を整備する。  □室内の学習環境の整備を確実にする。 △	○徹底した安全点検の実施から教職員の危機管理意識が高まってきた。安全確保に努め施設・設備の事故はゼロであった。 □市教委との連絡を素早く行ったことで、方策が見つかり対応もスムーズであった。 △	B A	・安全点検を確実に行ってほしい ・ ・	

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
上青木中	組織運営	○「凡事徹底」～当たり前前かがり前に行ける生徒・学校・教職員～の実践。 □生徒・保護者・地域から信頼される学校経営を行う。 △	○学年主任、分掌主任を中心に全教職員が共通理解の下、教育活動を展開することができた。 □コロナ禍ではあったが、学校行事等には、保護者の協力を得ながら実施できた。 △	A B	・学校の雰囲気がとても良い。 ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、学校行事を実施でき、良かったと思う。 ・	4名
	教育課程	○基礎基本の定着と学力の向上。 □通常学級と特別支援学級との連携。 △	○基礎学力テストを実施し、学力の向上を図ることができた。 □通常学級と特別支援学級との交流は体育祭などの行事において、実施できた。 △	A B	・学力向上のためには、基礎学力テストは有効に感じる。 ・ノーマライゼーションの理念に基いた教育を推進してほしい。 ・	
	開かれた学校づくり	○学校の情報の積極的な配信。 □地域の行事等への積極的な参加。 △	○HPの更新の頻度を上げ、新しい情報をアップした。 □コロナ禍のため、参加できる地域行事はなかったが、構内においてボランティア活動や挨拶運動等、意欲的に活動を展開できた。 △	B B	・HPの更新は良くされていると感じる。 ・地域のボランティアを活用した取組を行った方が良い。 ・	
	教職員の資質向上	○定期的な職員研修の実施。 □教員の授業力の向上。 △	○研修計画に基づいて効果的な研修を行うことができた。 □学力向上の研究の成果を生かした授業を展開することで、教員の授業力を向上させることができた。 △	A B	・若手研修は良い取組である。 ・カリキュラム・マネジメントを生かした授業ができています。 ・	
	施設・設備等の管理	○安心・安全な学校環境作りの実現。 □効果的な予算配分と会計監査の徹底。 △	○校舎内外の環境美化を徹底できた。また地域住民のボランティアにより、樹木の剪定や除草作業を大幅に行うことができた。 □学期に1回、会計監査を行い、適切に予算を執行させることができた。 △	A A	・今後も計画的に修繕してほしい。 ・教職員の不祥事を絶対に出さないでほしい。 ・	

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
幸並中	組織運営	<input type="radio"/> 若手、中堅職員の育成 <input type="checkbox"/> 不登校・いじめ対策等の推進 △	<input type="radio"/> 教職員組織の連携強化による若手諸君の育成の実現。生徒指導等の円滑な初期対応の実施 <input type="checkbox"/> 生活信条の具現化。不登校・いじめ対策に組織的・計画的に対応 △	B A	・効率的で機能的な分掌組織を引き続き構築する ・	4名
	教育課程	<input type="radio"/> 授業改善をふまえた学習意欲の向上と基礎学力の定着 <input type="checkbox"/> 健康教育の推進と体力向上 △	<input type="radio"/> 新教育課程に沿った、授業改善の実施と外国籍生徒への計画的、組織的な指導の実施 <input type="checkbox"/> 感染症対策下においた、健康教育の充実と実践 △	A B	・継続的に学校課題へ粘り強く取り組むことを望む ・	
	開かれた学校づくり	<input type="radio"/> 生活信条の浸透と特色ある学校づくり <input type="checkbox"/> 学校教育活動と地域諸団体との相互連携 △	<input type="radio"/> 学校HPの定期的な更新とメール配信システムの活用による積極的に情報の提供を実施 <input type="checkbox"/> 感染症対策により、町会の祭事・地域行事への生徒参加は来年度に引き継ぐ △	A D	・新設した学校HPの活用して感染症禍の教育活動の様子を定期的に配信を希望 ・	
	教職員の資質向上	<input type="radio"/> 学校課題、職員のニーズに沿った実践的・効果的な研修の実施 <input type="checkbox"/> 若手教員への計画的な研修の実施と育成 △	<input type="radio"/> 教職員のニーズに応じた、より実践的な課題についての研修の実施により資質・指導力の向上を図った <input type="checkbox"/> 指導課要請訪問を通じた、若手、中堅教員の授業力の向上 △	B B	・学力不振の生徒への対応の継続を希望。このことが教職員の授業力、指導力の向上につながると思う ・	
	施設・設備等の管理	<input type="radio"/> 日常の校内巡視と定期の安全点検の実施 <input type="checkbox"/> 会計事故防止に向けた、組織での確認と外部の監査 △	<input type="radio"/> 定期安全点検等による施設・設備の点検と改善 <input type="checkbox"/> 会計事故防止に向け、複数で確認、見届ける体制を構築する他、外部監査も行き管理職が見届けた △	A B	・感染症対策下の中、よく取り組んでいると思う ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標		年 度 評 価		
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
十二月田 中	組織運営	○伝統を引き継ぎながら風通しのよい組織づくり。  □ △	○伝統を継承しながら、新たな風を吹き込み、時代に即した組織を作り上げた。  □ △	B	・若手教員の増加傾向が感じる。一人一人の経験や実践は少ないが、古き良き伝統を重く受け止め、更に新しい風を吹き込み組織の活性化を図ってほしい。 ・ ・	8名
	教育課程	○生徒の不安を取り除き確かな学力を身に付けさせる。  □学校としての基本方針を明確にしていく。誰もがわかる・出来る授業を学校として統一していく。 △	○研修を通じて職員全体が、共通理解・共通意識のもとに、生徒に寄り添った授業を展開させることができた。  □タブレットを活用した授業を展開させ、個々の状況に応じた学習への参加を行った。 △	A B	・感染拡大防止を意識しながらの教育活動は制限も多く非常に厳しい現状であったが、学校が素早く対応し努力をしてくれたことに感謝。記憶に残る授業や学校行事の実施は内容の変更・工夫更に縮小をしても子供たちに感動的な体験を与えることは成長期に大きな意味。 ・	
	開かれた学校づくり	○今まで以上にHPやメール等を活用した保護者、地域への積極的な情報発信。  □ △	○HPを見やすくリニューアルした。 緊急保護者メールを活用し保護者へ積極的な情報発信を行った。  □ △	A	・ホームページやメールを活用しての情報発信が多くなった。学校の教育活動が見える化したことでご理解をいただいた。民生委員会議や学校評議員会さらに関係諸機関とのケース会議等を充実して開かれた学校づくりを今後も推進してほしいとのご意見を頂戴した。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○生徒を主体にした「主体的・対話的で深い学び」を実践させるための指導方法の工夫改善を行う。また、ICTを活用した魅力ある授業実践を進めていく。  □ △	○教科の特性に応じた補習授業や、ICTを活用した授業内容の工夫及びリモート授業の研修を実施した  □ △	A	・生徒理解やリモート授業の研修を更に充実させてほしい。生徒が悩んでいるのに対してどう対応するのかなど、早めの気づきが欲しい。さらにリモート授業では振り返り時間や質問時間の確保などの工夫があると効果的である。 ・	
	施設・設備等の管理	○整理整頓された、美しい校内環境の整備。  □安心・安全な学校作り。 △	○校内の環境整備については、全校で取り組んでいる。生徒の作品や学年の取り組み内容がわかりやすく掲示されている。  □危険箇所、修繕箇所の報告・連絡・相談の徹底。修繕箇所については放置せず報告。 △	A A	・体育館の老朽化に伴い立て替え及び大型修繕等の要望があった。特に、体育館は地域の活動の場や、災害時の避難場所としても使用され、とても重要な場所である。照明器具の落下等も心配されている。 ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
仲町中	組織運営	○教職員一人一人の考えや意見を生かしたP D C A サイクルの構築  <input type="checkbox"/> △	○新型コロナウイルス感染拡大防止対策やGIGAスクール構想など教職員一人一人の考えや意見をまとめ、学校組織として柔軟な取組ができた。  <input type="checkbox"/> △	A	・新型コロナウイルスの感染対策は、状況が常に変化するため、その時の状況を読みながら柔軟な対応が必要である。また、G I G Aスクール構想においても学習アプリの活用やG I G A端末の使用におけるルールなど柔軟な対応がこれからも必要になってくる。 .	4名
	教育課程	○新学習指導要領を踏まえた教育活動の実践 ・主体的な学習活動 ・指導と評価の一体化  <input type="checkbox"/> △	○主体的な学習活動については生徒が意欲的に取り組んでいた。しかし指導と評価の一体化について取組や検証が不十分であった。  <input type="checkbox"/> △	B	・指導と評価の一体化の実践を目指し、学校全体での研修会など積極的に行っていくことが望ましい。また、新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に入れた教育課程の編成も必要となる。 .	
	開かれた学校づくり	○外国籍生徒の学習及び進路指導の支援と保護者との連携など多様な対応 （日本の学校文化や進路計画など共通理解）  <input type="checkbox"/> △	○外国籍生徒（日本語がままならない）の取り出し授業については、柔軟に対応できたが、多文化共生へ発展的な取組はまだ不十分な部分があった。  <input type="checkbox"/> △	B	・外国籍生徒への学習の支援として、P T A、地域の方の協力体制を整えるため、協力者の情報提供を今後も行っていく。新型コロナウイルスの影響で地域と学校の交流がなかなかできない状況であるため、学校ホームページの充実を図ることが必要である。 . .	
	教職員の資質向上	○授業力の向上（教材の読み込み、ファシリテーション力の向上、端末の活用）  <input type="checkbox"/> 教職員事故ゼロへの研修の充実 △	○教材の読み込みなどすべての教員が熱心に取り組むことができた。また生徒たちとの信頼関係を創りながら授業力を向上させていた。  <input type="checkbox"/> 研修を計画的に実施できた。 △	B	・G I G A端末を活用した授業が多くなってきており、今後さらに充実した授業を期待する。 ・教職員事故ゼロを掲げ今後も充実した研修会を実践していく .	
	施設・設備等の管理	○危険箇所の早期発見と早期改善（計画的な予算執行）  <input type="checkbox"/> GIGAスクールの短期・中期・長期的な構想の構築 △	○計画的な修繕、予算執行を行うことができた。  <input type="checkbox"/> 計画的に取り組むことができた。 △	A	・プールの改修工事が終了し次年度は使用可能となるが、プールの水(防火水槽)を活用した地域合同の防災訓練など今後検討していきたい。 . ・G I G Aスクール構想の展開などP T A、地域に積極的に情報発信していきたい。 .	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
安行中	組織運営	○学校運営への参画意識の向上  □組織的な対応	○教職員アンケートの結果から、報告・連絡・相談・確認は、ほぼ達成できたと判断している。 □教職員アンケートの結果から、組織的な対応は、ほぼ達成できたと判断している。	A A	・不登校の数値にこだわらず、個に応じた対応を行っていただきたい。  ・授業を変えることで学力を上げて欲しい。  ・学び合いを取り入れた授業を行って欲しい。 ・基礎・基本の定着を図る授業を展開して欲しい。  ・学校・家庭・地域との三位一体となった取組を大切にして欲しい。 ・社会に役立つ人材や強い心を持った生徒を育成して欲しい。	10名
	教育課程	○新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の着実な展開  □学校教育目標の具現化	○教職員アンケートの結果から、学び合いやICTを活用した授業の展開は、概ね達成したと判断している。  □学校教育目標の達成には至っていない。	B B		
	開かれた学校づくり	○学校への信頼の向上  □地域と連携した諸活動を通じた地元を大切にする心の育成	○学力向上の取組の周知不足は反省点である。  □コロナ禍で、地域との連携活動が十分にできなかったことは残念であった。	B B		
	教職員の資質向上	○指導力の向上  □負担軽減の取り組み	○教職員アンケートの結果から、指導力の向上はほぼ達成できたと判断している。 □1学期に負担軽減検討委員会を立ち上げ、2学期から実施している。	A A		
	施設・設備等の管理	○安心・安全な学校づくり  □計画的な修理・修繕	○安全点検を通して、修理・修繕箇所を素早く発見し、迅速に対応した。 □保護者アンケートの結果から、施設・設備の整備は、ほぼ達成できていると判断している。	A A		



学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝東中	組織運営	<input checked="" type="checkbox"/> 明確な目的意識を持った教育活動の実践 <input type="checkbox"/> 学校運営参画意識の向上による組織の活性化 △不登校生徒の解消	<input checked="" type="checkbox"/> 企画委員会のメンバーによる積極的な働きかけにより学校課題への組織的な対応が実現 <input type="checkbox"/> 学校運営に意欲的に参画した教職員の割合80% △関係諸機関との連携を図りながら、不登校生徒の割合5.7%	B B B	・学校運営が、教職員・生徒・保護者（PTA）の三者が一体となって上手に運営されている様子が窺える。 ・先生方のご苦労に敬意を表す。今後も芝東中に期待している。	6名
	教育課程	<input checked="" type="checkbox"/> よい授業、よいクラス、よい学びの実践と基礎学力の定着 <input type="checkbox"/> 各種調査に基づく課題把握・実効性のある解決策の実践 △家庭学習の定着	<input checked="" type="checkbox"/> 生徒評価「わかる授業の実施」93% <input type="checkbox"/> 県学力学習状況調査（英数国）…平均（県・市の平均より下回る）、学力を伸ばした割合（中1・3英数国・中2英数、県より上回る）。各教科具体的な改善策の検討。 △県学力学習状況調査…家庭学習の時間（2時間以上）県と比較し、1年・2年はほぼ同等、3年は下回る	B B B	・学力向上は芝東中学校区の喫緊の課題である。9年間を見据えた指導の在り方を追求する。 ・生徒の学力も微増ではあるが向上している。	
	開かれた学校づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 学校だよりの充実、学校ホームページの定期的更新 <input type="checkbox"/> 学校運営協議会や学校応援団等の充実 △家庭・地域との連携を図った教育活動の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 生徒の活躍や活動の様子が見える広報活動の工夫 <input type="checkbox"/> コロナ禍の中、可能な範囲で実施 △コロナ禍の中、可能な範囲で実施	A B B	・子供達が、健やかに成長できるよう、これからもお願いしたい。	
	教職員の資質向上	<input checked="" type="checkbox"/> 人事評価制度等を活用した指導力の育成 <input type="checkbox"/> 小中連携の取組の充実 △研修の充実と校内倫理確立委員会の活性化	<input checked="" type="checkbox"/> 管理職の教室訪問や市教委等の訪問による指導・助言 <input type="checkbox"/> 通学区内小学校3校との連携（校長による定期的会議、算数・数学検定実施、夏季休業中の教職員研修は緊急事態宣言で中止） △計画的に不祥事防止研修プログラムや実効性のある生徒指導・教育相談研修の実施	B B B	・コロナ禍、先生方の創意工夫ある授業がある。	
施設・設備等の管理	<input checked="" type="checkbox"/> 計画的な施設改善の取組、危険個所への迅速な対応 <input type="checkbox"/> 計画的・組織的な安全点検の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者プラス評価86%。学校周囲の樹木の大規模剪定・伐採、体育館エアコン設置を市教委と連携して実施 <input type="checkbox"/> 管理職は毎日、教職員は定期的実施	A B	・校舎・設備は、適切な環境が保たれている。		

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標		年 度 評 価		
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝西中	組織運営	<p>○すべては子どものために・笑顔と感謝あふれる学校」の実現、学校経営に参画する教職員の育成</p> <p>□</p> <p>△</p>	<p>○学校経営方針の理解と適性を活かした分掌配置ができ、教職員からの提案も積極的に採用。参画意識は90%達成。</p> <p>□</p> <p>△</p>	A	<p>・教職員が一体となって組織として取り組んでいることがよくわかる。</p> <p>・生徒数減少を見据え、部活動数の縮小、教員の適正配置等、前向きに改善に対応する姿勢は素晴らしい。</p> <p>・</p>	10名
	教育課程	<p>○生徒が楽しい授業、わかる授業、学びが広がる授業の展開</p> <p>□ I C Tを使った授業の実施</p> <p>△ 3 観点での評価・評定研修の実施</p>	<p>○生徒アンケートで「楽しいわかりやすい」の回答は80%を超え、「もっと知りたい」は73%。</p> <p>□タブレットの研修及び、I C Tを使ったオンライン授業を、全教職員が実施。</p> <p>△評価・評定の研修の計画的に3回実施。</p>	B A A	<p>・楽しいわかる授業に、80%の生徒が満足できているのは素晴らしい。また68%の保護者がわかりやすく教えていると答えているのは素晴らしい。</p> <p>・オンライン授業の実施など、コロナ禍に対応していただき、ありがたい。</p> <p>・</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○学校・家庭・地域が連携し、互いが役割を明確した生徒支援体制の構築</p> <p>□ホームページ等を活用した教育活動の積極的な発信</p> <p>△</p>	<p>○芝西中ブロックでの小中連携は、未実施。</p> <p>□ホームページ等を活用した教育活動の発信のプラス評価は85%。</p> <p>△</p>	C A	<p>・小中連携の形態を考えて実施する方法をお互いに考えていきたい。</p> <p>・コロナ禍により、様々な活動が制限される中、HPを活用して積極的、タイムリーに情報を発信されよかった。</p> <p>・親しみあふれる、地域に愛される明るい学校になっている。</p>	
	教職員の資質向上	<p>○法令を遵守し、不適切な言動・行動による教職員の事故ゼロ</p> <p>□生徒を成長させるために、自己指導力を改善、高めていく教職員の育成</p> <p>△</p>	<p>○率先した挨拶を実施している教職員は86→80%、保護者がコミュニケーションがとりやすいと感じている教職員は76→73%。</p> <p>□短時間の不祥事防止研修を毎月実施し、教職員の当事者意識がさらに向上。</p> <p>△</p>	C A	<p>・学校評価教師集計で「わからない」とする理由を把握し、改善してほしい。「あいさつ」は小学校でも課題となっている。小中で連携し、改善していきたい。</p> <p>・芝西中の職員であることを誇りとして教育にあたる、そのような教員を育ててほしい。</p> <p>・</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○生徒の安全・安心を第一に考え、教育施設の瑕疵による事故ゼロ</p> <p>□教育活動の充実のための管理と適切な予算運用</p> <p>△</p>	<p>○施設設備の瑕疵による事故0件。熱中症による病院対応50件。教育活動中の怪我等の事故が17→23件。</p> <p>□事務職員と学年・教科主任、部活動顧問等と連携した予算執行により、会計事故ゼロ。</p> <p>△</p>	B A	<p>・施設設備の老朽化が懸念されるが、生徒が安全に教育を受けられる環境づくりを、教職員の共通理解のもと、引き続き取り組んでほしい。</p> <p>・会計に関しては、万全の体制で取り組んでおり、今後も絶対に事故を起こさないという気持ちや姿勢で執行してほしい。</p> <p>・</p>	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
岸川中	組織運営	<input type="checkbox"/> 分掌組織の部分的改変  <input type="checkbox"/> 規約集を編纂し、会議等の効率化を図る。  △次年度の経営方針作成用に、分掌の部、委員会からの報告を受ける。	<input type="checkbox"/> 廃止、統合分掌を主として改変できた。同時にICTに係る新たな分掌も新設した。  <input type="checkbox"/> 規約集編纂の目途が立ち、諸会議での活用が期待できる △コロナ禍で、すべての数値報告を受けることができなかった。	A A B	・大幅な人事異動があった中で早期に体制を確立し、重点目標を達成したことへ感謝する。課題である人材育成については次年度も引き続きお願いしたい。 ・教職員数減、業務量増大の中、運営方法を明確にし、出来るか以前から取り組んでほしい。 ・	9名
	教育課程	<input type="checkbox"/> 学力の向上 3年生 校長会テスト平均点以下47%以下  <input type="checkbox"/> 体力の向上 3年生 新体力テスト C+D+E級43%以下  △GIGA PCを活用した授業実践	<input type="checkbox"/> 数値目標 47%以下52.3→51.4→50.0%で推移  <input type="checkbox"/> 新体力テスト 目標値 43%以下 結果 34.4%でクリア  △全員がGIGA PCを使ったりリモート授業を行えるようになった。	B A A	・P Cを活用して不登校生徒の授業参加につなげたのは素晴らしい。一方で先生方が異なる仕事で多忙となることを懸念している。 ・P Cを用いることで指導法が大きく変わり、それが生徒や先生方のやる気や学力、体力向上につながると信じている。 ・P C活用で学力の個人差が出やすいと懸念。伸びる生徒を伸ばすことからの波及効果で全体の学力向上につなげてほしい。	
	開かれた学校づくり	<input type="checkbox"/> コミュニティスクールの組織の活用  <input type="checkbox"/> メールとHPのリンクによる情報発信 300人/日  △進路情報等のHPへの掲載	<input type="checkbox"/> コロナ禍において、十分な活動ができなかった  <input type="checkbox"/> 約690人/日の閲覧者数を得ることができた。  △該当する学年以外の閲覧者を得て、広く教育活動を広報することができた。	C A A	・生徒がボランティアに参加できる日を楽しみにしています。 ・コロナ禍で保護者が学校離れにならない工夫をお願いします。 ・50周年という大きな節目。学校と地域が一つになって盛り上げていきたい。	
	教職員の資質向上	<input type="checkbox"/> 校務分掌を多岐にわたって経験させる  <input type="checkbox"/> 計画的なミドルリーダーの育成  △ベテランの中堅・若手教員への支援	<input type="checkbox"/> 校務分掌の本格的な振り分けは次年度から実施  <input type="checkbox"/> 中堅を講師とした研修会の実施  △管理職をはじめとした若手を対象とした研修会の実施	B A A	・広い見識を得るため企業等のセミナーに参加することは有意義である。 ・生徒のボランティアと共に、教員も地域と関わりを多く持つことが資質向上につながると思う。 ・下校時の様子から先生方が生徒指導に熱心であることが伺える。素晴らしい。	
施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 長期工事計画の再考  <input type="checkbox"/> コロナ禍に対応した特別教室の整備  △安全点検実施率100%と教職員による小破修繕	<input type="checkbox"/> 武道館の屋根修繕は申請できたが、プレハブ（卓球部活動場所）の案件が残った。 <input type="checkbox"/> GIGA PCの利用範囲の関係で十分に進めることができなかった △コロナ禍で、清掃までしかできなかった。	B C C	・先生方の通勤や給食配送などが生徒と同じ正門から車が入ることは危険を感じる。裏門の実現が望まれる。 ・施設改善計画に生徒の意見も取り入れ、楽しく安全に通える学校づくりを望む。 ・修繕に関する補助金がつくとよい。正門以外に車の出入りできる門の設置が望まれる。		

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
榛松中	組織運営	○組織力の向上  <input type="checkbox"/>  △	○教職員が一丸となった学校経営を実現  <input type="checkbox"/>  △	B	・若手とベテランの相互の関係が良好な組織であってほしい。 ・共通理解・共通行動を教職員が一丸となり組織的な学校経営ができたのならば達成度はAでよいのでは。 ・	7名
	教育課程	○指導法の改善  <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びの研究推進  △	○県学力状況調査の分析結果に基づいた指導改善の実現  <input type="checkbox"/> コロナ禍において「主体的・対話的で深い学び」の実現困難  △	B  B	・学力の向上は榛松中の一番の課題である。引き続き授業改善をお願いしたい。 ・日々の地道な対応を期待。管理職による教室訪問は非常に良い。 ・	
	開かれた学校づくり	○情報発信を積極的に進め、保護者・地域の協力体制を強化した教育活動の推進  <input type="checkbox"/> 保護者や地域の教育力向上を促進した教育体制の確立  △	○学校ホームページの適宜更新  <input type="checkbox"/> コロナ禍の影響で地域行事やPTA行事があまり実施困難  △	B  B	・今年度も地域の方々が学校を訪問したり生徒が地域の行事に参加する機会が無く、元気な生徒達の様子を拝見することができなくてとても残念だった。 ・学校、地域、保護者との連携を深めることは引き続きお願いしたい。 ・	
	教職員の資質向上	○授業の質を高める研修・研究をととして、教師力の向上  <input type="checkbox"/> 若手教員の指導力の育成  △	○外部指導者を招聘し研究授業の実践  <input type="checkbox"/> 計画的な若手教員への指導  △	B  B	・先生方一人一人のレベルアップが生徒・学校のレベルアップにつながると思う。 ・惜しみなく先生方のノウハウを共有してほしい。 ・	
	施設・設備等の管理	○生徒たちの学校生活の安全を確実に保証  <input type="checkbox"/> △	○必要な修繕は適切に実施  <input type="checkbox"/> △	A	・創立40余年で修繕が必要な箇所も多々あり、予算との兼ね合いも難しいと思いますが、事故が起きる前に修繕が適宜おこなわれるようお願いしたい。 ・ ・	

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
小谷場中	組織運営	<input type="checkbox"/> 臨機応変に対応できる組織的な教育活動を推進 <input type="checkbox"/> 各分掌、各主任を核として、実践的な取り組み △	<input type="checkbox"/> コロナ禍における臨時的、臨機応変な対応で適時適切な対応により効果的な結果を得た <input type="checkbox"/> 企画段階から相談し、組織的で柔軟な対応を実施できた △	A A	・相談室、ステップルームの雰囲気がよく生徒が安心して学習活動をしている姿を今後も継続してほしい ・ ・	6名
	教育課程	<input type="checkbox"/> 学習の基礎基本の定着、学力向上 <input type="checkbox"/> 年間を見通した授業内容の精選、授業展開 △限られた時間内での部活動の充実	<input type="checkbox"/> 学習時間の確保に積極的に努めてきた <input type="checkbox"/> 行事等の規模縮小、形態変更を適切に進めることができた △貴重な部活動時間を内容を見直し、効果的に進めることができた	B B B	・部活動は学ぶことも多いので、今後も継続して子供たちの指導をお願いしたい ・家庭学習の効果的な時間活用、取り組み方について、今後も指導を継続する ・	
	開かれた学校づくり	<input type="checkbox"/> 地域の中の学校を意識した地域連携の充実 <input type="checkbox"/> 学校運営協議会の充実、魅力的な学校づくり △	<input type="checkbox"/> コロナ禍における行事の規模縮小、交流制限の実施となったが、HP、通信等により最大限の情報発信に努めた <input type="checkbox"/> 組織の維持は継続しており、今後の状況好転に向け準備を進めてきた △	B B	・アンケート結果からも保護者の信頼を得ていることが伺える ・学力向上、生徒指導に関して、今後も継続指導をお願いする ・	
	教職員の資質向上	<input type="checkbox"/> 生徒一人一人に寄り添った教職員の支援 <input type="checkbox"/> 教職員の力が発揮できる明るい職場づくり △高い危機管理意識を持った脅威職員の育成	<input type="checkbox"/> 生徒指導委員会、学年会等により生徒の支援について個別最適な対応に努めた <input type="checkbox"/> 可能な限りの負担軽減に努めつつ、生徒、家庭との協力連携した活動を進めた △報道事件事故等の実践事例を踏まえた臨時的単発短時間の研修を継続してきた	B A A	・ステップルームが効果的に活用されており、今後も継続をお願いする ・ステップルーム担当、相談員、教員の指導の方向性を揃え、連携し上手に活用してほしい ・ ・	
	施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 校舎内外の潤いのある環境づくり <input type="checkbox"/> 教育活動充実のための施設設備管理 △	<input type="checkbox"/> 活動制限の中で、地域・保護者との作業を協働して進めることをしてきた <input type="checkbox"/> 費用対効果の検証を進め、教職員の教育予算の意識化ができた △	A A	・定期的、計画的に校内外の美化活動の推進を望む ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
神根中	組織運営	○教職員一人一人が参画意識を持ち、学校全体の組織力を高める。 □ △	○コロナ禍の中、コロナの対応と実施できた学校行事など、教職員一丸となって取り組むことができた。 □ △	A	・コロナが収束して、学校と組織的な交流が図られると良い。 ・ ・	5名
	教育課程	○コロナ禍における生徒の心の醸成に繋がる行事を生み出す。 □ △	○体育祭や学年別合唱コンクールなど、各行事は縮小したけれども、その中で生徒の心に残る行事を実施できた。 □ △	A	・初めて中学生の合唱コンクールに参加させていただき、とても感動した。学校行事を通して、心の育成が図られている。 ・ ・	
	開かれた学校づくり	○学校の教育活動を知っていただく機会を設定し、連携を図る。 □ △	○3学期以降、学校ホームページの配信を積極的に行い、一日平均3回以上の更新を行うことができた。閲覧数も飛躍的に伸びた。 □ △	A	・ホームページで、いろいろな学校の様子が分かる。情報発信を続けてほしい。 ・ ・	
	教職員の資質向上	○研修等の内容を実態に合わせて実施し、教員の授業力を時代に合わせたものに向上させる。 □ △	○道徳授業研究を始め、指導者を招聘した授業研究会を計画的にできた。指導と評価の一体化を図る研修や情報提供は不十分だった。 □ △	B	・いろいろな家庭があり困難であると察する ・ ・	
	施設・設備等の管理	○計画的な予算執行を行い、安全対策を中心に管理を進めて行く。 □ △	○学校配当予算およびコロナ臨時対策配当金を適切に運用できた。 □ △	A	・施設の改修が進めば、生徒にとっての安全・安心が増えると思われる。 ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
頌家中	組織運営	○目指す学校像の具現化に向けた教職員一人一人の指導力の育成と学校運営への参画意識の高揚  □ △	○職員会議を始めとする諸会議をとおし、学校経営方針の浸透が図られた。意識格差も残る。管理職の率先垂範により、教職員の目指す学校像への前向きな取組の増加  □ △	B	・チーム力が低下することなく取り組んでいる。生徒への対応能力に格差なく、担当の個性も見据えて、チームの何を補強すべきかの確かな判断を。  ・ ・	7名
	教育課程	○研究委嘱に向け、学校訪問・校内研修の充実と指導方法の工夫改善、生徒が意欲的に自己を表現する授業づくりの充実  □ △	○コロナの影響による活動の制約、研修計画・授業実践の遅れ。学校行事においては、可能な限り生徒の主体性が発揮できる機会の設定  □ △	B	・工夫を凝らした取組、教職員の指導力の高さを感じる。タブレットの十分な活用と、GIGAスクール構想の取組強化で地域No.1を。  ・ ・	
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会をとおし、コロナ禍における学校の在り方の検討、地域に根差した学校づくりの推進、家庭・地域との関わりの進化  □ △	○学校公開、保護者の参観する機会の増加。学校だよりの紙面の充実、学校の様子を家庭・地域に周知。感染防止対策についてはHPやメールの活用の徹底  □ △	A	・学校行事が中止や延期になる中での様々な工夫・取組を高く評価。地域に対して折々に情報開示があり、安心できる。これからできることを共有し新しい関係性の構築を望む。  ・	
	教職員の資質向上	○生徒同士の「認め合い、高め合い、伝え合う」指導ができる教員の資質向上。保護者・地域から信頼される教職員の育成と教職員事故防止の徹底  □ △	○学校訪問、授業参観を通じた教員の授業改善、指導力の向上。職員会議、校内研修での教職員事故防止に向けた定期的な研修。教育公務員としての意識向上  □ △	B	・教職員として最も大切な人間性を高めることで、若手のみならず全教職員の資質向上の望む。風通しの良い職場環境づくりと事故防止に向けた管理職の一層の努力を期待する。  ・	
	施設・設備等の管理	○年間計画、指導計画に基づいた実践的な安全指導の徹底。生徒の危険回避能力と教職員の危機管理意識の向上  □ △	○職員会議、校内研修をとおした教職員の危機管理意識の高揚。感染防止に対する優先的な対策と安全管理の徹底・環境整備の充実  □ △	A	・校内の整理整頓、清掃が行き届いている。安全管理も注意が払われている。施設の老朽化に伴う時代にそぐわない物を研修する必要性を感じる。  ・ ・	

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員		
		年度目標	年度評価					
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度				
戸塚中	組織運営	○教職員一人一人の職務能力の育成する	○事前相談は徹底でき、教頭からの適切な指導により、教職員の育成と円滑な学校運営が行われた。教職員評価「役に立っている」、「活躍できている」昨年度比13ポイントアップ。 □リーダーの育成と組織力を向上させる △保護者・地域から学校への信頼を回復する	○コロナ禍にあり、一部活動が制限された。 □生徒評価で「教え方を工夫している」昨年度比7.4ポイントアップ。 生徒評価で「授業がわかりやすい」昨年度比5.6ポイントアップ。	A	・学校の努力が感じられる。 ・教職員の心の健康についても配慮してほしい。 ・働き方改革を推進してほしい。 ・学校の努力が感じられる。 ・ギガパソコンを活用した授業を推進してほしい。 ・今後も努力してほしい。 ・今後も努力してほしい。 ・今後も努力してほしい。 ・トイレ清掃などの取り組みが協力して取り組んでいきたい。 ・学校が一人一人の生徒を見ていることを伝えてほしい。 ・保護者評価からも、頑張りが感じられる。 ・保護者評価からも、頑張りが感じられる。 ・学校の雰囲気来年度にも伝えてほしい。 ・市に感謝し、過去を振り返ることを忘れずに取り組んでほしい。 ・今後も努力してほしい。	7名	
		□リーダーの育成と組織力を向上させる			△学校評価で昨年度比6.7ポイントアップした。			A
		△保護者・地域から学校への信頼を回復する			△学校評価で昨年度比6.7ポイントアップした。			B
	教育課程	○教科書改訂による指導内容の系統性と内容を定着する	□主体的で今日的な学習活動を実践させる △学習内容を定着させ、一人一人の学力を向上させる	○コロナ禍にあり、一部活動が制限された。 □生徒評価で「教え方を工夫している」昨年度比7.4ポイントアップ。 生徒評価で「授業がわかりやすい」昨年度比5.6ポイントアップ。	A			
		□主体的で今日的な学習活動を実践させる			B			
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会の定期的な開催を目指す	□学校運営協議会の活動内容の方向性を示す △学校の情報を保護者・地域に積極的に提供する	○コロナ禍にあって、年3回実施できた。 □コロナ禍による活動の制限が多かった。 △保護者メールの活用はできたが、学校ホームページの更新に課題があった。	B			
		□学校運営協議会の活動内容の方向性を示す			B			
△学校の情報を保護者・地域に積極的に提供する		A						
教職員の資質向上	○研修を充実させ、自ら力量を向上させる	□実際に分掌等の仕事を通して経験を積ませる △ベテラン教職員豊かな経験を生かす	○多くの校内研修を実施することができた。 □自分が初めて担当する分掌も、管理職や同僚と協力しながら取り組むことができた。 △管理職がつなぎ役となり、再任用教員等の経験を若手に伝えることができた。	B				
	□実際に分掌等の仕事を通して経験を積ませる			A				
	△ベテラン教職員豊かな経験を生かす			B				
施設・設備等の管理	○修繕箇所を素早く把握する	□GIGAスクール構想に基づく授業を充実させる	○多機能トイレや女子トイレの洋式化、特別支援学級シャワー、ソフトボールバックネット等の改修を行うことができた。 □分散登校を契機に全教員がオンライン授業を実施し、GIGA端末使用に取り組めた。	A				
	□GIGAスクール構想に基づく授業を充実させる			A				



学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
在家中	組織運営	○学校教育目標の具現化に向けて教職員が一丸となって取り組む □教職員間でコミュニケーションをとり諸課題について課題を明確にする △	○各組織を機能させ、見通しある教育活動ができるようにする □「挨拶のできる」「清掃活動が行き届き」「生徒会活動が活発」をスローガンに取り組む △	B B	・学校は全体的に落ち着いて教育活動が実施されている ・生徒会活動、専門委員会を通して、生徒の主体性の伸ばす ・	4名
	教育課程	○潤いのある学校づくりを推進 □教職員間でコミュニケーション △	○学習指導要領を受け、3つの観点別評価について □新型コロナウイルス感染拡大防止対策 △	B B	・生徒一人一人の伸びを確認し、学力向上の対策を進めてほしい ・感染症の拡大防止をしながら、「新しい生活様式」を受けて教育活動をしてほしい ・	
	開かれた学校づくり	○小学校と連携し義務教育9年間 □社会に開かれた教育課程の実現 △	○中学校の職員が小学校の授業のチームティーチングとして参加する □学校運営協議会では、地域との連携と校則について検討 △	A A	・オンライン会議を活用した研究協議は有効であった ・学校運営協議会では、本校の歴史と実績を振り返る ・	
	教職員の資質向上	○学力向上に向けて、基礎基本の徹底 □生徒自ら進んで学ぶ態度の育成 △	○数学の基礎基本の定着に向けて取り組み □ICT活用を活用しながら分かる授業の研究 △	B B	・学力向上の具体策を練り上げてほしい ・未来の教室のあり方について研修してほしい ・	
	施設・設備等の管理	○生徒の活動の場を優先し、教育環境の整理整頓をする □施設・設備の有効活用と危機管理意識の啓発・継続・徹底をする △	○修繕の優先が明確となった。教職員で対応できることは自らの手で修繕した □安全指導の年間計画に避難訓練を位置づけ実施 △	B B	・安心安全な学校とはどのような学校なのか考えさせる必要がある ・本校の避難所開設に伴うバックアップ体制を事前に確認する必要がある	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
安行東中	組織運営	<p>○学校運営に関わる課題の発見と、改善に向けた協働を通じた教職員の校務に関する自己実現。</p> <p>□支援が必要な生徒の改善率を70%以上の達成。</p> <p>◇具体的な対策を更新したり、充実の工夫をしたりし、安心安全な学びを保障する △具体的な対策を更新、充実の工夫による、安心安全な学びの保障。</p>	<p>○管理職や主任の積極的な関わりにより、学校運営に関わる諸課題に対する協働的な改善の実現。</p> <p>□支援開始時と比較した状況改善又はその兆しが見られるようになった生徒の割合約60%達成。</p> <p>△随時、感染対策や学びの保障について具体的な策を教職員へ周知徹底。安全安心な学校運営を協働的に実現。</p>	B  B  A	<p>・新型コロナウイルスにより運営活動が制限されている中、目標・課題に対して最大限の努力をされている感じがします。</p> <p>・今までと違った環境下でご苦労も多かったことと思います。一小一中と特殊な関係ですのでより一層連携を深め、子供達の為に一層のご尽力をお願いします。</p> <p>・コロナ禍で運営が難しいなか、先生方が連携して組織運営を進めていらしたように思います。</p>	3名
	教育課程	<p>○学習意欲の向上をうながす授業改善の研究と授業実践の推進。</p> <p>□評価方法の研究と授業実践の推進。</p> <p>△小中の中・長期的なスパンによる連携。</p>	<p>○コロナ対策による制限に応じた授業スタイルの検討及び実践。</p> <p>□新学習指導要領に沿った評価方法、総括の仕方等の研究及び実践。</p> <p>△主に学力向上に関わる小中連携について準備を推進。</p>	B  B  B	<p>・オンライン授業への対応は今後も必要かと思えます。小学校との意見交換等の連携を充実させ小中学校共に学習意欲の向上を目指して欲しい。</p> <p>・</p> <p>・一小一中というメリットを最大限に活かし、課題や情報を共有し、児童生徒に寄り添った教育を今後も強化し継続して下さい。長期的に考える小中連携を期待しています。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○学校ホームページのリニューアル。</p> <p>□より効果的な情報発信ができる体制の確立。</p> <p>△より効率的な情報収集と検証ができる体制の確立。</p>	<p>○学校ホームページのリニューアルを実現。見やすさ、更新のしやすさなどを改善。</p> <p>□情報発信のねらいに応じた内容整理と発行の実践。</p> <p>△新しい学校評価の質問内容案の立案。</p>	A  B  B	<p>・学校だより、見やすく、わかりやすく作成されました。学校ホームページのスマホ対応が課題。</p> <p>・学校公開ができていく状況ですが、HP、通信、掲示板等を積極活用し、情報発信することで学校の様子を知ることができている。</p> <p>・</p>	
	教職員の資質向上	<p>○授業力向上を図るための学びあい・高めあいの実施。</p> <p>□教育公務員としての自覚を高めるとともに、心身ともに健康な教育集団への醸成。</p>	<p>○一人、年2回の指導者の招聘、コロナ禍に対応した授業改善に向けた協働により、授業力向上を実現。</p> <p>□計画的な研修を通して教育公務員としての自覚を高め、業務改善会議を開き、業務改善の取組などの検討と意識向上を推進。</p>	B  B	<p>・熱意ある教職員が多いと思えます。もっと増えてくれることを期待しています。</p> <p>・全国的にメンタル面で辛い思いをしている教職員が多いと聞きますが、無理せず自身を大切に、今後も指導をお願いします。</p> <p>・</p>	

令和3年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
	施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 教職員・生徒ともに安全で安心できる人的・物理的な危機管理意識の向上。  <input type="checkbox"/> U Dに配慮した人にやさしい教育環境の整備と安全管理の徹底。	<input type="checkbox"/> 組織的な施設・設備の定期的な安全管理や教育活動の在り方について不断の見直しを行い、生徒とともに危機管理意識の向上を実現。  <input type="checkbox"/> U Dに配慮した教室環境の整備に向けて立案。	A  B  .	・限られた予算内で本当に工夫されている。安全安心に学校生活を送れる設備の充実に協力したい。学校、家庭、地域が意見を出し合い、優先順位を明確にし、整備を進めて下さい。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成 度		
戸塚西中	組織運営	○「笑顔で挨拶ができる」と思っている生徒・教職員の割合90%以上。 <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	○生徒自己評価77.5% 教職員評価（対生徒）91.0% 教職員評価（教職員間）78.0% <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	B	・登下校中など、生徒は地域で、よく挨拶している印象を受ける。 ・教職員間の挨拶が前後期で65%から78%と13ポイント上がっていることは評価できるが、改善の余地がある。	5名
	教育課程	○生徒にとって魅力ある授業の実践。（達成率95%以上） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○生徒評価96.3% <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	A	・授業の満足度が高く、学力にも表れているようであるが、満足していない生徒の状況を把握し、誰一人取り残さないという視点で授業改善していく必要がある。	
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会の計画的推進。（達成率70%以上） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○委員評価68.0% <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	B	・コロナ禍のため、地域と学校の取組を実績として残すことは難しかったが、今後に向けた準備や計画を進めることができた。 ・来年度以降、協議した内容を実際の地域学校協働活動につなげていくことが重要である。	
	教職員の資質向上	○教職員事故0の達成。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○教職員事故0を達成したが、保護者評価において指導に関する意見があった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	B	・事故0を達成したことは評価できる。 ・保護者からの様々な意見は生徒と教員の相性もあるのではないかな。	
	施設・設備等の管理	○施設・設備事故及び会計事故0の達成。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	○施設・設備事故及び会計事故0を達成したが、定期の安全点検に課題があった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	B	・学校は災害時の避難場所になるので、雨漏り等の原因をしっかりと調査し、継続した改修をお願いしたい。	

学校名	領域	学校（幼稚園）自己評価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年度目標	年度評価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
鳩ヶ谷中	組織運営	<p>○自分の仕事に責任を持って取組むとともに、和の精神を重んじて学校運営に貢献する意識を高める。</p> <p>□若手教職員が意欲と当事者意識を高く持ち、学校運営に対する参画意識の高揚を図る。</p> <p>△</p>	<p>○各校務分掌において各々が責任をもって企画から運営までを行い、学校全体を組織として高めることができた。</p> <p>□校長が中心となり教職経験5年目以下の教員を対象に校内研修を行うことにより、高い意識をもって学校運営に参画できるようになった。</p> <p>△</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・経験年数に応じたミドルリーダーを育成させていく方法に具体的な視点をもち多くのリーダーを育成してほしい。</p> <p>・ミドルリーダーの育成は、学校組織を充実させるとともに生徒の徳力、学力向上に結び付いてきますので、積極的に取組んでほしい。</p> <p>・</p>	11名
	教育課程	<p>○生徒の実態とその背景を把握し、学習指導要領の趣旨を踏まえた教科・領域指導を推進する。</p> <p>□生徒が主体的に取組む教育活動を展開する。</p> <p>△</p>	<p>○出張や年休等を把握し授業を振り替えることにより、時数を確保し学習の保障と学力向上を図ることができた。</p> <p>□「鳩中スタイル」のまとめと振り返りの徹底がなされ、主体的に学ぶ学習指導が展開され学力を高めることができた。</p> <p>△</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・言語活動の充実を図るためには、話すことより、相手の話を聞く力を身に着けることが重要である。</p> <p>・教育手法としては、各教科、領域等におけるICTの活用、言語活動の充実、英語科におけるフィラウンド等、様々な方法があるが、校内における研修を充実させ教職員に力をつけてほしい。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○学校が持つ情報の発信を発展的に継続する。</p> <p>□保護者や地域の方々と連携した取組みを推進する。</p> <p>△</p>	<p>○様々な情報を学校だより、HP及び緊急保護者メール等で保護者、地域に積極的に発信することにより、一定の信頼を得ることができた。</p> <p>□コロナ禍で様々な行事が規模の縮小または中止となり、特別活動の目標達成の観点からは、満足な行事の実施にいたらなかった。</p> <p>△</p>	<p>A</p> <p>C</p>	<p>・80%を超える進学率は、教職員の指導の成果と捉えています。今後は、学校への関心や信頼を深めるためにも進学率の分析や進路先についての情報を公開をする必要がある。</p> <p>・平日の保護者会への参加が難しい保護者のために夜に保護者会を開催すると出席率が増えると思う。</p> <p>・学校評価のアンケートの結果を見る限り、学校は、かなり努力していることがよくわかりました。今後は、アンケートの分析には、比較し易い内容を掲載する必要がある。</p>	
	教職員の資質向上	<p>○教職員事故ゼロのための校内研修もを行い、理論と実践を踏まえた研修に取組む。</p> <p>□生徒第一主義の旗印の下、自己を磨き、相互に磨き合い、教師力の向上を図る。</p> <p>△</p>	<p>○常日頃より教職員に事故を起こしたときの当事者意識について話をする事により、教職員事故については、今年度も0件である。</p> <p>□校内研修において、様々なテーマによる充実した研修を行うことができた。特に講師を招聘したことが功を奏し、防災教育についての深い知識を得ることができた。</p> <p>△</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>・教職員事故がゼロを今後も続けてほしい。そのためには、自己啓発的な内容や外部から講師を積極的に招聘し、自己を高める内容の充実を図ってほしい。</p> <p>・</p> <p>・</p>	
	施設・設備等の管理	<p>○ごみゼロ・事故ゼロの学校づくりを推進する。</p> <p>□優先順位を念頭に配当予算を使い、施設・設備の充実に努める。</p> <p>△</p>	<p>○93%の保護者から、「校舎の清掃が行き届いており学校がきれいである。」との回答を得ることができた。</p> <p>□危険箇所を早期発見し確実に修繕を行うなど、安全に努めることができた。</p> <p>△</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>・学校を訪問するたびに、古い校舎だが、隅々まで清掃が行き届いて気持ちがいいです。これは、教職員の指導の成果であり、今後も続けてほしいです。</p> <p>・施設、設備の不良での事故がなかったことは、今後もぜひ継続して取組んでほしい。</p> <p>・</p>	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
八幡木中	組織運営	<p>○共通意識を持たせ、計画的な活動を通じた組織的・機動的な指導体制の確立</p> <p>□いじめ・不登校等の未然防止と早期発見・早期解消（不登校の割合3.0%以下）</p>	<p>○コロナ禍の厳しい状況でも共通理解・共通認識で成長を促す組織的な指導を進めることができた。</p> <p>□不登校対策は、個に応じた指導を進めてきたが、目標達成に至らなかった。（不登校の割合3.3%）</p>	<p>A</p> <p>C</p>	<p>・職員の共通認識と言っても個々の受け止め方で差がつくので、自分がどの立場にいるのかを考えて行動してほしい。</p> <p>・子供の心に寄り添い、生徒の方から先生に相談してみようと思える環境を整えてほしい。</p> <p>・不登校の保護者が孤立しないように、「不登校生徒と保護者の会」を設け、親同士の交流、情報共有の場を作る。</p>	5名
	教育課程	<p>○授業規律の徹底と主体的・対話的で深い学びを促す指導法による学力の向上</p>	<p>○タブレット端末の効果的な活用で、主体的な学びを引き出し、学習意欲を高め、学力向上につながった。</p>	B	<p>・タブレットの活用、オンライン授業はスキルも上がってきて、効果的にスムーズに学習につなげることができている。</p> <p>・利用する際の不具合等、課題も指摘されているので、早期の改善を進めてほしい。</p> <p>・ICTの活用とともに、先生と生徒の生の対話も大切に進めてほしい。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○積極的な情報発信、家庭・地域との連携による特色ある学校・信頼される学校の構築</p>	<p>○50周年記念事業や合唱祭など、実行委員会やPTAと連携して行事を開催し、学校の状況を公開することができた。</p>	B	<p>・50周年記念式典をはじめ、体育祭、合唱祭、修学旅行を厳しい状況下で実施できたことを評価します。</p> <p>・PTAやおやじの会も先生方と協力し、可能な範囲で生徒たちをサポートしていました。</p> <p>・コロナ禍での授業参観、保護者会の実施について、教室だけでなく、広いスペースでの参観が可能になるような授業の工夫等を検討してほしい。</p>	
	教職員の資質向上	<p>○「チーム八幡木」の自覚と責任、自信を持って職務を遂行できる教職員集団の実現</p>	<p>○若手教員研修の計画的実施により、実践にすぐ生かせる研修を行うことができた。</p>	A	<p>・若手教員研修のせいかを、来年度にしっかり発揮してください。</p> <p>・不登校生徒対応や保護者対応で、難しい状況に直面している教師のメンタル面のケアをしっかりと行ってください。</p> <p>・他校の先生との交流を積極的に行ってはどうか。</p> <p>・難しい保護者の対応では、カウンセラー等の協力を仰いだらどうか。</p>	
施設・設備等の管理	<p>○関係各所、各業者との改善策・対応策の検討と、全職員による教育環境の整備</p> <p>□学級経営を基盤とした心の教育充実と、清掃指導、掲示教育、校内美化の徹底による良好な教育環境の整備</p>	<p>○安全点検の確実な実施により、早期に不良箇所の修繕を行い、環境整備ができた。</p> <p>□清掃活動をしっかり取り組ませる指導を徹底し、掲示物の充実を図ることにより、教育環境を整えることができた。</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>・トイレの回収をまず第一に進めてほしい。</p> <p>・大規模改修や武道場建設等は、学校からの嘆願だけでなく、地域の市議や町会長の協力をお願いしてはどうか。</p> <p>・図書室のカーテンや1年昇降口の電灯等、早急に改善できるところはすぐに対応してほしい。</p>		

令和3年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
里中	組織運営	○組織的に不登校生徒解消	○不登校生徒数の割合が4.4%から2.9%に減少	B	・次年度はステップルーム運営に協力したい。 ・生徒の体験活動等を充実させ、ストレスの軽減を図ってほしい。 ・コロナ渦でも充実できる部活動に期待。	8名
	教育課程	○GIGAスクール構想の推進 □端末の活用と主体的・対話的で深い学びの実現	○推進チームが機能し、計画通り実施 □端末を活用した授業実施率100%達成	A A	・端末を活用した授業の質の向上に期待。	
	開かれた学校づくり	○地域に根付いた学校づくりの推進 □本校の教育活動を積極的に発信	○美化活動3回、小中挨拶運動・中高連携生徒交流会実施 □授業、学校行事、部活動の様子を発信	A A	・ボランティア活動に参加している生徒が多く感心した。 ・生徒会活動の充実に期待。	
	教職員の資質向上	○豊かな心を育む教育を推進	○学校行事はすべて実施、計画通り実施	B	・いじめを防ぐには、生徒・保護者・学校の信頼関係が大切。 ・いのちを軽視した事件が起きた時は、その原因を考え、議論することも必要。	
	施設・設備等の管理	○危機管理意識を高め、事故の未然防止	○交通安全教室実施、学校安全優良校に選出	B	・交通ルール遵守には、小学生の手本となってほしい。 ・修繕は順調であると聞き安心した。要望があれば協力したい。	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
附属中	組織運営	<p>○Phase1(中1～中2)の教育計画を確立し、Phase2(中3～高1)の準備を進める。</p> <p>□中高一貫教育に対応する校内組織及び高校との連携体制をつくる。</p> <p>△</p>	<p>○パンフレット及び年間指導計画の見直し、改善を進めることができた。</p> <p>□高校の状況を把握し、人的交流・物的共有等の方向性を確認することができた。</p> <p>△</p>	<p>B</p> <p>B</p>	<p>・大学進学を希望をリサーチし高校の教育課程をアピールすることで優秀な生徒が他校へ流出することを留める必要がある。</p> <p>・教育課程の円滑な実施や指導方法の研究深化のための連携強化を図る上で中高の人的交流を積極的に進めて欲しい。</p> <p>・自主的な家庭学習は学力向上の基礎となるものなので次年度は指導方法の工夫を望む。6年間を見通した全体計画の作成を望む。</p>	5名
	教育課程	<p>○中高一貫教育の6年間の学びを通じて、生徒主体の質の高い学びを展開する。</p> <p>□高校の学習リソースを生かした専門的で深い学びを実現する。</p> <p>△</p>	<p>○「学びを止めない」「生徒の居場所を守る」対応方針のもと特色ある教育活動を実施できた。</p> <p>□毎日持ち帰りて一人一台端末の活用を図り、授業以外での利用も積極的に行った。</p> <p>△</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>・コロナ解消後に計画再編を行い外部交流等より質の高い学びの提供を期待する。</p> <p>・日課や少人数指導、ICT活用等、教育活動の充実 に努力し効果を上げている。コロナ後にこのノウハウを生かせるよう効果の検証と蓄積に期待する。</p> <p>・将来の夢を実現するため大学進学を前提に高校を見据えた中学校3年間の具体的な目標設定ができる教育課程の編成を望む。</p>	
	開かれた学校づくり	<p>○リーディング校として特色ある教育実践の情報を発信・共有し市内全域の教育力向上に貢献する。</p> <p>□広域にわたる保護者や関心の高い市民のニーズに答える情報発信を行う。</p> <p>△</p>	<p>○保護者のみに限定した説明会や緊急事態宣言で中止とした説明会もあったが、工夫して説明会を実施することで本校の取組を広報することができた。</p> <p>□HPや説明会で1期生の活動を積極的に伝えることができ、令和4年度の募集倍率も、5.2倍と高い倍率を維持することができた。</p> <p>△</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>・県内でも注目が高い学校であるため特色ある教育課程を保護者にアピールし、現在の募集倍率を維持してほしい。</p> <p>・5倍を超える倍率を維持できたことは評価できる。6年間の中高一貫教育の魅力を積極的に発信し、小学生が憧れるとともに目指すべき学校となるよう努めてほしい。</p> <p>・コロナ禍で対面でのイベント実施が難しい等の制約があると思うが、市内全域から生徒が集まる学校であることから、出身小学校への学習ボランティア活動を考えてみてはどうか。</p>	
教職員の資質向上	<p>○教職員の指導観を知識技能ベースから資質能力ベースに変換する。</p> <p>□1期生教職員として選ばれた者としての自覚と責任のもと、高いプロ意識を持たせる。</p> <p>△</p>	<p>○川口市教育委員会指導主事を招いての研修会や専門家による模試分析等を通じて本校生徒の学力分析を進めた。</p> <p>□校長による授業観察や生徒面談の機会を多く設け、本校教育理念や目指す学校像・授業像の共有を図った。</p> <p>△</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>・研修の充実を図り、職員の資質向上に努力されていると思う。一貫教育の側面から政策アドバイザーによる勉強会など高校との連携をより深める研修の充実を期待する。</p> <p>・高校入試を経験しない生徒に対し、高校入試同等の緊張感を持たせる指導ができる教員になってほしい。</p> <p>・</p>		



令和3年度 学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
	施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> ネットワーク環境や専門的かつ充実した特別教室や運動施設等の積極的活用を進める。 <input type="checkbox"/> 本校特有の課題に対して安心・安全の確保に努める。 △	<input type="checkbox"/> 中高の実情に応じた施設設備の利用状況の把握に努め、中高定事校内調整会議等で協議を進めることができた。 <input type="checkbox"/> 事故ゼロを継続することができた。 △	A  B	・高校で使用している設備や備品等をフル活用できるよう中高で協議してほしい。  ・充実した学校施設を効果的に活用し、安全に配慮した上でICT環境の利用促進を図る環境整備を期待する。 ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
川口市立 高	組織運営	○進学校としての基盤の確立	○スポーツ科学コースの開設と特進クラスの位置づけの確立	A	・特色が明確になり、川口市のリーディング校として充実している	5名
	教育課程	○国公立難関大学進学に対応する教育課程の編成	○進路指導部と各年次の連携による進路指導体制の統一	A	・校内での統一した指導体制の確立は重要であり、成果が出つつあることは大変評価できる	
	開かれた学校づくり	○学校を核とした地域づくりとリーディング校としての役割の遂行	○中学校教員対象進路指導研修会等の新設	A	・コロナ禍での研修会の新設は努力している ・高校生による小中学校への学習支援ボランティア活動を検討してはどうか	
	教職員の資質向上	○授業第一主義	○「未来を拓く学びプロジェクト」に全教科参加 ○政策アドバイザーによる授業力向上に向けた指導の実施	B	・研修や視察等を充実させ、教員の指導力向上や生徒の学力向上を図ってほしい	
	施設・設備等の管理	○最新鋭の設備の効果的活用と安全への配慮	○GIGAスクールとBYOD導入による一人1端末環境の整備	B	・ICT環境の更なる充実と機器の使用で効果を上げる指導法を開発してほしい ・交通ルールを守る指導等、交通事故防止策を講じてほしい	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
定時制	組織運営	○キャリア教育・進路指導を核に進路実現を支援	○プロジェクトチームにより、総合学科の特色を生かす 将来構想の策定	A	・総合学科の良さを活かす将来構想ができ、特別感を ますます明確にし地域に発信してほしい。 ・G I G A スクールについて教職員、生徒ともに導入で きて素晴らしい ・	3名
	教育課程	○新教育課程の実施を準備する	○4年間を見通したキャリア教育の仕組みの完成。進 路希望別の進路指導の実施	A	・充実した進路指導は、学校の魅力 ・日本語指導は大切。ノウハウを提供してほしい ・	
	開かれた学校 づくり	○「学校を核とした地域づくり」をめざす	○陽春分校との進路関係の連携実施。ホームページ の活性化、学校説明会の参加者数が増加。	B	・ホームページの充実は見事。 ・ ・	
	教職員の資質 向上	案る授業第一主義	○相互授業観察については、未実施	B	・未来を拓く「学び」プロジェクトで得た知識や技術を還 元してほしい ・ ・	
	施設・設備等 の管理	○施設設備の効果的活用と安全配慮	○重大な事故は未発生。引き続き安全対策を強化	B	・夜間の登下校は安全管理が大切。引き続き指導を ・ ・	

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
舟戸幼	組織運営	○目指す幼稚園像及び幼児像の共有化 □P D C Aサイクルの推進 △	○共通行動の徹底と個に応じた丁寧な保育の達成 □指導計画の反省を分掌の工夫・改善と見える化の推進 △	A B	・餅つき（杵と臼、実際に体験）はとても良い取組である。 ・ ・ ・栽培体験ができる自然体験が素晴らしい。 ・個性を認め、よいところを伸ばしてほしい。 ・ ・今年度は子供たちと交流することができず、残念だった。 ・ ・先生方の保育が素晴らしい。 ・ ・ ・今後も子供たちの安全を第一にしてほしい。 ・ ・	5名
	教育課程	○舟戸学園の連携教育と豊かな自然環境という特色を生かす保育の推進 □小学校との連携による幼小の滑らかな接続 △	○新しい形での交流活動と自然体験活動の推進 □3月に幼・小の滑らかな接続を行う予定 △	B B		
	開かれた学校づくり	○幼稚園の保育内容と活動の積極的な発信 □保護者・地域の情報収集による連携の強化 △	○保育活動の保護者、市内、県内への積極的な発信 □情報収集による保育のよさの具体的な発信 △	A B		
	教職員の資質向上	○研修の充実による指導力の向上 □市立幼稚園研究の充実 △	○互いに学び合うことで指導力の向上の達成 □2園の実践事例研究を通しての学び合いの推進 △	A A		
	施設・設備等の管理	○安全管理の徹底 □教職員と幼児の危機管理意識の高揚 △	○安全管理の徹底による事故ゼロを達成	A		
			□当事者意識を持たせ、教職員事故ゼロを達成 △	A		

学校名	領域	学 校（幼 稚 園） 自 己 評 価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者 評価委員
		年 度 目 標	年 度 評 価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達 成 度		
南平幼	組織運営	○3歳児の受け入れを考慮し、地域や時代に即した効果的かつ効果的な幼稚園経営を推進 □新入園児数を増やす  △	○幼稚園の経営方針を全職員へ伝え共通理解をし、3歳保育の教育計画の見直しや環境整備の実施 □感染対策を徹底し、入園前体験で本園児と交流を行ったが、園児数増加には繋がらなかった。  △	B	・南平幼稚園の良さを周知する必要がある。  ・少ない園児数ゆえの個別指導、声かけの多さ、自立のための見守る教師力を押し出すとよい。 ・3歳児保育が始まり保護者は喜んでいたので、3歳児保育のアピール発信が必要。	5名
	教育課程	○研究主題「言葉による伝え合いを楽しむ幼児の育成」達成のための手立てを保育の中で具現化する  □地域や本園の実態に応じた3歳時保育の教育課程の充実  △	○市教委委嘱研究発表は、オンライン発表で開催し、子供たちの言葉による伝え合いが深まった。  □計画通り3歳児保育が進んだが、個人差があり、個に応じた支援の充実が必要。  △	A	・「言葉による伝え合い」では、劇遊びを初めて観て理解でき、それぞれの園児がしっかりセリフを伝え合うことができていた。 ・時代に合った教育が出来るよう、今まで通り研修に力を入れてほしい。	
	開かれた学校づくり	○ホームページや保護者を通して、本園の教育活動の魅力を幼稚園外に発信 □違校種連携を継続  △	○保護者の情報アンケートで「幼稚園のホームページを読む」が9割を超え、昨年より数値が上がった。 □新型コロナ感染症拡大防止のため、感染対策をとり小学校生活科と連携を行った。来年度更に発展させたい。  △	A	・ホームページは日々更新されていてとても良い。  ・コロナが収束したら、公立ならでの、近隣中学校との交流の場をもっと設けてほしい。  ・子供たちにとって、園外の人との直接のふれあいが豊かな事であると感じます。大人や中学生にこそ貴重な経験である。	
	教職員の資質向上	○互いの特性を認め合い、全休職員参加の幼稚園づくりの推進  □教職員一人一人がそれぞれの学年の目標を持ち、川口市教育委員会委嘱研究に取り組み、成果と課題を共有する  △	○今年度より3歳児保育が始まり、3歳～5歳ークラスとなり、それぞれの分掌に責任を持ち組織的な幼稚園分掌とした。 □市教委委嘱研究を通して、「安心感・豊かな言語活動・体験」を積み重ね、園児が言葉の伝え合いを楽しむようになった。  △	B	・子供たちに対する教職員の真摯な姿勢は評価出来る。教職員同士情報交換を密にし、良い指導を期待する。 ・行事や遊びなどの面では、指示するのではなく、誘導することによって自然と子供たちが心豊かに成長している。行事なども穏やかでほのぼのと観る事が出来る。 ・	
施設・設備等の管理	○優先順位をつけて計画的に幼稚園の施設設備の改修や改善を行う  □保護者・地域に信頼される「安心・安全」な幼稚園づくりを継続  △	○新型コロナ関連で、水道の蛇口をレバーにし、お弁当時のパーテーションを用意。またLED照明にするなど環境整備を行った。 □安全教育について、地域の協力のもと、埼玉県学校安全努力学校・川口市学校安全優良学校に表彰された。  △	A	・しっかり点検している。時代の流れとともに新しいものに変えたり、取り入れたりもしている。  ・施設を大切に扱い、整理・整頓された環境が、安全を支えていると感じる。感染対策など、時代の変化に即した整備もしっかりしている。 ・		

議案第37号

川口市教育局事務専決規則の一部を改正する規則について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

## 川口市教育局事務専決規則の一部を改正する規則

川口市教育局事務専決規則（昭和57年教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

第6条部長共通専決事項の項第5号、教育総務部長専決事項の項第1号及び学校教育部長専決事項の項第1号中「第22号」を「第23号」に改める。

第7条課長共通専決事項の項第9号及び第10号中「第22号」を「第23号」に改め、同条教育総務部教育総務課長専決事項の項第1号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

第8条係長共通専決事項の項第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

### 附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

議案第38号

川口市立中央ふれあい館処務規程の一部を改正する規程について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平



## 川口市立中央ふれあい館処務規程の一部を改正する規程

川口市立中央ふれあい館処務規程（平成16年教育委員会規程第2号）の一部を次のように改正する。

第5条の見出しを「（専決事項）」に改め、同条第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

### 附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

議案第39号

川口市立生涯学習プラザ処務規程の一部を改正する規程について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

## 川口市立生涯学習プラザ処務規程の一部を改正する規程

川口市立生涯学習プラザ処務規程（平成31年教育委員会規程第3号）の一部を次のように改正する。

第5条の見出しを「（専決事項）」に改め、同条第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

### 附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

議案第40号

川口市立公民館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

川口市立公民館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則

川口市立公民館設置及び管理条例施行規則（昭和46年教育委員会規則第5号）の一部を次のように改正する。

第7条の見出しを「（専決事項）」に改め、同条第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

第8条中「管守」を「管理」に改める。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

議案第41号

川口市立南平文化会館管理規則の一部を改正する規則について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

## 川口市立南平文化会館管理規則の一部を改正する規則

川口市立南平文化会館管理規則（昭和54年教育委員会規則第7号）の一部を次のように改正する。

第1条中「管理運営」を「管理」に改める。

第7条第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

### 附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

議案第42号

川口市立アートギャラリー処務規程の一部を改正する規程について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平



川口市立アートギャラリー処務規程の一部を改正する規程

川口市立アートギャラリー処務規程（平成24年教育委員会規程第1号）の一部を次のように改正する。

第6条第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

議案第43号

川口市立文化財センター処務規程の一部を改正する規程について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

## 川口市立文化財センター処務規程の一部を改正する規程

川口市立文化財センター処務規程（平成18年教育委員会規程第3号）の一部を次のように改正する。

第5条の見出しを「（専決事項）」に改め、同条第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

### 附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

議案第44号

川口市立図書館処務規程の一部を改正する規程について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

## 川口市立図書館処務規程の一部を改正する規程

川口市立図書館処務規程（平成18年教育委員会規程第5号）の一部を次のように改正する。

第6条第1項第5号中「第22号」を「第23号」に改め、同条第2項第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

第7条第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

第8条第2項中「当該事項が」を削る。

### 附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

議案第45号

川口市立科学館処務規程の一部を改正する規程について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

## 川口市立科学館処務規程の一部を改正する規程

川口市立科学館処務規程（平成15年教育委員会規程第4号）の一部を次のように改正する。

第6条第5号中「第22号」を「第23号」に改める。

第7条第6号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

第8条第2項中「当該事項が」を削る。

### 附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

議案第46号

川口市立体育施設処務規程の一部を改正する規程について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平



## 川口市立体育施設処務規程の一部を改正する規程

川口市立体育施設処務規程（平成19年教育委員会規程第3号）の一部を次のように改正する。

第5条の見出しを「（専決事項）」に改め、同条第2号中「第22号」を「第23号」に、「第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

### 附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

議案第47号

川口市立大貫海浜学園処務規程の一部を改正する規程について  
このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

## 川口市立大貫海浜学園処務規程の一部を改正する規程

川口市立大貫海浜学園処務規程（平成23年教育委員会規程第6号）の一部を次のように改正する。

第5条第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

### 附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

議案第48号

川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則  
について

このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則  
川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例施行規則（平成5年教育委員会規則  
第2号）の一部を次のように改正する。

第1条中「ついて、」を「関し」に改める。

第7条第1項第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11  
号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第1  
5号」に改める。

第10条中「利用許可（変更）申請書」を「申請書」に改める。

第12条中「利用許可（変更）申請書」を「様式第1号の申請書」に改める。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

議案第49号

川口市立教育研究所設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則について

このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

川口市立教育研究所設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則

川口市立教育研究所設置及び管理条例施行規則（昭和47年教育委員会規則第3号）の一部を次のように改正する。

第5条の見出しを「（専決事項）」に改め、同条第1項第3号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改め、同条第2項を削る。

第6条を第7条とし、第5条の次に次の1条を加える。

第6条 前条の規定により事務を専決したときは、必要に応じて上司に報告しなければならない。

2 前条の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、上司の決裁を受けなければならない。

(1) 事案が重要又は異例に属すると認められるとき。

(2) 事案が先例となるおそれがあるとき。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

議案第50号

川口市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則  
について

このことについて別紙のとおり議決を求める。

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平



川口市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則  
川口市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則（昭和46年教育委員会規則第4号）の一部を次のように改正する。

第5条の見出しを「（専決事項）」に改め、同条第2号中「第22号」を「第23号」に、「、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号」を「から第12号まで、第14号及び第15号」に改める。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

川口市教育局事務専決規則の一部を改正する規則案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

- (1) 理事、審議監、次長及び課長の職にある職員が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を部長共通専決事項とするもの。
- (2) 川口市立高等学校事務長の職にある職員が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を学校教育部長の専決事項とするもの。
- (3) 課内の係長以上の職にある職員が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を課長共通専決事項とするもの。
- (4) 主査以下の職にある職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を係長共通専決事項とするもの。
- (5) その他必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

- (1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市教育局事務専決規則の一部を改正する規則案新旧対照表  
 ○ 川口市教育局事務専決規則（昭和57年教育委員会規則第2号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>（部長専決事項）            第6条 部長は、次に掲げる事項を専決することができる。            部長共通専決事項            (1)～(4)（略）            (5) 理事、審議監、次長及び課長の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号。以下「勤務時間条例」という。）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇に限る。）の承認に関する事            (6)～(8)（略）            教育総務部長専決事項            (1) 理事、審議監、次長、課長及び川口市立高等学校事務長（以下「事務長」という。）の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇を除く。）並びに中央図書館長及び科学館長の特別休暇の承認に関する事            (2)～(14)（略）            学校教育部長専決事項            (1) 事務長の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇に限る。）の承認に関する事            (2)～(11)（略）            （課長専決事項）            第7条 課長は、次に掲げる事項を専決することができる。            課長共通専決事項            (1)～(8)（略）            (9) 課内の係長以上の職にある者の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第1</p>	<p>（部長専決事項）            第6条 部長は、次に掲げる事項を専決することができる。            部長共通専決事項            (1)～(4)（略）            (5) 理事、審議監、次長及び課長の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号。以下「勤務時間条例」という。）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇に限る。）の承認に関する事            (6)～(8)（略）            教育総務部長専決事項            (1) 理事、審議監、次長、課長及び川口市立高等学校事務長（以下「事務長」という。）の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇を除く。）並びに中央図書館長及び科学館長の特別休暇の承認に関する事            (2)～(14)（略）            学校教育部長専決事項            (1) 事務長の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇に限る。）の承認に関する事            (2)～(11)（略）            （課長専決事項）            第7条 課長は、次に掲げる事項を専決することができる。            課長共通専決事項            (1)～(8)（略）            (9) 課内の係長以上の職にある者の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第1</p>

3号、第17号及び第19号から第23号までに規定する休暇に限る。)の承認に關すること。

(10) 主管施設(学校を除く。)の長の特別休暇(勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第23号までに規定する休暇に限る。)の承認に關すること。

(11)～(18) (略)

教育総務部

教育総務課長専決事項

(1) 課長に相当する職にある者及び課長補佐以下の職にある者の病気休暇、特別休暇(勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第23号までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に關する条例(令和元年条例第17号)第13条第9号から第12号まで、第14号及び第15号に掲げる場合の休暇を除く。)及び介護休暇の承認並びに欠勤届の受理に關すること。

(2)～(14) (略)

生涯学習課長専決事項 (略)

文化推進室長専決事項 (略)

文化財課長専決事項 (略)

スポーツ課長専決事項 (略)

学校教育部

学務課長専決事項 (略)

指導課長専決事項 (略)

学校保健課長専決事項 (略)

(係長専決事項)

第8条 係長は、次に掲げる事項を専決することができる。

係長共通専決事項

(1) (略)

(2) 主査以下の職にある者の特別休暇(勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第23号までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に關する条例第13条第9号から第12号まで、第14号及び第15号に掲げる場合の休暇に限る。)の承認

3号、第17号及び第19号から第22号までに規定する休暇に限る。)の承認に關すること。

(10) 主管施設(学校を除く。)の長の特別休暇(勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第22号までに規定する休暇に限る。)の承認に關すること。

(11)～(18) (略)

教育総務部

教育総務課長専決事項

(1) 課長に相当する職にある者及び課長補佐以下の職にある者の病気休暇、特別休暇(勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第22号までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に關する条例(令和元年条例第17号)第13条第9号、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号に掲げる場合の休暇を除く。)及び介護休暇の承認並びに欠勤届の受理に關すること。

(2)～(14) (略)

生涯学習課長専決事項 (略)

文化推進室長専決事項 (略)

文化財課長専決事項 (略)

スポーツ課長専決事項 (略)

学校教育部

学務課長専決事項 (略)

指導課長専決事項 (略)

学校保健課長専決事項 (略)

(係長専決事項)

第8条 係長は、次に掲げる事項を専決することができる。

係長共通専決事項

(1) (略)

(2) 主査以下の職にある者の特別休暇(勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第22号までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に關する条例第13条第9号、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号に掲げる場合の休暇に限る。)の承認

に関すること。

(3) ～(14) (略)

教育総務部

教育総務課 (略)

庶務係長専決事項 (略)

学校教育部

学務課 (略)

教職員係長専決事項 (略)

学事係長専決事項 (略)

に関すること。

(3) ～(14) (略)

教育総務部

教育総務課 (略)

庶務係長専決事項 (略)

学校教育部

学務課 (略)

教職員係長専決事項 (略)

学事係長専決事項 (略)

川口市立中央ふれあい館処務規程の一部を改正する規程案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を館長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立中央ふれあい館処務規程の一部を改正する規程案新旧対照表

○ 川口市立中央ふれあい館処務規程（平成16年教育委員会規程第2号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p><u>（専決事項）</u>                      第5条 館長は、次に掲げる事項を専決できる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号及び第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(13) (略)</p>	<p><u>（館長の専決事項）</u>                      第5条 館長は、次に掲げる事項を専決できる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号及び第11号</u>並びに<u>第14条第9号及び第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(13) (略)</p>



川口市立生涯学習プラザ処務規程の一部を改正する規程案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を館長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立生涯学習プラザ処務規程の一部を改正する規程案新旧対照表

○ 川口市立生涯学習プラザ処務規程（平成31年教育委員会規程第3号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p><u>（専決事項）</u>                      第5条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号及び第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(14) (略)</p>	<p><u>（館長専決事項）</u>                      第5条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号及び第11号</u>並びに<u>第14条第9号及び第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(14) (略)</p>

川口市立公民館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を館長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立公民館設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案新旧対照表  
 ○ 川口市立公民館設置及び管理条例施行規則（昭和46年教育委員会規則第5号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p><u>（専決事項）</u>            第7条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号及び第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(14) (略)</p> <p>（業務）</p> <p>第8条 公民館の業務は、次のとおりとする。</p> <p>庶務及び会計に関する業務</p> <p>(1) 公印の<u>管理</u>及び文書処理に関すること。</p> <p>(2) ～(5) (略)</p> <p>企画及び実施に関する業務 (略)</p>	<p><u>（館長専決事項）</u>            第7条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号及び第11号</u>並びに<u>第14条第9号及び第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(14) (略)</p> <p>（業務）</p> <p>第8条 公民館の業務は、次のとおりとする。</p> <p>庶務及び会計に関する業務</p> <p>(1) 公印の<u>管守</u>及び文書処理に関すること。</p> <p>(2) ～(5) (略)</p> <p>企画及び実施に関する業務 (略)</p>

川口市立南平文化会館管理規則の一部を改正する規則案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を館長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立南平文化会館管理規則の一部を改正する規則案新旧対照表

○ 川口市立南平文化会館管理規則（昭和54年教育委員会規則第7号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>（趣旨） 第1条 この規則は、川口市立南平文化会館設置及び管理条例（昭和54年条例第31号。以下「条例」という。）第16条の規定に基づき、川口市立南平文化会館（以下「会館」という。）の<u>管理</u>に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>（専決事項） 第7条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号及び第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(16) (略)</p>	<p>（趣旨） 第1条 この規則は、川口市立南平文化会館設置及び管理条例（昭和54年条例第31号。以下「条例」という。）第16条の規定に基づき、川口市立南平文化会館（以下「会館」という。）の<u>管理運営</u>に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>（専決事項） 第7条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(16) (略)</p>

川口市立アートギャラリー処務規程の一部を改正する規程案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を館長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立アートギャラリー処務規程の一部を改正する規程案新旧対照表  
 ○ 川口市立アートギャラリー処務規程（平成24年教育委員会規程第1号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>（専決事項）            第6条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例なものについては、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第23号までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から第12号まで、<u>第14号及び第15号</u>）に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(7) (略)</p>	<p>（専決事項）            第6条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例なものについては、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第22号までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(7) (略)</p>



川口市立文化財センター処務規程の一部を改正する規程案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を所長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立文化財センター処務規程の一部を改正する規程案新旧対照表  
 ○ 川口市立文化財センター処務規程（平成18年教育委員会規程第3号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p><u>（専決事項）</u>            第5条 所長は、次に掲げる事項を専決できる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号</u>及び<u>第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(13) (略)</p>	<p><u>（所長の専決事項）</u>            第5条 所長は、次に掲げる事項を専決できる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号</u>及び<u>第11号</u>並びに<u>第14条第9号</u>及び<u>第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(13) (略)</p>

川口市立図書館処務規程の一部を改正する規程案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

- (1) 係長以上の職にある者及び地域図書館長の職にある職員が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を中央図書館長の専決事項とするもの。
- (2) 地域図書館の職員（地域図書館長を除き、会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を当該地域図書館の長の専決事項とするもの。
- (3) 中央図書館に置く係の主査以下の職にある職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を当該係の長の専決事項とするもの。
- (4) その他必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する  
条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立図書館処務規程の一部を改正する規程案新旧対照表

○ 川口市立図書館処務規程（平成18年教育委員会規程第5号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>（専決事項）</p> <p>第6条 中央図書館長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) ～(4) (略)</p> <p>(5) 係長以上の職にある者及び地域図書館長の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号。以下「勤務時間条例」という。）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(6) ～(14) (略)</p> <p>2 地域図書館長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号及び第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(13) (略)</p> <p>第7条 係長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 主査以下の職にある者の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号及び第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(10) (略)</p>	<p>（専決事項）</p> <p>第6条 中央図書館長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) ～(4) (略)</p> <p>(5) 係長以上の職にある者及び地域図書館長の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号。以下「勤務時間条例」という。）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(6) ～(14) (略)</p> <p>2 地域図書館長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号及び第11号</u>並びに<u>第14条第9号及び第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(13) (略)</p> <p>第7条 係長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 主査以下の職にある者の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例第13条第9号、<u>第10号及び第11号</u>並びに<u>第14条第9号及び第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(10) (略)</p>

第8条 (略)

2 前2条の規定にかかわらず、\_\_\_\_\_次の各号のいずれかに該当するときは、  
上司の決裁を受けなければならない。

(1)・(2) (略)

第8条 (略)

2 前2条の規定にかかわらず、当該事項が次の各号のいずれかに該当するときは、  
上司の決裁を受けなければならない。

(1)・(2) (略)

川口市立科学館処務規程の一部を改正する規程案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

- (1) 係長以上の職にある職員が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を館長の専決事項とするもの。
- (2) 主査以下の職にある職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を係長の専決事項とするもの。
- (3) その他必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立科学館処務規程の一部を改正する規程案新旧対照表

○ 川口市立科学館処務規程（平成15年教育委員会規程第4号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>（専決事項）</p> <p>第6条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) ～(4) (略)</p> <p>(5) 係長以上の職にある者の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号。以下「勤務時間条例」という。）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(6) ～(15) (略)</p> <p>第7条 係長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) ～(5) (略)</p> <p>(6) 主査以下の職にある者の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から第12号まで、<u>第14号及び第15号</u>）に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(7) ～(10) (略)</p> <p>第8条 (略)</p> <p>2 前2条の規定にかかわらず、<u>                    </u>次の各号のいずれかに該当するときは、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) ・(2) (略)</p>	<p>（専決事項）</p> <p>第6条 館長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) ～(4) (略)</p> <p>(5) 係長以上の職にある者の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号。以下「勤務時間条例」という。）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(6) ～(15) (略)</p> <p>第7条 係長は、次に掲げる事項を専決することができる。</p> <p>(1) ～(5) (略)</p> <p>(6) 主査以下の職にある者の特別休暇（勤務時間条例第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号及び第11号</u>並びに第14条第9号及び第12号に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(7) ～(10) (略)</p> <p>第8条 (略)</p> <p>2 前2条の規定にかかわらず、<u>当該事項が</u>次の各号のいずれかに該当するときは、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) ・(2) (略)</p>



川口市立体育施設処務規程の一部を改正する規程案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を所長又は館長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立体育施設処務規程の一部を改正する規程案新旧対照表  
 ○ 川口市立体育施設処務規程（平成19年教育委員会規程第3号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p><u>（専決事項）</u>            第5条 所長又は館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号及び第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(13) (略)</p>	<p><u>（所長又は館長専決事項）</u>            第5条 所長又は館長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号及び第11号</u>並びに<u>第14条第9号及び第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(13) (略)</p>

川口市立大貫海浜学園処務規程の一部を改正する規程案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を園長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立大貫海浜学園処務規程の一部を改正する規程案新旧対照表

○ 川口市立大貫海浜学園処務規程（平成23年教育委員会規程第6号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>（専決事項）                      第5条 園長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号</u>及び<u>第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(11) (略)</p>	<p>（専決事項）                      第5条 園長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号</u>及び<u>第11号</u>並びに<u>第14条第9号</u>及び<u>第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(11) (略)</p>

川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を所長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案新旧対照表  
 ○ 川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例施行規則（平成5年教育委員会規則第2号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>（趣旨）            第1条 この規則は、川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例（平成4年条例第33号。以下「条例」という。）の施行に<u>関し</u>必要な事項を定めるものとする。</p> <p>（専決事項）            第7条 所長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号及び第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(17) (略)</p> <p>2・3 (略)</p> <p>（利用の手続）            第10条 条例第7条第1項前段の規定により、少年自然の家の利用の許可を受けようとする者（条例第6条第1号に掲げる者を除く。）は、様式第1号の<u>申請書</u>を教育委員会に提出しなければならない。条例第7条第1項後段の規定により許可された事項を変更しようとするときも、同様とする。</p>	<p>（趣旨）            第1条 この規則は、川口市立水上少年自然の家設置及び管理条例（平成4年条例第33号。以下「条例」という。）の施行に<u>ついて</u>、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>（専決事項）            第7条 所長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号及び第11号</u>並びに<u>第14条第9号及び第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(17) (略)</p> <p>2・3 (略)</p> <p>（利用の手続）            第10条 条例第7条第1項前段の規定により、少年自然の家の利用の許可を受けようとする者（条例第6条第1号に掲げる者を除く。）は、様式第1号の<u>利用許可（変更）申請書</u>を教育委員会に提出しなければならない。条例第7条第1項後段の規定により許可された事項を変更しようとするときも、同様とする。</p>

(使用料の減免)

第12条 条例第14条の規定により使用料の減免を受けようとする者は、その理由を様式第1号の申請書に記して、教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第12条 条例第14条の規定により使用料の減免を受けようとする者は、その理由を利用許可(変更)申請書に記して、教育委員会に提出しなければならない。

川口市立教育研究所設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を所長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要



川口市立教育研究所設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案新旧対照表  
 ○ 川口市立教育研究所設置及び管理条例施行規則（昭和47年教育委員会規則第3号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p><u>（専決事項）</u>            第5条 所長は、次に掲げる事項を専決することができる。            (1)・(2)（略）            (3) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第23号までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から第12号まで、第14号及び第15号 _____ に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。            (4)～(13)（略）</p> <p>第6条 前条の規定により事務を専決したときは、必要に応じて上司に報告しなければならない。  <u>2 前条の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、上司の決裁を受けなければならない。</u>  <u>(1) 事案が重要又は異例に属すると認められるとき。</u>  <u>(2) 事案が先例となるおそれがあるとき。</u></p> <p>第7条 （略）</p>	<p><u>（所長専決事項）</u>            第5条 所長は、次に掲げる事項を専決することができる。            (1)・(2)（略）            (3) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から第22号までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、第10号及び第11号並びに第14条第9号及び第12号に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。            (4)～(13)（略）  <u>2 前項の規定により事務を専決したときは、必要に応じて上司に報告しなければならない。</u></p> <p>第6条 （略）</p>

川口市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案要綱

1 改正の趣旨

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

2 改正の内容

職員（会計年度任用職員を含む。）が不妊治療のために通院等しようとする場合に取得することができる特別休暇の承認を所長の専決事項とするほか、必要な規定の整備を行うもの。

3 施行期日

令和4年4月1日から施行するもの。

4 予算措置

不要

5 その他

(1) 根拠法令又は関係法令

川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第3号）

川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（令和4年条例第4号）

(2) パブリック・コメント

不要

川口市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則案新旧対照表  
 ○ 川口市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則（昭和46年教育委員会規則第4号）

（下線の部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p><u>（専決事項）</u>            第5条 所長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第23号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号から<u>第12号</u>まで、<u>第14号</u>及び<u>第15号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(11) (略)</p>	<p><u>（所長専決事項）</u>            第5条 所長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、重要又は異例な事務については、上司の決裁を受けなければならない。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 職員の特別休暇（川口市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（平成7年条例第6号）第14条第2項第13号、第17号及び第19号から<u>第22号</u>までに規定する休暇並びに川口市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例（令和元年条例第17号）第13条第9号、<u>第10号</u>及び<u>第11号</u>並びに<u>第14条第9号</u>及び<u>第12号</u>に掲げる場合の休暇に限る。）の承認に関すること。</p> <p>(3) ～(11) (略)</p>

川口市学校運営協議会委員の委嘱を解いたことについて

## (1) 川口市立領家小学校

氏名	委嘱年月日	規則第6条関係	解職年月日
青木 美穂	令和3年4月1日	P T A幹事長	令和4年3月31日

## (2) 川口市立前川小学校

氏名	委嘱年月日	規則第6条関係	解職年月日
町田 みえ子	令和3年4月1日	学校応援団コーディネーター	令和4年3月31日
新井 才斗	令和3年4月1日	P T A会長	令和4年3月31日

## (3) 川口市立芝南小学校

氏名	委嘱年月日	規則第6条関係	解職年月日
池谷 光一	令和3年6月2日	前P T A会長	令和4年3月31日
中村 明子	令和3年6月2日	前P T A副会長	令和4年3月31日

## (4) 川口市立上青木南小学校

氏名	委嘱年月日	規則第6条関係	解職年月日
西本 優理	令和3年4月1日	学校応援団コーディネーター	令和4年3月31日

## (5) 川口市立在家小学校

氏名	委嘱年月日	規則第6条関係	解職年月日
金子 隆志	令和3年4月1日	在家町会長	令和4年3月31日
小林 一好	令和3年4月1日	根岸北町会長	令和4年3月31日

(6) 川口市立南鳩ヶ谷小学校

氏名	委嘱年月日	規則第6条関係	解職年月日
加來 信二郎	令和3年7月1日	おやじの会会長	令和4年3月31日

(7) 川口市立幸並中学校

氏名	委嘱年月日	規則第6条関係	解職年月日
大徳 達也	令和3年4月1日	P T A会長	令和4年3月31日

(8) 川口市立戸塚西中学校

氏名	委嘱年月日	規則第6条関係	解職年月日
佐山 道浩	令和3年4月1日	後援会会長	令和4年3月31日

(9) 川口市立里中学校

氏名	委嘱年月日	規則第6条関係	解職年月日
今西 善徳	令和3年4月1日	埼玉県立川口高等学校長	令和4年3月31日

## 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱を解いたことについて

## 委嘱を解いた者

氏名	委嘱校	委嘱年月日	解嘱年月日	備考
土屋 節子	仲町小学校	平成14年4月1日	令和4年3月31日	内科
佐野 仁彦	安行小学校	平成30年4月1日	令和4年3月31日	内科
伊神 恵一	青木中央小学校	平成19年4月1日	令和4年3月31日	内科
大山 昇一	上青木南小学校	平成31年4月1日	令和4年3月31日	内科
吉野 誠	芝中央小学校	昭和63年4月1日	令和4年3月31日	内科
大山 昇一	辻小学校	平成30年4月1日	令和4年3月31日	内科
清水 順治	上青木中学校	昭和55年4月1日	令和4年3月31日	内科
清水 辰雄	戸塚中学校	平成29年4月1日	令和4年3月31日	内科
河合 逸郎	市立高校	昭和48年4月1日	令和4年3月31日	内科
前川 登志江	本町小学校	平成8年4月1日	令和4年3月31日	歯科
渡辺 幸男	本町小学校	平成18年4月1日	令和4年3月31日	歯科
奥山 宏	芝小学校	昭和49年4月1日	令和4年3月28日	歯科
小谷 隆一	新郷小学校	平成25年4月1日	令和4年3月31日	歯科
緒方 鎮夫	青木北小学校	昭和45年4月1日	令和4年3月31日	歯科
奥山 宏	芝中央小学校	昭和47年4月1日	令和4年3月28日	歯科
鱧屋 壽美	領家小学校	平成21年4月1日	令和4年3月31日	薬剤師
新井 和美	安行東小学校	平成27年4月1日	令和4年3月31日	薬剤師
江川 肇	辻小学校	平成31年4月1日	令和4年3月31日	薬剤師
宮本 幸雄	南鳩ヶ谷小学校	平成21年4月1日	令和4年3月13日	薬剤師
河内 征子	芝東中学校	平成2年4月1日	令和4年3月31日	薬剤師

氏名	委嘱校	委嘱年月日	解嘱年月日	備考
河内 征子	榛松中学校	昭和59年4月1日	令和4年3月31日	薬剤師
宮本 幸雄	八幡木中学校	令和3年4月1日	令和4年3月13日	薬剤師

議案第 33 号

川口市学校運営協議会委員を委嘱・任命することについて

川口市学校運営協議会委員に別紙の者を委嘱・任命するため、川口市学校運営協議会規則（平成 21 年教育委員会規則第 1 号）第 6 条の規定により議決を求める。

令和 4 年 4 月 1 日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平



1 委嘱・任命するもの

※任期の開始は令和4年4月1日から

(1) 川口市立本町小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	小幡 拓也	教務主任	令和5年3月31日

(2) 川口市立幸町小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	山添 達郎	P T A会長	令和6年3月31日
2	阿部 雄太	教頭	令和5年3月31日

(3) 川口市立仲町小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	横田 秀晴	仲3町会長	令和6年3月31日
2	千島 久光	仲町小学校ポパイの会会長	令和6年3月31日
3	小野寺 秀明	川口市子ども会連絡協議会副会長	令和6年3月31日
4	岡田 真理子	主任児童委員	令和6年3月31日
5	神山 則幸	元川口市教育委員会教育長	令和6年3月31日
6	遠山 健一	仁志二町会長	令和6年3月31日
7	久米本 雅章	北町町会会長	令和6年3月31日
8	荻島 正拡	仁志1町会長	令和6年3月31日
9	赤石 融	教務主任	令和6年3月31日
10	佐藤 朋子	校長	令和6年3月31日
11	秋山 之信	教頭	令和6年3月31日

(4) 川口市立上青木小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	亀卦川 学	現PTA会長	令和6年3月31日
2	高橋 眞一	校長	令和5年3月31日

(5) 川口市立元郷小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	平田 敦子	元学校評議員 学校関係者評価委員 主任児童委員	令和6年3月31日
2	今井 哲也	元学校評議員 学校関係者評価委員	令和6年3月31日
3	五十嵐 晃	PTA副会長	令和6年3月31日
4	牛田 佳生	新井町町会長	令和6年3月31日
5	仁平 義一	PTA会長	令和6年3月31日
6	小林 宏敬	元郷5丁目町会長	令和6年3月31日
7	中山 孝浩	元郷6丁目町会長 元PTA会長	令和6年3月31日
8	栗原 真澄	学校関係者評価委員	令和6年3月31日
9	二瓶 哲郎	現PTA副会長	令和6年3月31日
10	久保 賀子	主幹教諭	令和6年3月31日
11	大高 珠恵	教頭	令和6年3月31日
12	吉田 栄	校長	令和6年3月31日

(6) 川口市立飯塚小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	坂場 賢一	元PTA会長	令和6年3月31日
2	高鳥 和裕	元PTA会長	令和6年3月31日

3	池田 政延	スクールガードリーダー	令和6年3月31日
4	金子 精一	P T A会長	令和6年3月31日
5	小椋 富夫	元公立小学校長	令和6年3月31日
6	落合 邦雄	飯三町会長	令和6年3月31日
7	市川 美恵子	元主任児童委員	令和6年3月31日
8	青木 進二	飯塚2丁目町会長	令和6年3月31日
9	小嶋 通昭	平成29年度学校評議員	令和6年3月31日
10	大川 晃司	飯塚1丁目町会長	令和6年3月31日
11	江川 雅敏	校長	令和6年3月31日
12	高橋 伸治	主幹教諭	令和6年3月31日
13	越田 直孝	教頭	令和6年3月31日

(7) 川口市立芝小学校

No.	氏 名	規則第6条関係	任期
1	瀧川 敬子	主任児童委員 元P T A会長	令和6年3月31日
2	佐藤 佳代	元P T A副会長	令和6年3月31日
3	白木みどり	元P T A副会長	令和6年3月31日
4	植杉 勝紀	学校応援団コーディネーター 主任児童委員	令和6年3月31日
5	松波 良晃	清月幼稚園園長 元P T A会長	令和6年3月31日
6	井上 将輝	P T A会長	令和6年3月31日
7	平田 由希子	元学校評議員 元P T A副会長	令和6年3月31日
8	間々田 和博	元学校評議員 元P T A会長	令和6年3月31日
9	中溝 華子	地区役員	令和6年3月31日

10	宮原 重則	元学校評議員	令和6年3月31日
11	舟戸 希公郎	教務主任	令和6年3月31日
12	上園 竜之介	校長	令和6年3月31日
13	内山 祥平	教頭	令和6年3月31日

(8) 川口市立新郷小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	野村 潤	P T A会長	令和6年3月31日
2	西牧 崇	教務主任	令和6年3月31日
3	長谷川 裕太	事務主事	令和6年3月31日
4	萩原 美樹	校長	令和6年3月31日
5	土井 亮	教頭	令和6年3月31日

(9) 川口市立神根小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	小宮 清	民生委員	令和6年3月31日
2	西馬 成起	P T A会長	令和6年3月31日
3	小島 勉	スクールガード 元学校評議員	令和6年3月31日
4	柳澤 国晴	西新井宿第2町会長 元学校評議員	令和6年3月31日
5	福村 正美	神戸町会長 神根地区子ども会会長	令和6年3月31日
6	奥田 誠	諏訪山町会長 元学校評議員	令和6年3月31日
7	金子 眞一	見沼町会長	令和6年3月31日
8	河西 和美	神根保育所 所長	令和6年3月31日
9	伊原 巧	P T A会長	令和6年3月31日

10	矢作 和美	学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
11	渡邊 敏明	神根公民館長	令和6年3月31日
12	高村 周作	教頭	令和6年3月31日
13	赤羽 広美	校長	令和6年3月31日
14	川村 良幸	主任専門員	令和6年3月31日

(10) 川口市立青木北小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	岩澤 幸雄	青木町4丁目町会長	令和6年3月31日
2	飯田 重樹	青木町五丁目町会長	令和6年3月31日
3	大矢 真悟	教務主任	令和5年3月31日
4	岡田 大助	教頭	令和5年3月31日

(11) 川口市立領家小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	小山 輝男	領家二丁目町会長	令和6年3月31日
2	加藤 健司	領家3丁目町会長	令和6年3月31日
3	三谷 清隆	P T A会長	令和6年3月31日
4	伊藤 達美	民生委員	令和6年3月31日
5	吉田 茂	前領家地区連合会長	令和6年3月31日
6	風間 実弥子	松葉幼稚園園長 元学校評議員	令和6年3月31日
7	齋藤 奈穂子	教務主任	令和6年3月31日
8	菊池 直樹	教頭	令和6年3月31日
9	岡本 賢一	校長	令和6年3月31日

10	飯田 奈苗	P T A 幹事長	令和5年3月31日
----	-------	-----------	-----------

(12) 川口市立舟戸小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	竹本 佳標	P T A 会長	令和6年3月31日
2	鶴見 文治	金山町町会長 元学校評議員	令和6年3月31日
3	子安 章子	主任児童委員	令和6年3月31日
4	齋藤 正也	元学校評議員 元川口2丁目町会長	令和6年3月31日
5	荻谷 敏宏	元学校評議員 元川口1丁目町会長	令和6年3月31日
6	田中 良夫	川口1丁目町会長 元学校評議員	令和6年3月31日
7	櫻田 貴昭	主幹教諭	令和6年3月31日
8	熊谷 壽	校長	令和6年3月31日
9	遠藤 崇寛	教頭	令和6年3月31日

(13) 川口市立十二月田小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	西村 章	元末広2丁目町会長	令和6年3月31日
2	中山 奈美	学校応援団コーディネーター代表	令和6年3月31日
3	横山 孝二	P T A 役員	令和6年3月31日
4	姫野 久実子	元学校評議員	令和6年3月31日
5	下川 孝博	元学校評議員	令和6年3月31日
6	伊藤 美智恵	教頭	令和6年3月31日
7	中島 大樹	主幹教諭	令和6年3月31日
8	富山 益光	校長	令和6年3月31日

(14) 川口市立飯仲小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	石橋 拓也	主幹教諭	令和5年3月31日

(15) 川口市立並木小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	富山 俊之	元学校評議員	令和6年3月31日
2	井上 久美子	元学校評議員	令和6年3月31日
3	星野 和子	元学校評議員	令和6年3月31日
4	山野 栄三郎	元PTA会長 主任児童委員	令和6年3月31日
5	梅津 一義	並木3丁目町会長	令和6年3月31日
6	中島 重男	並木4丁目町会長	令和6年3月31日
7	中川 博太	おやじの会会長	令和6年3月31日
8	江口 隆三	並木2丁目町会長	令和6年3月31日
9	相上 興信	並木町1丁目町会長	令和6年3月31日
10	佐野 隆之	校長	令和6年3月31日
11	富澤 雅敏	主幹教諭	令和6年3月31日
12	原 卓範	教頭	令和6年3月31日

(16) 川口市立安行小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	石渡 翠	PTA会長	令和6年3月31日
2	田中 一宏	元学校評議員 元教育委員長	令和6年3月31日
3	根本 智可子	元学校評議員 安行東光幼稚園理事長	令和6年3月31日

4	中田 知加	元学校評議員 安行原育成部子ども会会長	令和6年3月31日
5	平岡 仁	安行地区連合町会長 安行原町会長	令和6年3月31日
6	石井 百合江	民生委員 児童委員	令和6年3月31日
7	金杉 順一	学校応援団団長 P T A顧問	令和6年3月31日
8	大貫 俊弥	教頭	令和6年3月31日
9	高橋 義樹	教頭	令和6年3月31日
10	春川 嘉孝	校長	令和6年3月31日
11	横尾 修平	教務主任	令和6年3月31日

(17) 川口市立原町小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	宮田 千恵	主任児童委員	令和6年3月31日
2	濱田 義彦	後援会長	令和6年3月31日
3	志村 美香子	原町町会育成部長	令和6年3月31日
4	笹原 文雄	原町町会長	令和6年3月31日
5	針替 常行	南町町会長	令和6年3月31日
6	浅倉 利行	宮町町会長	令和6年3月31日
7	岡田 玉代	学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
8	永井 紀一	スクールガードリーダー	令和6年3月31日
9	松丸 和夫	元P T A会長	令和6年3月31日
10	福田 良裕	緑町町会長	令和6年3月31日
11	松尾 健児	P T A会長	令和6年3月31日
12	相原 重美	土曜あそび場代表	令和6年3月31日



13	深尾 純子	教頭	令和6年3月31日
14	倉本 庸	教務主任	令和6年3月31日
15	加田 明	校長	令和6年3月31日

(18) 川口市立前川小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	新井 絹江	学校応援団 民生委員地区会長	令和5年3月31日

(19) 川口市立戸塚小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	鹿野 愛子	民生委員	令和6年3月31日
2	倉持 正次	元学校評議員	令和6年3月31日
3	山岡 章子	民生委員	令和6年3月31日
4	園部 隆男	行衛町会長	令和6年3月31日
5	衛藤 正純	上戸塚町会副町会長4班長	令和6年3月31日
6	蓮見 克美	上戸塚町会副町会長1班長	令和6年3月31日
7	樋口 修二	元学校評議員 元PTA会長	令和6年3月31日
8	小林 博武	元学校評議員 元市内校長	令和6年3月31日
9	木村 卓史	元学校評議員 戸塚西中学校PTA会長 元戸塚小学校PTA会長	令和6年3月31日
10	米山 崇史	PTA会長	令和6年3月31日
11	丸野 信次郎	教頭	令和6年3月31日
12	河口 典久	校長	令和6年3月31日

(20) 川口市立青木中央小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	石田 俊介	教頭	令和5年3月31日
2	漆山 和子	教頭	令和5年3月31日

(21) 川口市立元郷南小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	岩本 好則	校長	令和5年3月31日
2	小畔 拓	主幹教諭	令和5年3月31日

(22) 川口市立芝西小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	福智 智弘	芝塚原町会 なかよし会会長	令和6年3月31日
2	浦邊 敏夫	小谷場町会長	令和6年3月31日
3	吉田 忠勝	学校薬剤師	令和6年3月31日
4	増山 徹	元PTA会長	令和6年3月31日
5	遠藤 千恵	元PTA役員	令和6年3月31日
6	天野 剛行	スクールガードリーダー	令和6年3月31日
7	佐久間 愛実	元PTA役員	令和6年3月31日
8	野中 敦	PTA会長	令和6年3月31日
9	吉田 定次	芝鶴ヶ丸町会 役員	令和6年3月31日
10	梶本 美岐	科学館副主幹	令和6年3月31日
11	郡 豊	校長	令和6年3月31日
12	伊藤 元洋	主幹教諭	令和6年3月31日

13	野本 慶人	小谷場中学校長	令和6年3月31日
14	星野 泰久	芝西中学校長	令和6年3月31日
15	佐藤 雅裕	教頭	令和6年3月31日

(23) 川口市立芝南小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	石上 晶太	P T A副会長	令和5年3月31日
2	飯嶋 壽	P T A副会長	令和5年3月31日
3	平 健倫	主幹教諭	令和5年3月31日

(24) 川口市立神根東小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	御子柴 隆	民生委員 児童委員	令和6年3月31日
2	張替 洋一	元P T A会長	令和6年3月31日
3	田中 一吉	P T A会長	令和6年3月31日
4	橘 浩幸	元P T A会長	令和6年3月31日
5	田中 一光	元赤山第一町会長	令和6年3月31日
6	近藤 久江	元小学校長	令和6年3月31日
7	高須 裕樹	元P T A会長	令和6年3月31日
8	三枝木 國記	元石神下区町会長	令和6年3月31日
9	佐々木 小百合	校長	令和6年3月31日
10	沼口 昭一郎	教頭	令和6年3月31日

## (25) 川口市立朝日東小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	福田 由美子	元市内小学校長	令和6年3月31日
2	吉川 光男	朝日6丁目南町会長 スクールガードリーダー	令和6年3月31日
3	大熊 孝次	末広3丁目町会長 川口子どもクラブ育成会元会長	令和6年3月31日
4	金澤 由美	民生委員	令和6年3月31日
5	丸山 智也	主任児童委員 川口子どもクラブ育成会副会長	令和6年3月31日
6	大澤 陽久	P T A会長 川口子どもクラブ育成会副会長	令和6年3月31日
7	齊藤 敦史	校長	令和6年3月31日
8	藤田 美奈子	教頭	令和6年3月31日

## (26) 川口市立芝富士小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	伊藤 一晃	芝富士町会長	令和6年3月31日
2	真下 徹也	芝園団地自治会長	令和6年3月31日
3	式田 勤	学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
4	佐藤 信夫	学校応援団・見守りボランティア	令和6年3月31日
5	平形 威雄	芝園ハイツ自治会長	令和6年3月31日
6	海野 祐子	元P T A本部役員	令和6年3月31日
7	荒井 恵美子	元P T A本部役員	令和6年3月31日
8	大串 幸司	教務主任	令和6年3月31日

9	吉見 範子	校長	令和6年3月31日
10	星川 重治	教頭	令和6年3月31日

(27) 川口市立前川東小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	池谷 義昭	スクールガードリーダー	令和6年3月31日
2	本木 秀幸	P T A会長	令和6年3月31日
3	今泉 和江	学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
4	庵地 眞見	前川地区民生委員児童委員協力員	令和6年3月31日
5	熊木 喜好	前川3丁目町会長	令和6年3月31日
6	熊木 将恵	元P T A会長	令和6年3月31日
7	岩谷 三郎	前川中央商店会 会長	令和6年3月31日
8	峯岸 ヨシ子	交通安全母の会 会長	令和6年3月31日
9	本橋 克展	清泉幼稚園 園長	令和6年3月31日
10	野口 政昭	前川2丁目町会長	令和6年3月31日
11	神田 実	主幹教諭	令和6年3月31日
12	北川 智之	教頭	令和6年3月31日
13	岩澤 奈々子	校長	令和6年3月31日

(28) 川口市立柳崎小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	田中 孝幸	教頭	令和5年3月31日

## (29) 川口市立芝樋ノ爪小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	増田 真二	教頭	令和5年3月31日

## (30) 川口市立新郷南小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	小林 和八	元PTA会長	令和6年3月31日
2	眞野 昌庸	江戸袋町会副会長	令和6年3月31日
3	渡邊 和子	民生委員 児童委員	令和6年3月31日
4	中村 浩幸	学校開放団体代表 元PTA会長	令和6年3月31日
5	平林 貢	学校応援団コーディネーター 元PTA会長	令和6年3月31日
6	山田 健次郎	元学校評議員 地域安全指導 挨拶運動 代表	令和6年3月31日
7	加藤 茂子	民生委員 児童委員	令和6年3月31日
8	岩井 正明	校長	令和6年3月31日
9	井出 真之	教頭	令和6年3月31日
10	阿部 樹	主幹教諭	令和6年3月31日
11	山田 菜穂	事務主事	令和6年3月31日

## (31) 川口市立上青木南小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	上原 真耶	学校応援団コーディネーター	令和5年3月31日
2	高宮 明洋	校長	令和5年3月31日
3	玉川 直英	教務主任	令和5年3月31日

## (32) 川口市立芝中央小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	黒木 幸子	P T A副会長	令和6年3月31日
2	小高 紀彦	保護者	令和6年3月31日
3	矢作 邦男	芝下町会長	令和6年3月31日
4	岡島 美絵	P T A役員	令和6年3月31日
5	古田島 義和	民生委員	令和6年3月31日
6	正木 康夫	元P T A会長	令和6年3月31日
7	矢作 忠亮	川口さかえ幼稚園園長	令和6年3月31日
8	大曾根 涼	P T A会長	令和6年3月31日
9	薩田 恭子	P T A副会長	令和6年3月31日
10	岡田 直人	保護者	令和6年3月31日
11	中河 正明	校長	令和6年3月31日
12	平井 悠一	教頭	令和6年3月31日
13	武藤 晃広	主幹教諭	令和6年3月31日

## (33) 川口市立新郷東小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	漆山 隆	前社会福祉協議会会長	令和6年3月31日
2	田澤 尚治	P T A会長	令和6年3月31日
3	伊藤 雄一	元P T A会長	令和6年3月31日
4	中川 光恵	主任児童委員	令和6年3月31日
5	石上 瞳	P T A総務部部長	令和6年3月31日

6	川田 庄吾	前学校評議員 元峯町会副会長	令和6年3月31日
7	新井 孝史	元PTA会長	令和6年3月31日
8	石川 庸子	校長	令和6年3月31日
9	小泉 智弘	事務主事	令和6年3月31日
10	渡邊 竜也	主幹教諭	令和6年3月31日
11	栗林 丈夫	教頭	令和6年3月31日

(34) 川口市立朝日西小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	吉田 宏	朝日3丁目町会長	令和6年3月31日
2	清水 広美	民生委員	令和6年3月31日
3	浅倉 久美子	学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
4	豊嶋 伸次	PTA会長	令和6年3月31日
5	中村 信幸	元PTA会長	令和6年3月31日
6	樽林 由美	主任児童委員	令和6年3月31日
7	村上 幸弘	教務主任	令和6年3月31日
8	黒木 芳弘	教頭	令和6年3月31日
9	山田 晴美	校長	令和6年3月31日

(35) 川口市立慈林小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	横山 行男	安行吉岡町会長	令和6年3月31日
2	清水 勝雄	安行さつきが丘町会長	令和6年3月31日
3	矢作 洋	みどりが丘町会長	令和6年3月31日



4	星野 恵司	元学校評議員 スクールガードリーダー	令和6年3月31日
5	須田 玲子	元学校評議員 元安行中学校PTA会長	令和6年3月31日
6	田中 清文	PTA会長	令和6年3月31日
7	千坂 二男	安行慈林町会長	令和6年3月31日
8	豊浦 隣太郎	東慈林町会長	令和6年3月31日
9	鈴木 真由美	校長	令和6年3月31日
10	内山 達也	教頭	令和6年3月31日
11	神山 恭子	教務主任	令和6年3月31日

(36) 川口市立差間小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	河野 通昭	教頭	令和5年3月31日

(37) 川口市立東本郷小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	鈴木 國雄	元PTA会長	令和6年3月31日
2	本山 郁美	主幹教諭	令和5年3月31日

(38) 川口市立東領家小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	清水 貴芳	教務主任	令和5年3月31日

## (39) 川口市立安行東小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	福嶋 繁夫	校長	令和5年3月31日
2	大井 裕美子	安行東中学校教頭	令和5年3月31日
3	川上 正人	教頭	令和5年3月31日

## (40) 川口市立戸塚東小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	溝渕 靖典	おやじの会代表	令和6年3月31日
2	飯田 香久子	戸塚地区主任児童委員	令和6年3月31日
3	永野 孝生	上戸塚町会副会長	令和6年3月31日
4	関 和博	上戸塚町会副会長	令和6年3月31日
5	新井 雅夫	下戸塚町会長	令和6年3月31日
6	鈴木 範明	元学校評議員	令和6年3月31日
7	中島 千鶴子	元学校評議員	令和6年3月31日
8	三津石 妙	元学校評議員	令和6年3月31日
9	東大野 正幸	P T A会長	令和6年3月31日
10	小澤 英敏	校長	令和6年3月31日
11	本橋 浩之	教頭	令和6年3月31日
12	山元 正雄	主幹教諭	令和6年3月31日

## (41) 川口市立戸塚北小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	池田 和隆	平沼町会長	令和6年3月31日

2	龍口 喜子	退職校長会副会長	令和6年3月31日
3	羽鳥 好夫	元学校評議員 元民生児童委員	令和6年3月31日
4	飯塚 利文	元学校評議員 元PTA会長	令和6年3月31日
5	押田 善司	元学校評議員 元平沼町会長 元川口市役所職員	令和6年3月31日
6	小林 博武	元学校評議員 退職校長会	令和6年3月31日
7	厚川 葉子	元学校評議員 戸塚地区民生児童委員協議会会長	令和6年3月31日
8	齋藤 俊二	元佐藤町会副町会長	令和6年3月31日
9	田口 哲夫	上戸塚町会副町会長	令和6年3月31日
10	厚川 誠治	一本木町会長	令和6年3月31日
11	松井 潤	PTA会長 おやじの会会長	令和6年3月31日
12	後藤 清仁	教頭	令和6年3月31日
13	飯田 真悟	主幹教諭	令和6年3月31日
14	櫻井 秀子	校長	令和6年3月31日

(42) 川口市立木曾呂小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	佐藤 文永	教務主任	令和5年3月31日

(43) 川口市立戸塚綾瀬小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	三浦 大助	校長	令和5年3月31日

(44) 川口市立戸塚南小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	米澤 基弘	教頭	令和5年3月31日
2	小川 巧	教頭	令和5年3月31日

(45) 川口市立中居小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	中野 裕斗	P T A会長	令和6年3月31日
2	遠藤 啓一	南鳩ヶ谷3丁目自治会長	令和6年3月31日
3	乾 主税	南鳩ヶ谷2丁目自治会防災部長	令和6年3月31日
4	山口 幸子	民生委員	令和6年3月31日
5	高橋 宣光	学区内幼稚園長	令和6年3月31日
6	坪谷 あさみ	元P T A会長	令和6年3月31日
7	齋藤 美幸	主任児童委員	令和6年3月31日
8	澤木 信男	南鳩ヶ谷2丁目自治会長	令和6年3月31日
9	織本 寛之	校長	令和6年3月31日
10	小島 輝久	主幹教諭	令和6年3月31日
11	関根 光一	教頭	令和6年3月31日

(46) 川口市立辻小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	石川 晶	南鳩ヶ谷7丁目子供会会長	令和6年3月31日
2	岩間 武雄	学校開放委員長	令和6年3月31日
3	大房 明美	主任児童委員	令和6年3月31日

4	服部 ゆかり	P T A会長	令和6年3月31日
5	鈴木 松男	南鳩ヶ谷7丁目自治会長	令和6年3月31日
6	齋藤 金藏	辻自治会長	令和6年3月31日
7	高橋 孝枝	元学校評議員	令和6年3月31日
8	舘野 洋子	元学校評議員 学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
9	石田 博子	元学校評議員	令和6年3月31日
10	肥留間 広幸	元学校評議員	令和6年3月31日
11	土屋 行雄	スクールガードリーダー	令和6年3月31日
12	井上 千春	校長	令和6年3月31日
13	根本 広徳	教頭	令和6年3月31日
14	峯岸 慎	主幹教諭	令和6年3月31日

(47) 川口市立里小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	亀山 義光	教頭	令和5年3月31日
2	飯田 麻利	主幹教諭	令和5年3月31日

(48) 川口市立桜町小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	小川 哲	校長	令和5年3月31日

(49) 川口市立南鳩ヶ谷小学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	金光 倫靖	おやじの会会長	令和5年3月31日

2	河村 昭彦	校長	令和5年3月31日
---	-------	----	-----------

(50) 川口市立東中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	寺本 正和	新郷地区民生委員協議会会長	令和6年3月31日
2	鈴木 三枝子	主任児童委員	令和6年3月31日
3	吉安 優子	保護司	令和6年3月31日
4	神中 良行	後援会相談役	令和6年3月31日
5	小森谷 泰史	後援会会長	令和6年3月31日
6	堤 明	P T A会長	令和6年3月31日
7	関根 和雄	避難所本部長 赤井町会長	令和6年3月31日
8	佐野 秀行	主幹教諭	令和6年3月31日
9	永井 恵衣子	事務主事	令和6年3月31日
10	柳田 勇	教頭	令和6年3月31日
11	藤川 悟	校長	令和6年3月31日

(51) 川口市立西中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	寺坂 美奈子	元P T A会長	令和6年3月31日
2	藤間 哲	元P T A会長	令和6年3月31日
3	永井 弥生	元P T A執行部	令和6年3月31日
4	小嶋 通昭	元飯塚2丁目町会長	令和6年3月31日
5	増井 真也	元P T A会長	令和6年3月31日
6	唐澤 のぞみ	前P T A会長	令和6年3月31日

7	島田 一喜	現PTA会長	令和6年3月31日
8	中島 一行	西地区子ども会連絡協議会会長	令和6年3月31日
9	三浦 伸之	校長	令和6年3月31日
10	平野 利英	教頭	令和6年3月31日
11	桶舎 真一郎	主幹教諭	令和6年3月31日

(52) 川口市立南中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	田代 進一	栄町1丁目町会長	令和6年3月31日
2	原 佐知雄	ひまわり教育振興会会長	令和6年3月31日
3	増田 征則	元PTA会長	令和6年3月31日
4	佐藤 昌邦	中央地区青少年育成協議会会長	令和6年3月31日
5	内山 秀夫	本町3丁目町会長	令和6年3月31日
6	松本 保子	保護司	令和6年3月31日
7	岸部 一貴	幸栄地区青少年育成協議会会長	令和6年3月31日
8	森田 吉信	校長	令和6年3月31日
9	山形 崇	教頭	令和6年3月31日
10	松田 大和	主幹教諭	令和6年3月31日

(53) 川口市立北中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	渡辺 秀和	教頭	令和5年3月31日

(54) 川口市立青木中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	小林 環	教頭	令和5年3月31日
2	小森 樹	主幹教諭	令和5年3月31日
3	柳澤 靖明	事務主査	令和5年3月31日

(55) 川口市立芝中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	原 富美夫	同窓会会長 元小学校長	令和6年3月31日
2	前田 操	元学校評議員 学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
3	小池 紳一	元後援会会長	令和6年3月31日
4	加増利 豊秋	元PTA会長	令和6年3月31日
5	上野 竜	元後援会副会長	令和6年3月31日
6	平川 太郎	元後援会会長	令和6年3月31日
7	赤嶺 亮	元学校評議員 元PTA会長	令和6年3月31日
8	佐久間 章匡	校長	令和6年3月31日
9	小松 正義	教頭	令和6年3月31日
10	三芳 晶	教務主任	令和6年3月31日

(56) 川口市立元郷中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	平柳 清	弥平4丁目町会長	令和6年3月31日
2	福田 真史	PTA会長	令和6年3月31日
3	牛田 佳生	新井町町会長	令和6年3月31日



4	伊賀 宏明	元PTA会長	令和6年3月31日
5	石塚 昭	元PTA副会長	令和6年3月31日
6	竹内 健太郎	元PTA会長 教育後援会副会長	令和6年3月31日
7	平田 敦子	学校応援団コーディネーター 主任児童委員	令和6年3月31日
8	千丈 和彦	元PTA会長	令和6年3月31日
9	吉井 重春	元PTA会長 教育後援会副会長	令和6年3月31日
10	清水 瞳	教務主任	令和6年3月31日
11	吉田 栄	元郷小学校長	令和6年3月31日
12	高田 晶子	校長	令和6年3月31日
13	鈴木 久勝	教頭	令和6年3月31日

(57) 川口市立上青木中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	早狩 俊宏	前川第一町会副会長	令和6年3月31日
2	赤地 久美	主任児童委員	令和6年3月31日
3	一柳 洋子	民生委員 民生委員児童部リーダー	令和6年3月31日
4	山野 昭紀	上青木地区連合町会長 上青木中央町会長	令和6年3月31日
5	堀 克巳	後援会会長	令和6年3月31日
6	大谷 弘尚	PTA会長	令和6年3月31日
7	塚越 雅俊	元PTA会長	令和6年3月31日
8	岩崎 竜太	教頭	令和6年3月31日
9	平野 雅洋	主幹教諭	令和6年3月31日

10	小野 毅	校長	令和6年3月31日
----	------	----	-----------

(58) 川口市立幸並中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	宮川 靖明	教頭	令和6年3月31日

(59) 川口市立十二月田中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	小川 敏明	校長	令和5年3月31日
2	太田 宏和	主幹教諭	令和5年3月31日

(60) 川口市立芝東中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	坂野 厚志	元学校評議員 学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
2	岡田 直人	地域関係者	令和6年3月31日
3	鈴木 育代	主任児童委員	令和6年3月31日
4	宮地 初江	民生委員	令和6年3月31日
5	吉田 旭	後援会会長	令和6年3月31日
6	若谷 正巳	後援会相談役 学校応援団副事務局長	令和6年3月31日
7	加藤 麻由子	元学校評議員 元PTA副会長	令和6年3月31日
8	笠原 昇	元学校評議員 芝高木町会長	令和6年3月31日
9	正木 康夫	元学校評議員 学校応援団顧問	令和6年3月31日
10	中河 正明	元学校評議員 芝中央小学校長	令和6年3月31日

1 1	柳田 朗	校長	令和6年3月31日
1 2	高田 朋子	教頭	令和6年3月31日
1 3	若林 哲	教務主任	令和6年3月31日

(6 1) 川口市立芝西中学校

No.	氏 名	規則第6条関係	任期
1	榎本 幸平	芝樋ノ爪町会長	令和6年3月31日
2	伊藤 一晃	芝富士町会長	令和6年3月31日
3	内田 肇	芝塚越町会長	令和6年3月31日

(6 2) 川口市立岸川中学校

No.	氏 名	規則第6条関係	任期
1	齋藤 雅典	後援会役員	令和6年3月31日
2	本橋 昭仁	前川本町町会長	令和6年3月31日
3	藤井 貴子	P T A会長	令和6年3月31日
4	峯岸 ヨシ子	学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
5	新井 絹江	前川地区民生委員	令和6年3月31日
6	織田島 勇	根岸第一町会長	令和6年3月31日
7	本橋 克巳	元前川本町町会長	令和6年3月31日
8	熊木 喜好	前川3丁目町会長	令和6年3月31日
9	野口 政昭	前川2丁目町会長	令和6年3月31日
1 0	及川 修	P T A顧問	令和6年3月31日
1 1	庵地 眞見	元主任児童委員	令和6年3月31日
1 2	松田 隆幸	校長	令和6年3月31日

13	渡邊 栄次	教頭	令和6年3月31日
14	鈴木 聡	教務主任	令和6年3月31日

(63) 川口市立榛松中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	漆山 隆	民生児童委員副会長	令和6年3月31日
2	菅又 由香	P T A会長	令和6年3月31日
3	岩崎 信子	教育後援会幹事	令和6年3月31日
4	中川 光恵	民生児童委員主任員	令和6年3月31日
5	高橋 美穂子	民生児童委員リーダー	令和6年3月31日
6	土屋 功	元P T A会長	令和6年3月31日
7	齋藤 秀一	校長	令和6年3月31日
8	上倉 義郎	教頭	令和6年3月31日

(64) 川口市立小谷場中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	大塚 幸波	事務主事	令和5年3月31日

(65) 川口市立神根中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	高原 徹	教頭	令和5年3月31日

(66) 川口市立領家中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	森 龍太郎	教頭	令和5年3月31日

2	長尾 光一	教務主任	令和6年3月31日
---	-------	------	-----------

(67) 川口市立戸塚中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	芝崎 実	学校応援団コーディネーター	令和6年3月31日
2	八木 真紀	元PTA副会長	令和6年3月31日
3	稲垣 隆之	PTA会長	令和6年3月31日
4	石崎 直人	元PTA会長	令和6年3月31日
5	飯田 香久子	主任児童委員	令和6年3月31日
6	小内 利博	保護司	令和6年3月31日
7	寺田 美雅	学校薬剤師	令和6年3月31日
8	水野 俊二	長蔵新田町会長	令和6年3月31日
9	長 春代	民生委員	令和6年3月31日
10	小林 晃成	戸塚公民館長	令和6年3月31日
11	川鍋 岳人	校長	令和6年3月31日
12	佐藤 昌幸	教頭	令和6年3月31日
13	飯塚 稔	教頭	令和6年3月31日
14	酒井 佑樹	主幹教諭	令和6年3月31日

(68) 川口市立在家中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	鈴木 玲	校長	令和5年3月31日

## (69) 川口市立安行東中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	高山 重之	安行領家町会長	令和6年3月31日
2	土田 ゆき	民生委員	令和6年3月31日
3	金子 利夫	安行町会長	令和6年3月31日
4	小林 俊男	前PTA会長	令和6年3月31日
5	金井 慎治	教育後援会会長	令和6年3月31日
6	鈴木 信彦	元PTA会長	令和6年3月31日
7	小櫃 敏文	元教育後援会会長	令和6年3月31日
8	佐藤 直子	主任児童委員	令和6年3月31日
9	小林 繁雄	安行西立野町会長	令和6年3月31日
10	大野 勝己	安行吉蔵町会長	令和6年3月31日
11	結城 喜世貴	安行出羽町会長	令和6年3月31日
12	小林 進一	前教育後援会会長	令和6年3月31日
13	杉本 忠昭	安行藤八町会長	令和6年3月31日
14	山本 智広	校長	令和6年3月31日

## (70) 川口市立戸塚西中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	高杉 友紀子	後援会会長	令和5年3月31日
2	山崎 幹	教頭	令和5年3月31日
3	井上 麻里	主幹教諭	令和5年3月31日
4	踞尾 実	PTA会長	令和6年3月31日
5	野口 貴生	戸塚スポーツセンター所長	令和6年3月31日

(7 1) 川口市立鳩ヶ谷中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	柏木 浩文	教頭	令和5年3月31日

(7 2) 川口市立八幡木中学校

No.	氏名	規則第6条関係	任期
1	三浦 伸之	校長	令和5年3月31日
2	北澤 正宗	教務主任	令和6年3月31日

議案第 36 号

学校医・学校歯科医・学校薬剤師を委嘱することについて

学校医・学校歯科医・学校薬剤師に次の者を委嘱するため、学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 23 条第 3 項の規定により議決を求める。

記

委嘱をする者

氏名	委嘱校	委嘱年月日	備考
佐藤 敬子	仲町小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・内科
若林 大樹	安行小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・内科
神山 浩	青木中央小学校	令和 4 年 4 月 1 日	兼任・内科
有井 直人	上青木南小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・内科
佐野 仁彦	芝中央小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・内科
有井 直人	辻小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・内科
清水 秀治	上青木中学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・内科
鷺尾 和則	戸塚中学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・内科
益田 直志	本町小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・歯科
角田 賢治	本町小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・歯科
神原 弘幸	芝小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・歯科
高 敬勲	新郷小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・歯科
石川 由奈	青木北小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・歯科
諸橋 利朗	芝中央小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・歯科
平柳 類	領家小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・薬剤師
佐藤 美仁	安行東小学校	令和 4 年 4 月 1 日	新任・薬剤師
新井 和美	辻小学校	令和 4 年 4 月 1 日	兼任・薬剤師



氏 名	委嘱校	委嘱年月日	備考
鱧屋 壽美	南鳩ヶ谷小学校	令和4年4月1日	新任・薬剤師
藤倉 トシエ	芝東中学校	令和4年4月1日	新任・薬剤師
長谷川 直生	榛松中学校	令和4年4月1日	新任・薬剤師
江川 肇	八幡木中学校	令和4年4月1日	兼任・薬剤師

令和4年4月1日提出

川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平